

東京都下水道事業年報

昭和 37 年度

東京都下水道局

昭和 37 年度

東京都下水道事業年報

東京都下水道局

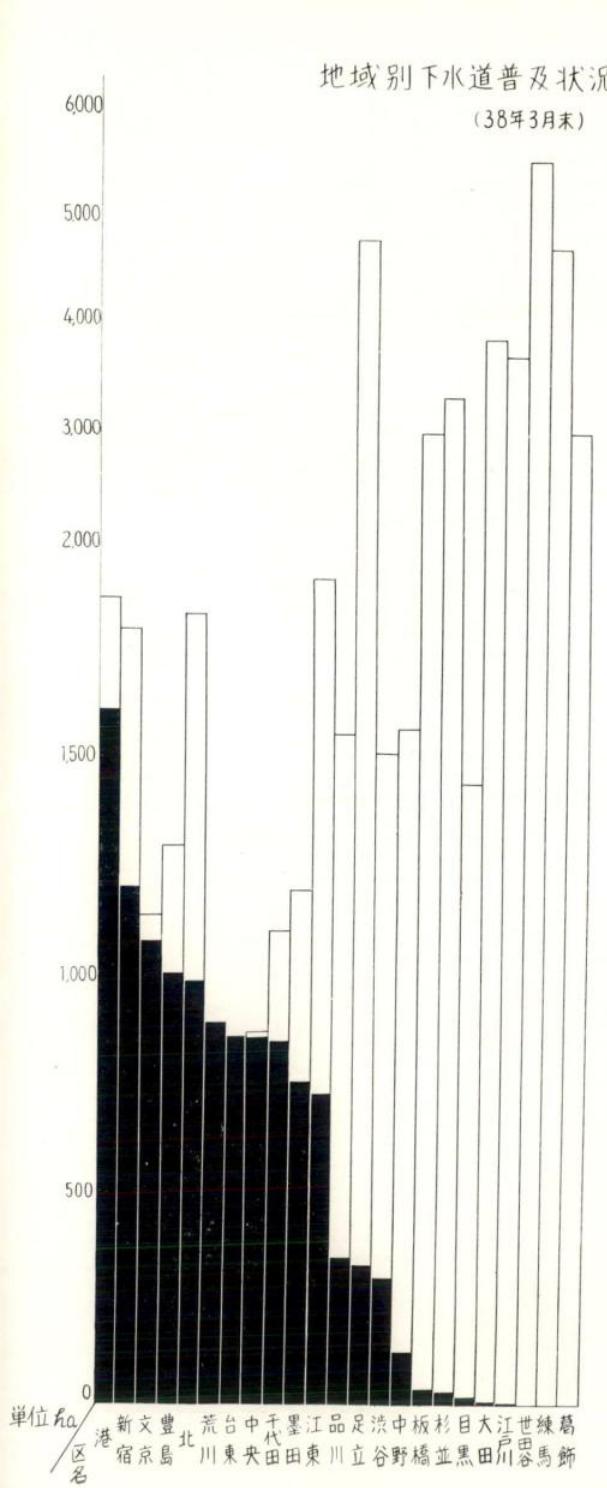
東京都下水道事業年報

目 次

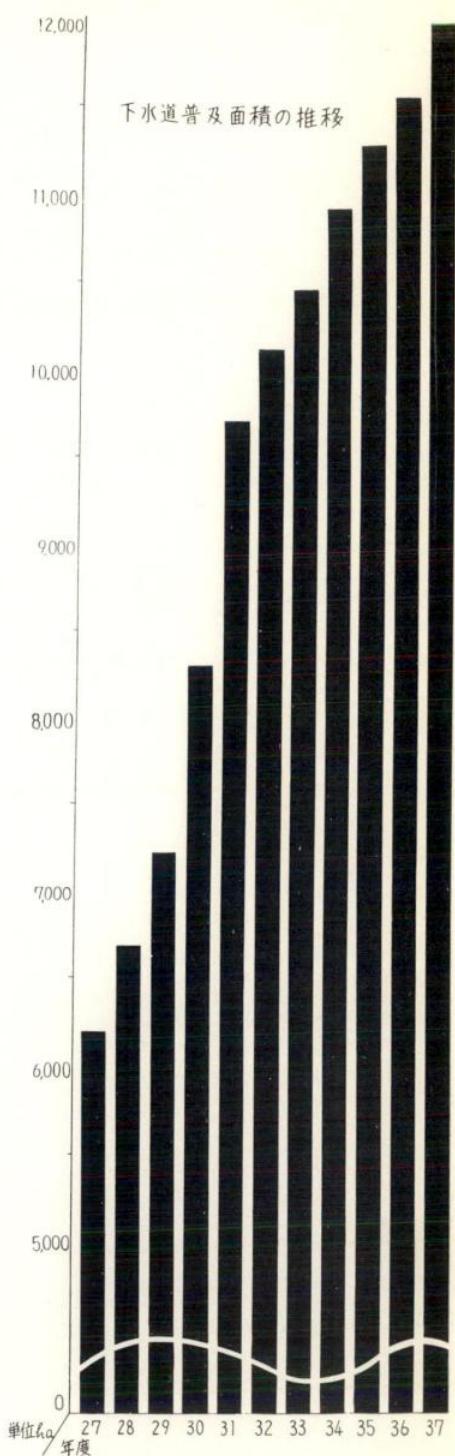
統 計 図	
地 図	
第1章 総 説	1
第1節 序 説	1
第2節 組 織	2
第3節 下水道事業の概要	5
第4節 昭和37年度事業概況	9
第2章 財 務	16
第1節 財 政	16
第2節 固定資産明細書	34
第3章 下 水 道 計 画	37
第1節 東京都市計画下水道	37
第2節 東京都市計画下水道事業	37
第3節 東京都市下水道並びに同下水道事業及びその執行年度割の概要	38
第4章 下 水 道 事 業 経 過	45
第1節 下水道事業認可関係	45
第2節 施 行 済 の 事 業	49
第5章 営 業	52
第1節 営 業 一 般	52
第2節 下水道使用件数	52
第3節 下水道使用水量	55
第4節 下 水 道 料 金	58
第5節 料 金 徴 収	58
第6節 排 水 設 備	60

第6章 設 備	63
第1節 管 渠	63
第2節 ポンプ所	65
第3節 処理場	87
第4節 尿尿消化槽	103
第7章 作 業	106
第1節 管 渠	106
第2節 ポンプ所	107
第3節 処理場	108
第4節 水質試験	111
第5節 降水量	115
第6節 汚泥処理	118
第7節 処理水の利用	119
第8節 尿尿消化槽	119
第8章 工事施行状況	120
第1節 拡張工事	120
第2節 改良工事	136
第3節 設備補修工事	141
第4節 その他工事	145
昭和37年度主要事業日誌	148

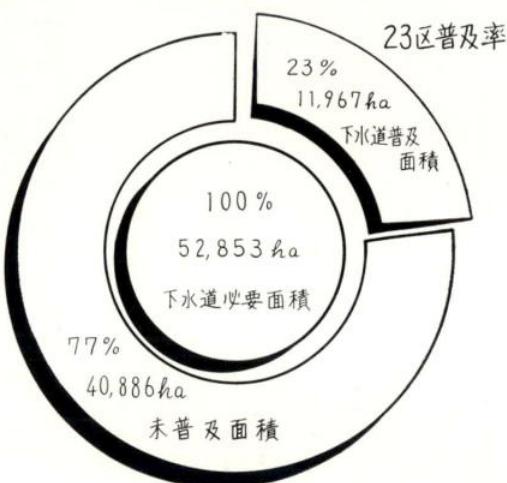
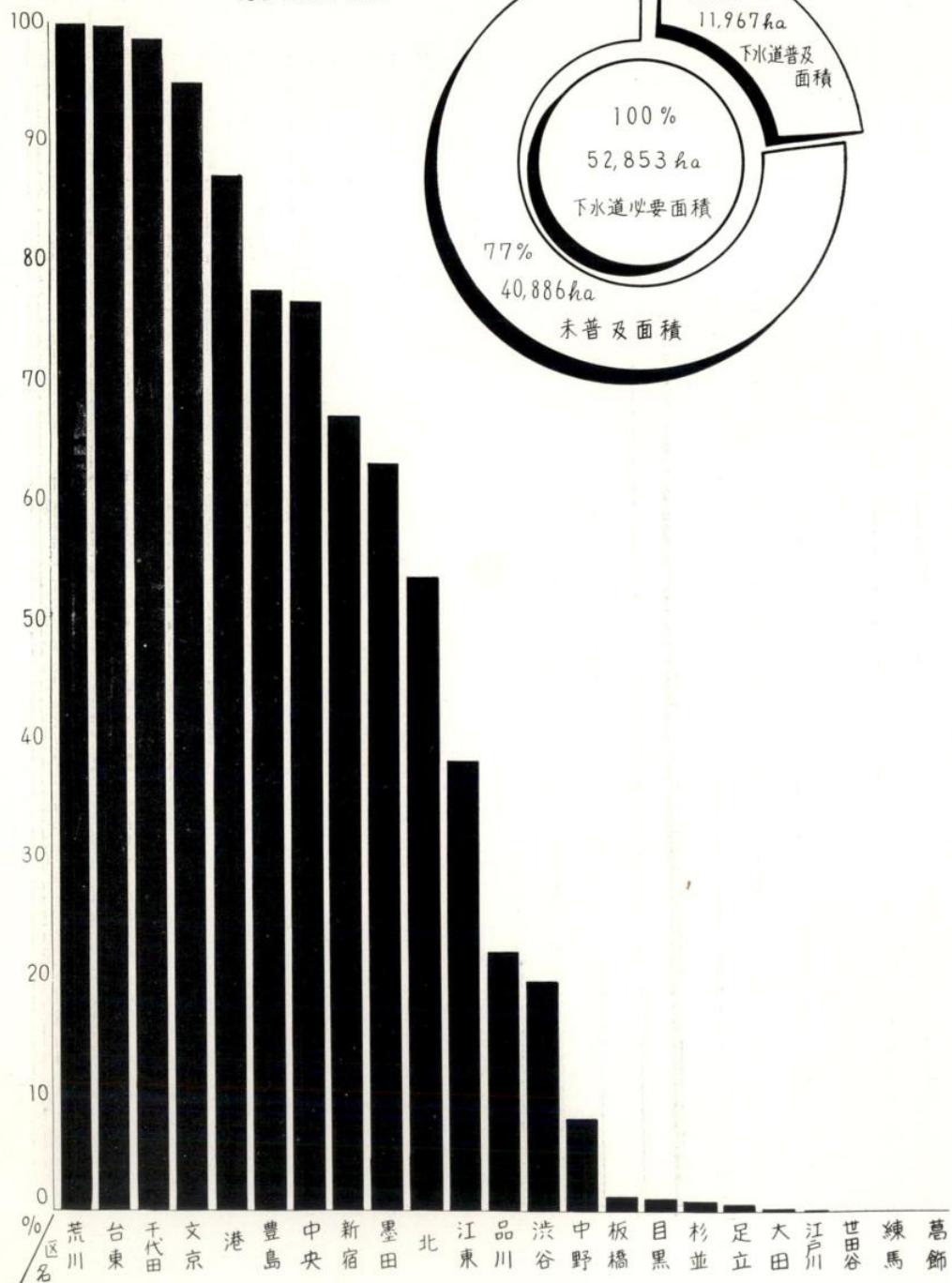
地域別下水道普及状況
(38年3月末)



下水道普及面積の推移

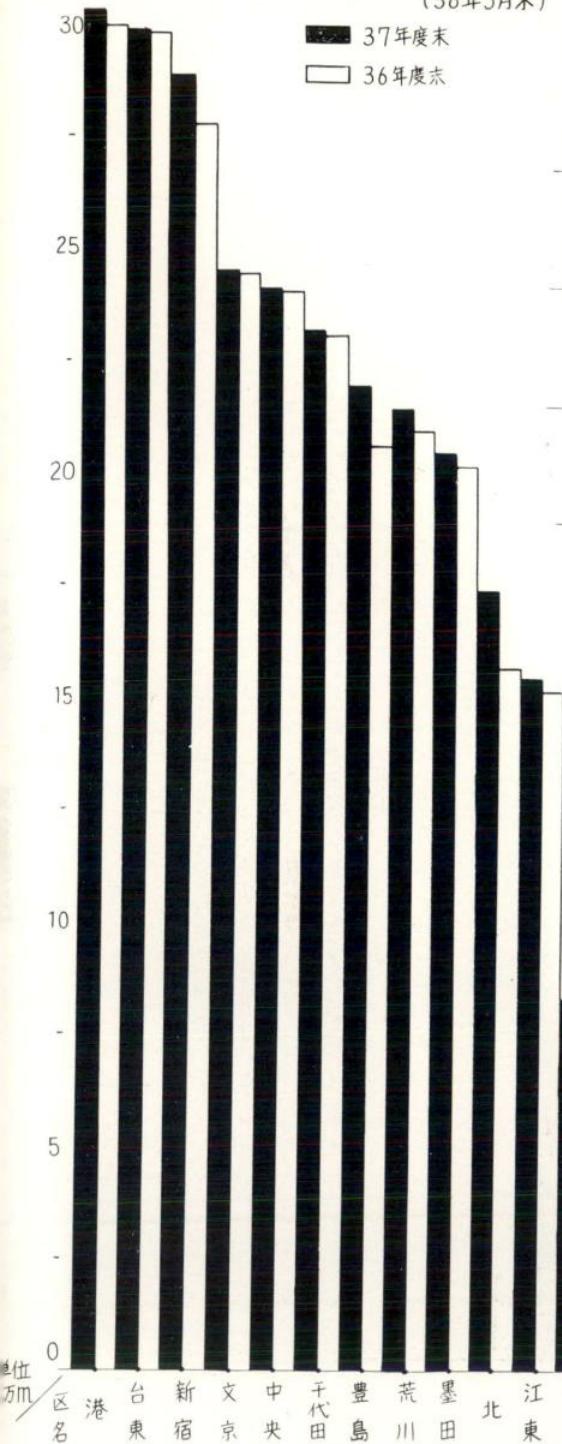


地域別下水道普及率
(38年3月末現在)



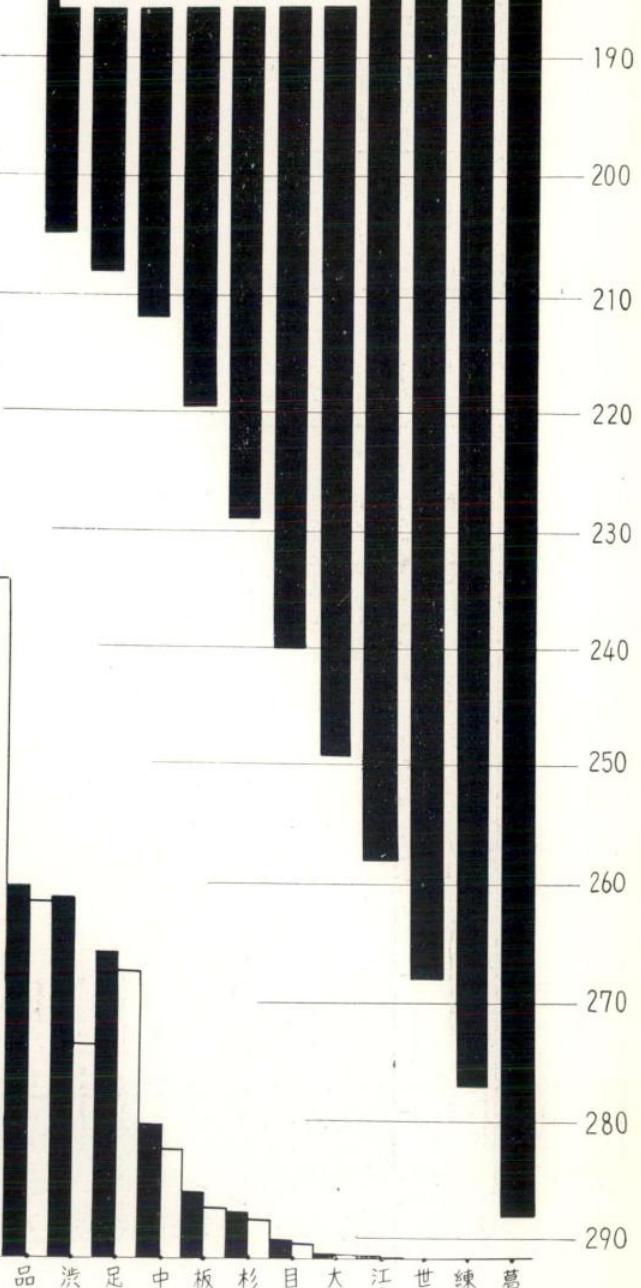
地域別管渠延長
(38年3月末)

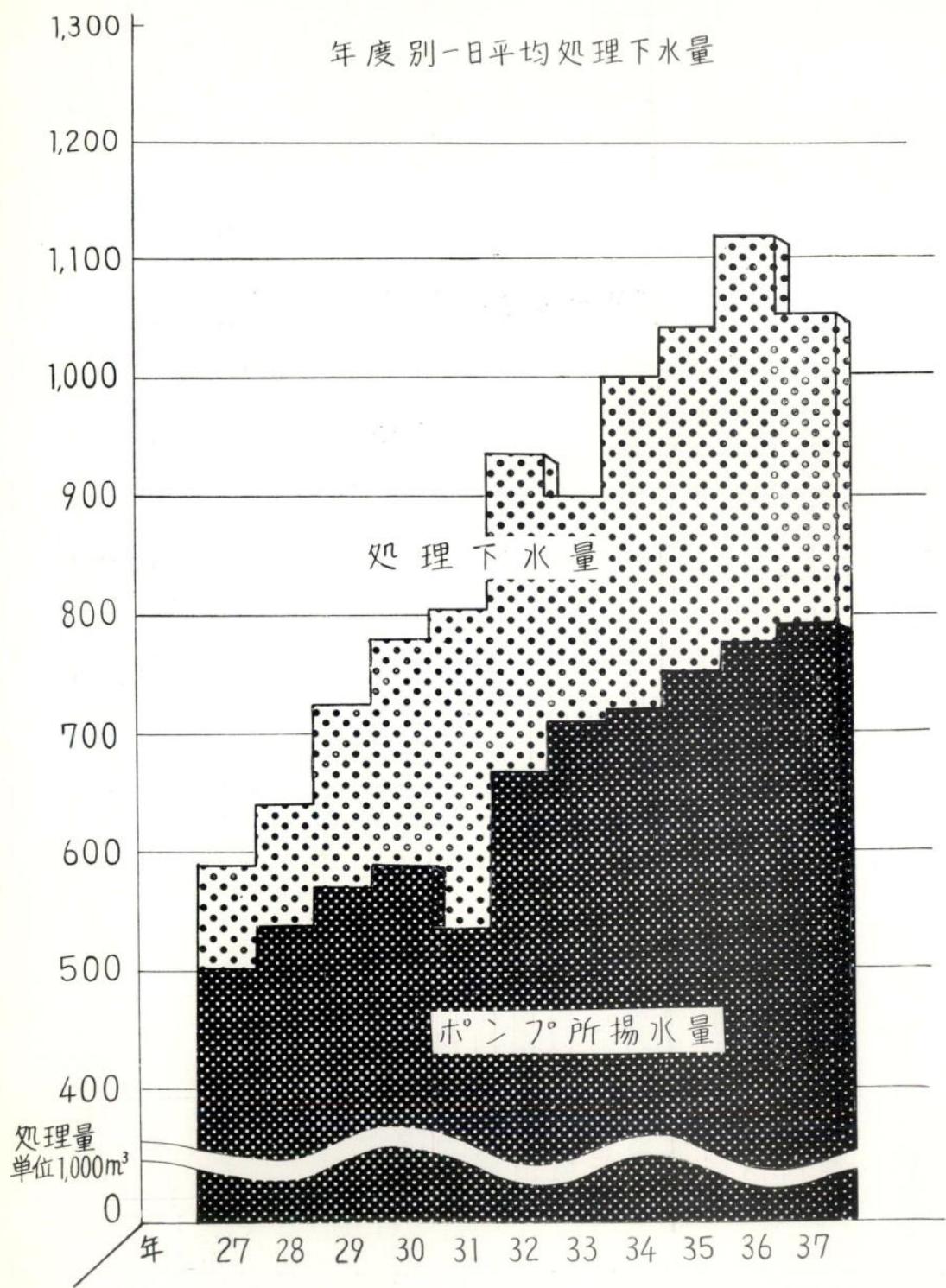
■ 37年度末
□ 36年度末



年度別管渠延長
単位万m

年度別管渠延長

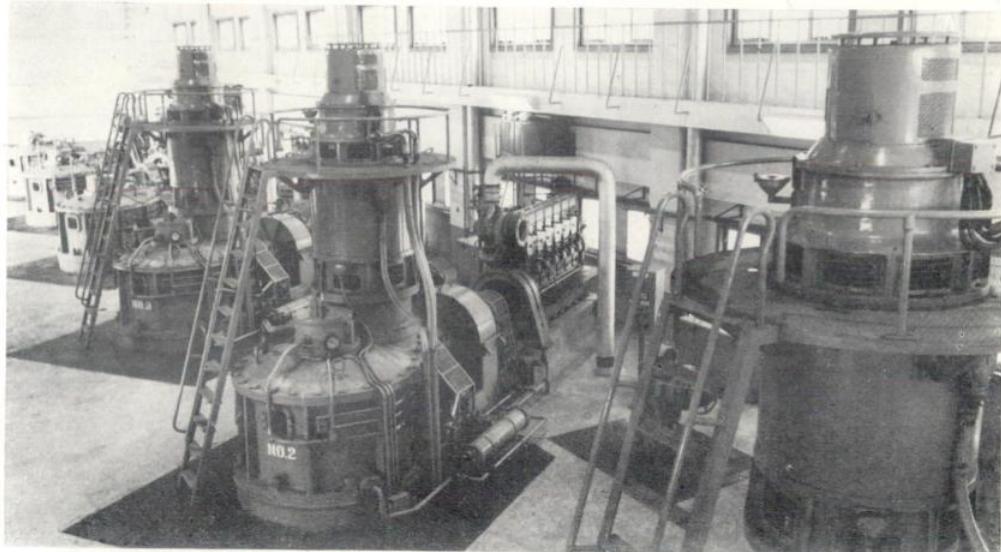




下水道局発足祝賀会で挨拶する亨局长（37年4月）



37年6月から運転を始めた汐留ポンプ所の内部



森ヶ崎処理場の起工式
（37年7月）



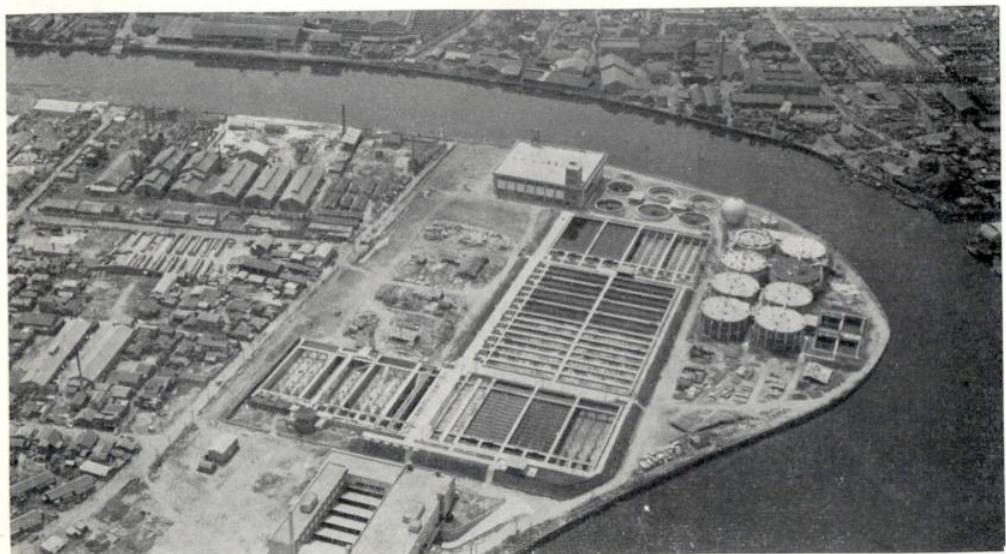
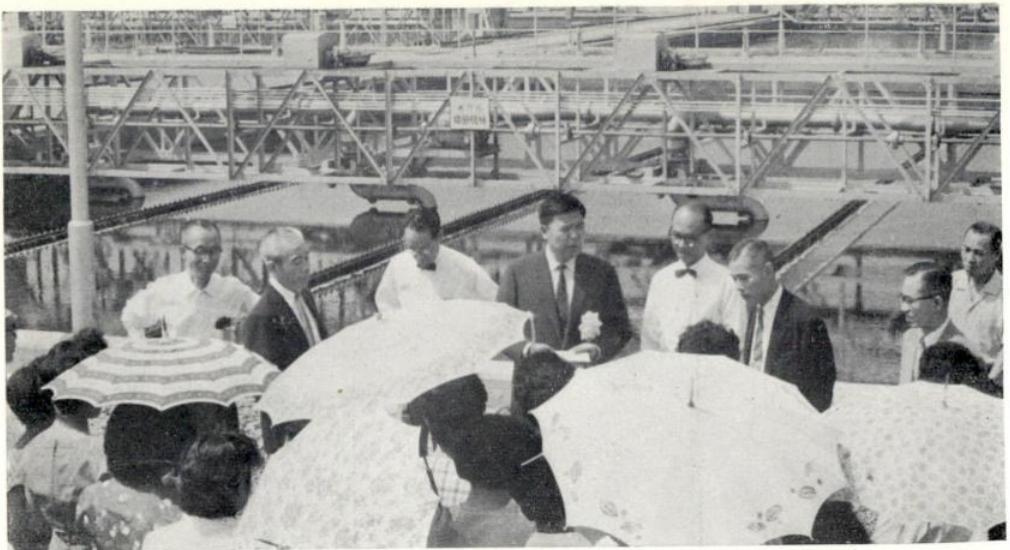
下水道促進デーで一日局長となつた。三国一朗さん

(37年9月)

一部運転開始の小台処理場

(37年7月)

宇田川(渋谷区)が下水道幹線となり、上部
が道路になつた。(38年2月)



第1章 総 説

第1節 序 説

近代における都市の基本的な施設は、道路、水道、下水道などである。即ち、道路は産業の発展のために、水道は住民の生活のために、そして下水道は都市の美化と環境衛生を支えるためにある。

この、下水道をぬきにしては健康で文化的な住民の生活は考えられない。即ち、汚水、雨水を合理的に排除し、処理することにより、住民の保健衛生、都市の美化に貢献するのである。つまり、都市生活に付随する汚水、雨水の衛生的排除、低湿地の災害防除、土地の有効利用、道路の保護、河川の汚濁防止などのために、図り知れない働きをするのが下水道である。しかしながら、東京においてはこれが普及は甚だしく遅れており、区部面積のやつと22.6%，区部総排水量340万m³/日（要処理量）のうち140万m³/日、主として旧市域内と隣接の一部区域のみの下水を処理してゐる現況である。

これは、東京の特殊な成長条件と、我国の肥料事情による貯蔵式便所が普及していたことなどのほか、一般に上水道、道路、建築等の急施を要する都市施設に優先され、目立たない下水道は、おおむね後まわしにされがちだった事情による。

現在の施設と能力のあらましは次の通りである。

管渠延長 2,876,329 メートル

処理場 4 (芝浦、三河島、砂町、小台)(昭和38年度末落合処理場が一部運転開始の予定)

高級処理能力 1,389,000m³/日

ポンプ所 24

排水面積 11,967ヘクタール (甲地区 10,007ヘクタール)
乙 1,960 ヘクタール

以上のような状況のため、都内の大部分の地域では、ドブまたは小河川を通じて汚水が直接川または港湾に流されるため、隅田川のごときはBODが時には100 p.p.m以上となり、環境衛生上も美観上も憂慮にたえない現状である。また、都民の大部分がまだ汲取り便所にたよつており、低地帯の汚水、雨水の氾濫も稀な現象ではない。しかも、近年の急激な人口の集中、ビルの林立、産業の発展はこうした悪現象にさらに拍車をかけている。

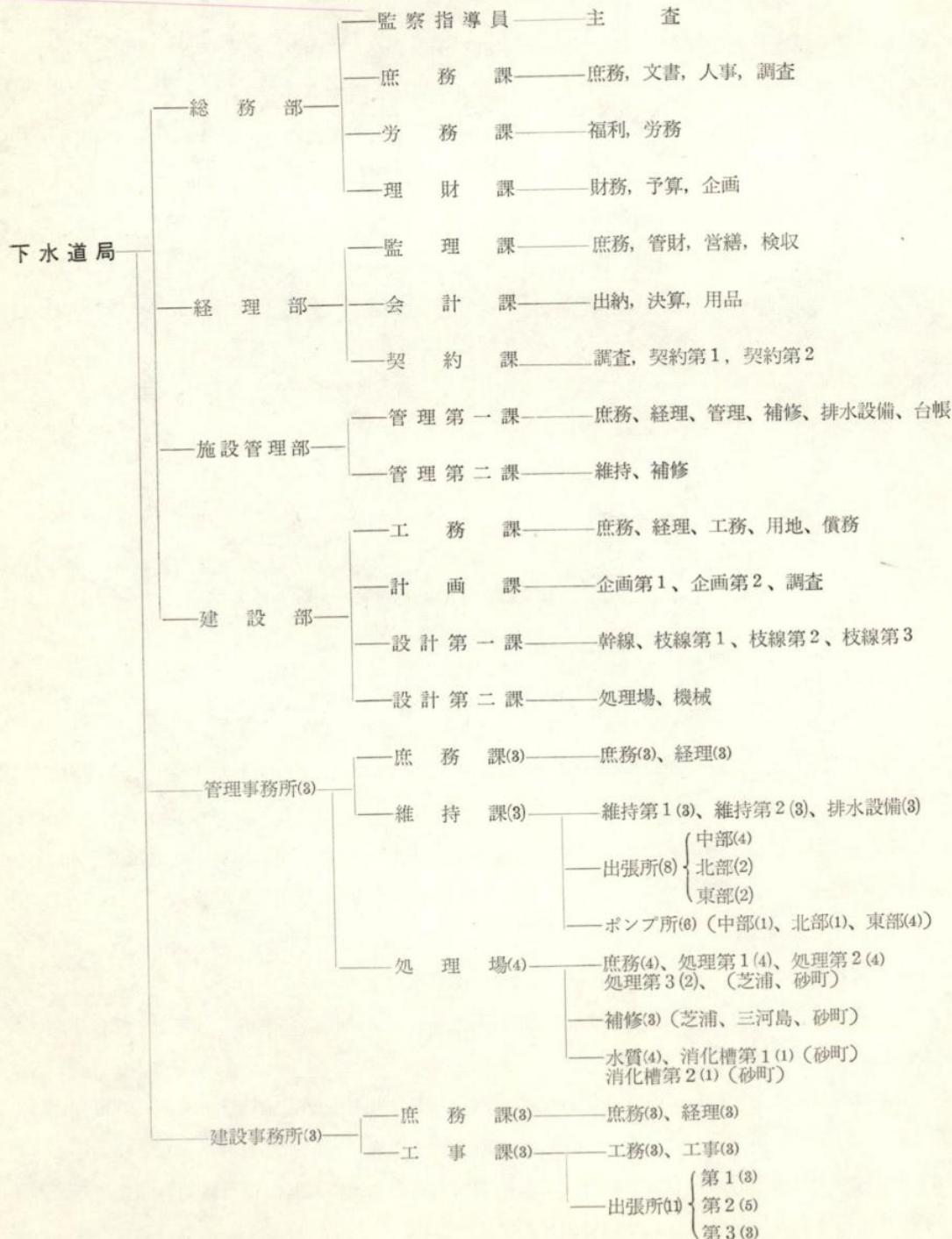
このように、都市公害が顕著になるに及んで、下水道にたいする一般の関心と要望が高まり、そして、昭和31年、都市計画税の創設、首都圈整備法の制定を見るにおよび、財源事情も好転し、拡張事業も活発になつた。

このような背景のもとに、昭和36年1月、区部全域を対象に48年度を完成目途とする2,300億円計画が府議決定を見、更に、37年7月には準用河川の下水道幹線化、人口・使用水量の増加などに対応し、この計画は事業費3,100億円計画に改訂された。また、増大する事業量に対し、執行体制を強化するため、昭和37年4月から下水道局が発足し、その効果をあげている。

第2節 組織

1. 機構

(1) 事務組織



(2) 事業所所在地と所管区域

部別	事業所名	所在地	所管区域
本局	総務部 経理部 施設管理部 建設部	千代田区丸の内3-5	
中部管理事務所		千代田区大手町2-8	芝浦系統に属する千代田、中央、港、新宿、文京、渋谷、豊島各区の大部及び台東、品川、目黒、世田谷、北、荒川各区の一部
芝浦処理場		港区芝高浜町2	落合系統に属する中野、杉並各区の大部及び新宿、世田谷、渋谷、豊島各区の一部
北部管理事務所		台東区浅草小島町1-5・4号	森ヶ崎系統に属する品川、目黒、世田谷各区の大部及び渋谷、杉並各区の一部
三河島処理場		荒川区荒川8-25	三河島系統に属する台東、荒川各区の大部及び千代田、文京、北各区の一部
小台処理場		足立区宮城町24	小台系統に属する北、板橋各区の大部及び豊島、練馬、足立各区の一部
東部管理事務所		江東区深川豊住町3-2	砂町系統に属する墨田、江東各区及び中央、足立、江戸川各区の一部
砂町処理場		江東区南砂町9-2, 473	
第一建設事務所		千代田区大手町2-8	千代田、中央、港、文京、品川、目黒、大田、世田谷、渋谷各区
第二建設事務所		荒川区荒川8-32-41	台東、墨田、江東、荒川、足立、江戸川各区
第三建設事務所		新宿区上落合1-196	新宿、中野、杉並、豊島、北、板橋、練馬各区

2. 職制

(1) 事務分掌

総務部	庶務課	1. 都議会に関すること。 2. 局の機構に関すること。 3. 文書の審査に関すること。 4. 文書の収受、配付、発送、編集及び保存に関すること。 5. 公印に関すること。 6. 局の人事に関すること。 7. 広報及び公聴に関すること。 8. 他の部課に属しないこと。
	労務課	1. 職員の福利及び共済に関すること。 2. 職員の教養に関すること。 3. 職員の勤務条件に関すること。 4. 職員の労働組合に関すること。

総務部	理財課	1. 財政計画及び財政報告に関する事。 2. 企業債に関する事。 3. 予算の見積りに関する事。 4. 予算統制に関する事。 5. 事業の進行管理に関する事。 6. 料金徴収委託事務に関する事。
	監理課	1. 固定資産台帳の整理及び保管に関する事。 2. 資産の調査に関する事。 3. 用地の管理に関する事。 4. 不動産の処分に関する事。 5. 営繕に関する事。 6. 物品、材料、請負工事等の検査に関する事。 7. 部内他の課に属しない事。
経理部	会計課	1. 収支伝票の審査及びその執行に関する事。 2. 現金、有価証券及び担保物の保管出納に関する事。 3. 資金の運用に関する事。 4. 決算及び会計資料に関する事。 5. 貯蔵品の準備計画に関する事。 6. 貯蔵品の調査、配給及び運用に関する事。 7. 貯蔵品倉庫に関する事。
	契約課	1. 物品及び材料の購買契約に関する事。 2. 工事、修繕その他の請負契約に関する事。 3. 舟車馬の供給契約に関する事。 4. 物件の貸借及び処分の契約に関する事。 5. 市場調査に関する事。
施設管理部	管理第一課	1. 下水道管渠の維持管理、補修、改良及び移設に関する事。 2. 排水設備に関する事。 3. 指定下水道工事店に関する事。 4. 部内他の課に属しない事。
	管理第二課	1. 処理場及びポンプ所の維持管理、補修及び改良に関する事。
建設部	工務課	1. 下水道の拡張工事の事務に関する事。 2. 用地の取得に関する事。 3. 部内他の課に属しない事。
	計画課	1. 下水道の拡張計画に関する事。
	設計第一課	1. 下水道管きよ（幹線および重要な枝線）の設計に関する事。
	設計第二課	1. 処理場及びポンプ所の設計に関する事。
管理事務所		1. 下水道の維持管理及び改良工事の施行に関する事務。 2. 処理場の維持管理に関する事務。
建設事務所		1. 下水道の拡張工事の施行に関する事務。

(2) 人員配置

(38年3月末現在)

所 属	職別	事務吏員	技術吏員	主事補	技師補	巡視	事務助手	技術助手	作業員	工員	用務員	計	定数外		
													結 休	未 帰 還	休 職
総務部		41	1	14	3		4		1		2	66			
経理部		44	9	① 15	9		1	3	3			84	1		
施設管理部		10	26	7	22		1		2			68			
建設部		17	① 69	6	65		6	2				165	1		
中部管理事務所		14	46	15	101	3	20	11	① 128	84		422	1		

東部管理事務所	14	48	i 14	① 101	3	8	10	86	① 152		436	2		1
北部 タ	17	59	① 20	85	6	21	5	65	① 92	1	371	2		
第一建設事務所	10	36	7	96		15	2	10			176			
第二 タ	7	46	8	77		15	3	6			162			
第三 タ	7	25	11	110		10	1	11			175	1		
計	181	365	117	669	12	101	37	312	328	3	2125	8		1

注 ○は結体内数
・は休職外数

第3節 下水道事業の概要

1. 沿革

東京における下水道施設の起源は、明治5年の大火後、銀座煉瓦街に洋風の溝渠が設けられたのに始まる。しかし近代式下水道施設の緊急性が問題化したのは、明治10年市内にコレラが流行したことに端を発するもので、明治16～19年にわたり神田の一部に分流式下水道が敷設されるにいたつた。ただし、これらの施設は部分的なものであり、また在来下水の修築、あるいはその一部を暗渠式に改良した程度の不完全なもので、その他の区域はいまだに江戸時代以来の在来溝渠、濠池により排水をしていた。

総合的計画に基づく下水道設計の調査は明治32年市区改正委員会により着手され、同41年3月にいたり現在の本都計画の基礎となっている東京市下水道改良事業基本計画が内閣の認可をえて決定し、明治44年6月下水改良事務所を設置し、第1期工事として下谷、浅草方面より着工、大正12年にはほぼ完了した。なお、大正11年より三河島下水処理場が一部操業を開始するにいたり、昭和5・6年には砂町・芝浦処理場がそれぞれ操業を開始した。

その後第2期工事等を逐次実施し、昭和7年には市域拡張にともない郊外12カ町の事業を引き継ぎ、新旧両市域にわたり継続工事を実施中のところ、第二次大戦のために事業は事実上中止するにいたり、旧市域の約8割と隣接新市域の一部を施行したままとなつた。

戦後においては直ちに戦災復旧をはかるとともに、文化的、衛生的首都の復興再建の段階から、さらに首都整備の一環として下水道の促進がとりあげられ、事業量も次第に増加してきた。その経過は次のとおりである。

まず昭和23～26年度当時は、戦後の大混乱からようやく脱脚しようと努めた時期で、昭和23年度から下水道の拡張事業を開始したが、当初の23、24年度は下水道増補改良事業に含めて実施した。また、下水道促進に対する認識も次第に深まつてきたが、財政的な極度の制約から拡張財源である起債が制限されて、予算額の約半分程度の事業実績をみたすにすぎなかつた。しかし、昭和25年7月には戦後の下水道の基本計画ともいべき「東京都市計画下水道」が決定し、拡張事業を進めて行く基礎が確立された。

昭和25年6月には首都建設法が制定され、翌26年12月には首都建設緊急5カ年計画がたてられ、下水道

も重点施策として盛り込まれ、同じ内容が昭和28年10月には都市計画事業として決定されるにいたつた。他方、財政面をみると、昭和27年10月地方公営企業法の全面適用による下水道事業会計の設定、昭和30年4月以降は失業対策事業の導入による失業対策費の繰り入れ、昭和31年6月地方税法改正により都市計画税収入財源の繰り入れがなされた。

昭和31年4月には、首都圈整備法が首都建設法にかわって制定され、都市施設の整備が強く推進されることになつたが、首都圈整備計画の一つとして当局では下水道拡張10カ年計画をたて、下水道築造認可をえて昭和32年度より着手した。政府においても昭和32年に建設省に下水道課を新設、翌33年下水道法が制定され、全国的に下水道築造が促進される傾向となつた。本部においても急増する事業量の執行体制を強化すべく、昭和34年12月1日下水道本部を設置した。さらに周辺区部の発展や、昭和39年の東京オリンピック開催決定とともに、本都の都市施設の整備、とりわけ下水道については今後ますます拡張事業の推進を要するが、これに対して、36年1月には昭和48年度完成を目指とする区部全域の下水道整備計画（総事業費2,300億円）を府議で決定した。

こえて翌37年3月には、この100%普及計画を骨子とする45年度70%普及計画が、新しい「都市計画」として、都市計画地方審議会で決定をみ、3月31日には、建設省告示第1,092号「東京都市計画下水道」、「東京都市計画下水道事業及びその執行年度割の変更」として告示された。

これによると、対象区域約37,314ヘクタール（100%計画、52,853ヘクタール）計画人口751万人（100%計画950万人）、管渠延長約7,608km、ポンプ所42カ所、処理場6カ所となつてゐる。

37年4月から下水道局が発足し、執行態勢が一andanと強化されるとともに、同年7月に前記100%整備計画に再検討を加え、これを総事業費3,100億円計画に改訂した。

また、小台処理場が一部運転を開始した。

その後、都心部の総合的再開発の一環として、千代田区大手町2丁目付近の市街地再開発が策定され、当局所管の銭坂町ポンプ所、並びに主要管渠の移設が必要となり、昭和37年12月23日建設省告示第3,205号をもつて、前記、東京都市計画下水道並びに同事業の一部変更を行なつた。

前記100%普及計画の残る30%についても、ひきつづき認可を求めることがなつてゐる。

2. 施 設 概 况

1. 旧15区内を芝浦、三河島、砂町の3系統に分割する。

築造認可年月	明治41年3月	排水開始年月	大正10年12月
排水方法	合流式、一部分流式	排水区域面積	6,992ヘクタール
予定排水人口	3,000,000人	予定1人1日最大汚水量	250立
工種		最大降水量	50耗
創設（第1期下水道改良工事）	明治44年	竣工	工費
第1回拡張（下水渠一部）	大正5年	大正12年	14,618,123円
第2回拡張（第2期下水道）	大正9年	大正9年	2,497,989円
第3回拡張（帝都復興下水道）	大正12年	大正12年	4,311,283円
（改良工事）		昭和6年	39,603,453円

第4回拡張(継続都市計画) 速成工事)	大正14年	昭和9年	5,600,286円
第5回拡張(管渠移転工事)	大正14年	昭和5年	2,310,518円
第6回拡張(下水道応急) 整理工事)	大正15年	昭和4年	948,402円
第7回拡張(失業救済工事) 昭和2年度)	昭和2年	昭和3年	340,415円
第8回拡張(失業救済工事) 昭和3年度)	昭和3年	昭和3年	428,477円
第9回拡張(失業救済工事) 昭和4年度)	昭和4年	昭和5年	1,711,460円
第10回拡張(昭和5年度) 速成工事)	昭和5年	昭和7年	2,674,854円
第11回拡張(昭和5・6年度) 第2改良速成工事)	昭和6年	昭和8年	7,561,665円
第12回拡張(失業救済工事) 昭和6年度)	昭和6年	昭和7年	455,538円
第13回拡張(失業救済工事) 昭和7年度)	昭和7年	昭和8年	461,219円
第14回拡張(継続都市計画) 完成(第1期)工事)	昭和8年	昭和19年 *(昭和21年)	27,688,297円 *(38,500,000円)

(注) *昭和19年戦時に際し打切、() 内は全体計画を示す。以下各項目につき同じ。

2. 旧大崎町一円

築造認可年月	大正12年3月(第1期) 昭和5年9月及び同11年6月(第2期)	排水開始年月	大正14年
排水方法	合流式	排水区域面積	305ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗
工種	起工	竣工	工費
創設(大崎町下水道) 事業第1期)	大正13年	昭和6年	746,263円
第1回拡張(大崎町下水道) 事業第2期)	昭和5年	昭和10年	793,764円

(注) 昭和7年10月以降は市郡併合により東京市施行。以下各項目につき同じ

3. 旧高田町一円

築造認可年月	昭和6年5月	排水開始年月	昭和6年
排水方法	合流式	排水区域面積	254ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗
工種	起工	竣工	工費
創設(高田町下水道事業)	昭和5年	昭和19年 (昭和21年)	1,638,867円 (2,118,000円)

4. 旧西巣鴨町一円

築造認可年月	昭和7年3月	排水開始年月	昭和7年
排水方法	合流式	排水区域面積	455ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗
工種	起工	竣工	工費
創設(西巣鴨町下水道事業)	昭和6年	昭和6年 (昭和21年)	1,595,529円 (2,910,000円)

5. 旧巣鴨町一円

築造認可年月	昭和5年3月	排水開始年月	昭和5年
排水方法	合流式	排水区域面積	187ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗
工種	起工	竣工	工費
創設(巣鴨町下水道事業)	昭和4年	昭和10年	1,076,609円

6. 旧王子町一円

築造認可年月	昭和4年3月	排水開始年月	昭和4年	
排水方法	合流式	排水区域面積	521ヘクタール	予定排水人口 90,000人
予定1人1日最大汚水量	167立		予定1時間最大降水量 50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(王子町下水道事業)		昭和3年	昭和19年 (昭和21年)	1,778,423円 (3,135,207円)

7. 旧尾久町一円

築造認可年月	昭和3年1月(第1期) 昭和7年7月(第2期)	排水開始年月	昭和3年	
排水方法	合流式	排水区域面積	228ヘクタール	予定排水人口 164,000人
予定1人1日最大汚水量	167立		予定1時間最大降水量 50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(尾久町下水道事業第1期)		昭和2年	昭和7年	779,144円
第1回拡張(尾了町下水道事業第2期)		昭和7年	昭和15年	1,254,738円

8. 旧南千住町、日暮里町、三河島町一円

築造認可年月	昭和6年5月	排水開始年月	昭和7年	
排水方法	合流式	排水区域面積	543ヘクタール	予定排水人口 227,000人
予定1人1日最大汚水量	167立		予定1時間最大降水量 50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(南千住町、日暮里町)		昭和6年	昭和19年 (昭和21年)	4,336,851円 (5,380,000円)

9. 旧大久保町一円

築造認可年月	昭和3年10月(第1期) 昭和7年9月(第2期)	排水開始年月	昭和4年	
排水方法	合流式	排水区域面積	200ヘクタール	予定排水人口 61,800人
予定1人1日最大汚水量	167立		予定1時間最大降水量 50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(大久保町下水道事業第1期)		昭和3年	昭和6年	403,762円
第1回拡張(大久保町下水道事業第2期)		昭和8年	昭和19年	1,042,560円

10. 旧滝野川町一円

築造認可年月	昭和8年12月	排水開始年月	昭和9年	
排水方法	合流式	排水区域面積	451ヘクタール	予定排水人口 116,000人
予定1人1日最大汚水量	167立		予定1時間最大降水量 50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(滝野川町下水道事業)		昭和8年	昭和19年 (昭和21年)	1,359,390円 (3,464,000円)

11. 足立区、江戸川区、墨田区の各一部

築造認可年月	昭和11年3月	排水開始年月	昭和18年	
排水方法	合流式	排水区域面積	2,193ヘクタール	予定排水人口 589,700人
予定1人1日最大汚水量	250立		予定1時間最大降水量 50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(郊外下水道事業の一部)		昭和11年	昭和19年 (昭和21年)	4,557,573円 (3,890,000円)

12. 旧南千住町一円

築造認可年月	大正11年2月(第1期) 昭和2年12月(第2期)	排水開始年月	大正11年	
排水方法	合流式	排水区域面積	245ヘクタール	予定排水人口 68,600人
予定1人1日最大汚水量	167立		予定1時間最大降水量 50耗	
工種		起工	竣工	工費
創設(千住町下水道事業第1期)		大正10年	大正15年	507,995円
第1回拡張(千住町下水道事業第2期)		昭和2年	昭和7年	843,225円

13. 千代田区他20区

築造認可年月	昭和34年3月	排水区域面積	22,315ヘクタール	予定排水人口 3,950,000人
排水方法	合流式		予定1時間最大降水量 50耗	
予定1人1日最大汚水量	320立		工費 36,600,000,000円	
工期	自昭和32年	至昭和41年		

第4節 昭和37年度事業概況

1. 総括事項

昭和37年度は、下水道局発足の第1年度であり、新機構のもとに、「東京都下水道事業計画」の強力なる推進を重点とし、鋭意事業遂行に努めた。

経営

拡張事業の進捗に伴い、37年7月小台処理場が一部運転を開始した。（処理水量 日量10万立方メートル）なお、下水道使用件数は前年度に比して2万4千余件の増加をみ、当年度末において54万6千余件となつた。しかしながら、給水事情の悪化に伴い、処理場における年間下水処理量は3億8千余万立方メートルで予定量に対して82.5%の実績を示したにすぎず、この結果料金収入は、予定額の1割強の減収となつた。

他方、職員給与ベースの改訂、その他経費の増嵩等による支出の増加傾向が著しく、特に処理場費では、小台処理場の一部稼動と全流入下水量の完全高級処理化に伴い、使用電力料その他の処理経費が、前年度に比し45.2%の激増を示した。

このため、管渠、ポンプ所、処理場等施設の維持管理経費が極度に圧迫されたが、事務諸経費の節減等により、ようやく収支の均衡を保つことができた。

当年度の経営上における事業実施のおもなものは、つぎのとおりである。

処理場下水処理量	384,870,245立方メートル
ポンプ所下水揚水量	288,646,790立方メートル
管渠管理延長	2,876,329メートル
管渠掃除量	
作業延長	872,792メートル
汚泥量	23,551立方メートル

建設及び改良

当年度における建設工事予算は120億円であり、前年に比し26%増と飛躍的に増大したのであるが、その事業資金は、企業債収入において若干収入不足を示したもの、一般会計繰入金、国庫補助金等は概ね順調に確保されたので、完全消化すべく努力した結果、事業の全般的進展をみることができた。

即ち建設工事では、前年度に引き続き芝浦、砂町、三河島各処理場の施設を拡張し、37年7月一部運転を開始した小台処理場は継続して第二期工事を進めており、落合処理場も38年度末の一部運転開始を目指すすでに曝気槽工事を完了し、目下第二沈澱池の建設を進めている。

なお、長年懸案であつた森ヶ崎処理場の建設工事は、用地問題等もようやく解決し、37年7月工事に着手した。

これら処理場に連結する管渠工事として、幹線8,910.57メートル、枝線96,330.21メートルを敷設した。

ポンプ所工事についても、藍染ポンプ所外7カ所の建設工事をおこなつた。

つぎに改良工事では、老朽管渠と、ポンプ所、処理場等における諸設備を積極的に改良し、処理能力の改善に努めた。

経 理

(1) 損 益 収 支

総収益4,208,036,662円に対する総費用は4,202,751,195円で、当年度純利益は5,285,467円である。

(2) 資 本 的 収 支

総収入10,900,388,349円に対する総支出は11,811,865,249円で、差引不足額は911,476,900円であるが、なお地方公営企業法第26条の規定による翌年度への繰越工事515,150,911円の資金を留保したので、資金不足額は1,426,627,811円となる。

この資金不足額については、前年度からの繰越工事資金、建設改良積立金、当年度利益剰余金および損益勘定留保資金をもつて充当した。

2. 議会議決事項

(1) 予 算 関 係

議決年月日	種 別	議案番号	件	名
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 2 5 号	昭和37年度東京都下水道事業会計追加予算	
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 1 6 号	昭和37年度東京都下水道事業会計更正予算	
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 7 号	昭和38年度東京都下水道事業会計予算	

(2) 起 債 関 係

議決年月日	種 別	議案番号	件	名
38. 3. 12	第1回定例会	第 2 6 号	東京都下水道事業会計起債について	

(3) 決 算 認 定

議決年月日	種 別	件	名
38. 3. 12	第1回定例会	昭和36年度東京都下水道事業会計の決算の認定について	

(4) 条 例 関 係

議決年月日	種 別	議案番号	件	名
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 3 0 号	東京都公営企業に従事する職員で、労働組合を結成し、又はこれに加入することができない者の範囲に関する条例の一部を改正する条例	
38. 3. 12	第1回定例会	第 1 4 2 号	常盤橋地区再開発に伴う都有財産の処分等に関する条例	

(5) 工事請負契約

議決年月日	種別	議案番号	件名
37. 6. 16	第2回定例会	第315号	千駄ヶ谷幹線その3工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第316号	千駄ヶ谷幹線その4工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第317号	砂幹線その11工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第318号	渋谷区代々木深町付近枝線工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第319号	江戸川区平井1丁目, 逆井2丁目付近枝線工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第320号	砂町処理場ボイラーソの他設備その2工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第321号	千住ポンプ所ポンプ設備その1工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第322号	藍染ポンプ所沈砂池機械設備工事請負契約
37. 6. 16	第2回定例会	第323号	森ヶ崎西処理場建設その1工事請負契約
37. 8. 29	第3回臨時会	第387号	予算外義務の負担について(第388号に関連して)
37. 8. 29	第3回臨時会	第388号	落合処理場送風機その1工事請負契約
37. 8. 29	第3回臨時会	第389号	予算外義務の負担について(第390号に関連して)
37. 8. 29	第3回臨時会	第390号	砂町処理場汚泥脱水設備その3工事請負契約
37. 8. 29	第3回臨時会	第391号	予算外義務の負担について(第392号に関連して)
37. 8. 29	第3回臨時会	第392号	砂町処理場汚泥消化槽その3工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第483号	神田川幹線その10工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第484号	予算外義務の負担について(第485号に関連して)
37. 10. 5	第3回定例会	第485号	神田川幹線その11工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第486号	予算外義務の負担について(第487号に関連して)
37. 10. 5	第3回定例会	第487号	白山幹線雨水吐その3工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第488号	予算外義務の負担について(第489号に関連して)

議決年月日	種 別	議 案 番 号	件 名
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 8 9 号	白山幹線雨水吐その4工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 0 号	予算外義務の負担について(第491号に関連して)
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 1 号	谷端川幹線雨水吐その4工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 2 号	予算外義務の負担について(第493号に関連して)
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 3 号	大島ポンプ所ポンプ設備その1工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 4 号	予算外義務の負担について(大島ポンプ所電気設備その1工事)
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 5 号	予算外義務の負担について(大島ポンプ所起重機設備工事)
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 6 号	予算外義務の負担について(大島ポンプ所沈砂池機械設備その1工事)
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 7 号	予算外義務の負担について(第498号に関連して)
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 8 号	藍染ポンプ所ポンプ設備その1工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 4 9 9 号	予算外義務の負担について(第500号に関連して)
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 0 号	藍染ポンプ所電気設備その1工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 1 号	予算外義務の負担について(藍染ポンプ所起重機設備工事)
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 2 号	予算外義務の負担について(第503号に関連して)
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 3 号	落合処理場建設その4工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 4 号	予算外義務の負担について(落合処理場空気本管その他工事)
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 5 号	予算外義務の負担について(落合処理場散気設備その1工事)
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 6 号	予算外義務の負担について(落合処理場污水ポンプ設備その1工事)
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 7 号	三河島処理場処理施設改造その1工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 8 号	予算外義務の負担について(第509号に関連して)
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 0 9 号	砂町処理場電気設備その2工事請負契約
37. 10. 5	第3回定例会	第 5 1 0 号	予算外義務の負担について(小台処理場ボイラーその他設備その2工事)

議決年月日	種別	議案番号	件名
38. 3. 12	第1回定例会	第173号	砂幹線その15工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第174号	石神井川下幹線その10工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第175号	岩淵幹線その10工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第176号	神田川幹線その13工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第177号	妙正寺川幹線その2工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第178号	屋久幹線その7工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第179号	渋谷区代々木富ヶ谷町、代々木深町付近枝線工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第180号	尾久ポンプ所建設その2工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第181号	予算外義務の負担について(第182号に関連して)
38. 3. 12	第1回定例会	第182号	日本堤ポンプ所建設その5工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第183号	落合処理場電気設備その1工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第184号	森ヶ崎西処理場建設その2工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第185号	谷田川幹線放流渠その5工事請負契約
38. 3. 12	第1回定例会	第186号	予算外義務の負担について(第187号に関連して)
38. 3. 12	第1回定例会	第187号	三河島処理場処理施設改造その2工事請負契約

(6) 購入契約

議決年月日	種別	議案番号	件名
37. 8. 29	第3回臨時会	第393号	尾久ポンプ所用地の買収について
37. 8. 29	第3回臨時会	第394号	森ヶ崎処理場用地の買収について

(7) 売却契約

議決年月日	種別	議案番号	件名
37. 8. 29	第3回臨時会	第395号	日本国有鉄道新幹線の拡幅に伴う土地売却について

3. 行政官庁許認可事項

該当事項なし

4. 職員に関する事項

(1) 昭和38年3月31日現在の職員は2,127名で、その内訳はつぎのとおりである。

種別	科目	事務吏員	技術吏員	雇員	傭員	休養者	休職者	計
経営部門		111名	167名	378名	689名	6名	1名	1,352名
建設改良部門		70	196	417	89	2	1	775
	計	181	363	795	778	8	2	2,127

(2) 職員構成表

(イ) 勤続年数別職員構成表

年数別	職種別	事務職員	技術職員	その他	臨時職員	計
1年未満		5名	101名	3名	1名	110名
1年以上~3年未満		87	638	3	18	746
3ヶ月	5ヶ月	57	340	4	42	443
5ヶ月	7ヶ月	28	114	2	8	152
7ヶ月	10ヶ月	37	91		9	137
10ヶ月	15ヶ月	95	166	2	17	280
15ヶ月	20ヶ月	37	69		5	111
20ヶ月	25ヶ月	17	68			85
25ヶ月	30ヶ月	16	36	1		53
30ヶ月	40ヶ月	18	78			96
40年以上		3	11			14
	計	400	1,712	15	100	2,227
総勤続年数		4,380	13,337	91	632	18,440
人当たり平均		11	8	6	6	8

(ロ) 年令別職員構成表

年令別	職種別	事務職員	技術職員	その他	臨時職員	計
20才以下		2名	173名		3名	178名
21才以上 25才以下		52	416		14	482
26ヶ月	30ヶ月	100	291	2	11	404
31ヶ月	35ヶ月	108	258	3	11	380
36ヶ月	40ヶ月	49	164	5	8	226
41ヶ月	45ヶ月	23	105	1	5	134
46ヶ月	50ヶ月	22	71	1	5	99
51ヶ月	55ヶ月	20	88	1	5	114
56ヶ月	60ヶ月	14	81	1	9	105
61才以上		10	65	1	29	105
	計	400	1,712	15	100	2,227
総年令		13,989	57,172	608	4,425	76,194
人当たり平均		35	33	41	44	34

(3) 管理者の任命について

下水道局の発足に伴い、昭和37年4月1日初代局長に 亨 仁が任命された。

(4) 職員の給料について

国家公務員の給与改訂に伴い「東京都下水道局職員の給与に関する規程」の一部を改正して、昭和37年10月1日から給料月額の引上げを行なつた。

5. 料金その他供給条件の設定変更に関する事項

該当事項なし

第2章 財務

第1節 財政

1. 昭和37年度東京都下水道事業予算決算対照表

(1) 収益的収入及び支出

取入

区分	予算額(A)	決算額(B)	差引予算残額	執行率(B/A) %
第1款 下水道事業収益	4,528,130,000	4,208,036,662	320,093,338	92.9
第1項 営業収益	3,313,200,000	2,987,718,906	325,481,094	90.2
下水道料金	2,068,400,000	1,859,189,181	209,210,819	89.9
一般会計繰入金	632,700,000	627,430,500	5,269,500	99.2
受託事業収益	216,300,000	202,524,435	13,775,565	93.6
その他営業収益	395,800,000	298,574,790	97,225,210	75.4
第2項 営業外収益	1,214,930,000	1,220,317,756	△ 5,387,756	100.4
受取利息	30,168,000	24,494,727	5,673,273	81.2
土地物件収益	15,867,328	29,677,028	△ 13,809,700	187.0
一般会計繰入金	1,138,079,000	1,147,263,738	△ 9,184,738	100.8
雑	30,815,672	18,882,263	11,933,409	61.3
計	4,528,130,000	4,208,036,662	320,093,338	92.9

支出

区分	予算額(A)	決算額(B)	差引予算残額	執行率(B/A) %
第1款 下水道管理費	4,528,130,000	4,202,751,195	325,378,805	92.8
第1項 営業費用	3,366,900,000	3,043,030,402	323,869,598	90.4
管渠費	740,750,000	635,080,940	105,669,060	85.7
ボンブ場費	253,900,000	239,469,990	14,430,010	94.3
処理場費	714,500,000	689,254,278	25,245,722	96.5
受託事業費	216,300,000	202,524,435	13,775,565	93.6
業務費	372,000,000	363,346,936	8,653,064	97.7
総係費	241,950,000	168,450,274	73,499,726	69.6
減価償却費	740,000,000	674,357,145	65,642,855	91.1
資産減耗費	80,000,000	63,620,650	16,379,350	79.5
その他営業費用	7,500,000	6,925,754	574,246	92.3
第2項 営業外費用	1,160,230,000	1,159,720,793	509,207	100.0
支払利息及び企業債取扱諸費	1,147,263,738	1,147,263,738	0	100.0
繰延勘定償却	4,875,000	4,875,000	0	100.0
雜支出	8,091,262	7,582,055	509,207	93.7
自己資本造成費	0	0	0	
第3項 予備費	1,000,000	0	1,000,000	
計	4,528,130,000	4,202,751,195	325,378,805	92.8

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引予算残額	執行率 $(\frac{B}{A})$
第1款 企 業 債 債 債	円 8,200,000,000 8,200,000,000 8,200,000,000	円 6,995,125,000 6,995,125,000 6,995,125,000	円 1,204,875,000 1,204,875,000 1,204,875,000	% 85.3 85.3 85.3
第2款 一 般 会 計 繰 入 金	3,197,987,000	3,190,397,670	7,589,330	99.8
第1項 一 般 会 計 繰 入 金	3,197,987,000	3,190,397,670	7,589,330	99.8
企 業 債 元 金 債 還 資 補 給 金	248,927,000	248,927,000	0	100.0
下 水 道 拡 張 事 業 費 繰 入 金	2,100,000,000	2,100,000,000	0	100.0
失 業 対 策 下 水 施 設 費 繰 入 金	43,060,000	35,470,670	7,589,330	82.4
特 別 失 業 対 策 下 水 施 設 費 繰 入 金	200,000,000	200,000,000	0	100.0
下 水 道 整 備 拠 充 事 業 費 繰 入 金	606,000,000	606,000,000	0	100.0
第3款 国 庫 補 助 金	600,000,000	585,000,000	15,000,000	97.5
第1項 国 庫 補 助 金	600,000,000	585,000,000	15,000,000	97.5
国 庫 補 助 金	600,000,000	585,000,000	15,000,000	97.5
第4款 固 定 資 産 売 却 収 入	22,729,500	11,652,846	11,076,654	51.3
第1項 固 定 資 産 売 却 収 入	22,729,500	11,652,846	11,076,654	51.3
固 定 資 産 売 却 収 入	22,729,500	11,652,846	11,076,654	51.3
第5款 貸 付 金 返 還 金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
第1項 貸 付 金 返 還 金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
貸 付 金 返 還 金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
第6款 そ の 他 資 本 収 入	164,443,500	112,212,833	52,230,667	68.2
第1項 そ の 他 資 本 収 入	164,443,500	112,212,833	52,230,667	68.2
そ の 他 資 本 収 入	164,443,500	112,212,833	52,230,667	68.2
計	12,191,160,000	10,900,388,349	1,290,771,651	89.4

支 出

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引予算残額	執行率 $(\frac{B}{A})$
第1款 建 設 改 良 費	円 12,880,371,000 820,371,000 407,191,713 89,562,100 195,029,762 128,587,425	円 11,356,938,249 689,320,632 332,955,762 89,220,975 193,074,225 74,069,670	円 1,523,432,751 131,050,368 74,235,951 341,125 1,955,537 54,517,755	% 88.2 84.0 81.8 99.6 99.0 57.6
第1項 建 設 改 良 費	12,880,371,000	11,356,938,249	1,523,432,751	88.2
管 水 道 改 良 費	820,371,000	689,320,632	131,050,368	84.0
渠 ブ フ ラ 场 施 設 費	407,191,713	332,955,762	74,235,951	81.8
水 泥 土 施 設 費	89,562,100	89,220,975	341,125	99.6
施 設 費	195,029,762	193,074,225	1,955,537	99.0
下 水 道 拡 張 費	128,587,425	74,069,670	54,517,755	57.6
第2項 下 水 道 拡 張 費	12,060,000,000	10,667,617,617	1,392,382,383	88.5
施 設 費	10,790,000,000	9,598,702,276	1,191,297,724	89.0
失 業 対 策 下 水 施 設 費	100,000,000	81,487,275	18,512,725	81.5
特 別 失 業 対 策 下 水 施 設 費	310,000,000	290,430,429	19,569,571	93.7
下 水 道 整 備 拠 充 費	860,000,000	696,997,637	163,002,363	81.0
第2款 企 業 債 債 還 金	448,927,000	448,927,000	0	100.0
第1項 企 業 債 債 還 金	448,927,000	448,927,000	0	100.0
企 業 債 還 金	448,927,000	448,927,000	0	100.0
第3款 貸 代 金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
第1項 貸 付 金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
職 員 共 済 組 合 貸 付 金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
計	13,335,298,000	11,811,865,249	1,523,432,751	88.6

1. 資本的支出予算額のうち、建設改良工事の繰越は次のとおりである。

下水道拡張費 515,150,911円

2. 資本的収入合計10,900,388,349円と資本的支出合計11,811,865,249円との収入不足額911,476,900円に、翌年度への繰越工事に対する資金留保額515,150,911円を加えた資金不足額1,426,627,811円については、次のとおり補てんした。

内訳	(1) 前年度からの繰越工事資金	77,988,000円
	(2) 建設改良積立金処分額	40,000,000
	(3) 当年度利益剰余金充当	114,000,000
	(4) 整備拡充事業前年度資金残額	585,395
	(5) 損益勘定留保資金	1,194,054,416

2. 昭和37年度東京都下水道事業損益計算書

1. 営業収益

(1) 下水道料金	1,859,189,181円
(2) 一般会計繰入金	627,430,500
(3) 受託事業収益	202,524,435
(4) その他営業収益	298,574,790

2. 営業費用

(1) 管渠費	635,080,940
(2) ポンプ場費	239,469,990
(3) 処理場費	689,254,278
(4) 受託事業費	202,524,435
(5) 業務費	363,346,936
(6) 総係費	168,450,274
(7) 減価償却費	674,357,145
(8) 資産減耗費	63,620,650
(9) その他営業費用	6,925,754

営業総利益

△ 55,311,496円

3. 営業外収益

(1) 受取利息	24,494,727
(2) 土地物件収益	29,677,028
(3) 一般会計繰入金	1,147,263,738
(4) 雑 収	18,882,263

当年度総利益

1,165,006,260

4. 営業外費用

(1) 支払利息及企業債取扱諸費	1,147,263,738
(2) 繰延勘定償却	4,875,000
(3) 雑支出	7,582,055

当年度純利益

5,285,467

損 益 計 算 書

借 方

貸 方

營

業

費

30 億 4 千 303 万 402 円

用

(72.31%)

營

業

外

11 億 5 千 972 万 793 円

費

用

(27.56%)

管 渠 費	635,080,940円
ポンプ場費	239,469,990
処理場費	689,254,278
受託事業費	202,524,435
業務費	363,346,936
総係費	168,450,274
減価償却費	674,357,145
資産減耗費	63,620,650
その他営業費用	6,925,754

下水道料金	1,859,189,181円
一般会計繰入金	627,430,500
受託事業収益	202,524,435
その他営業収益	298,574,790

受取利息	24,494,727円
土地物件収益	29,677,028
一般会計繰入金	1,147,263,738
雜 収	18,882,263

支払利息及企業債取扱諸費	1,147,263,738円
繰延勘定償却	4,875,000
雜 支 出	7,582,055

当年度純利益 (0.13%) 528万5千467円

營

業

收

29 億 8 千 771 万 8 千 906 円

(71.00%)

營

業

外

12 億 2 千 31 万 7 千 756 円

(29.00%)

3. 昭和37年度東京都下水道事業剰余金計算書

利益剰余金の部

I 減債積立金

1 前年度末残高	1,400,000円
2 前年度繰入額	<u>2,500,000</u>
3 当年度末残高	3,900,000円

II 建設改良積立金

1 前年度末残高	0
2 前年度繰入額	45,000,000
3 当年度処分額	<u>40,000,000</u>
4 当年度末残高	5,000,000

積立金合計 8,900,000円

III 未処分利益剰余金

1 前年度未処分利益剰余金	48,496,636
2 前年度利益剰余金処分額	
(1) 減債積立金	2,500,000
(2) 建設改良積立金	<u>45,000,000</u>
繰越利益剰余金	47,500,000
996,636	
3 繰越利益剰余金増加高	
(1) 固定資産売却益	<u>199,306,271</u>
199,306,271	199,306,271
4 繰越利益剰余金減少高	
(1) 整備拡充除却損	<u>85,373,453</u>
85,373,453	85,373,453
繰越利益剰余金年度末残高	114,929,454
5 当年度純利益	<u>5,285,467</u>
当年度未処分利益剰余金	120,214,921

資本剰余金の部

I 国庫補助金	
1 前年度末残高	638,320,000円
2 当年度発生額	<u>585,000,000</u>
3 当年度末残高	1,223,320,000円
II 受贈財産評価額	
1 前年度末残高	2,334,080,436
2 当年度発生額	272,449,329
3 当年度処分額	<u>12,227,185</u>
4 当年度末残高	2,594,302,580
III 事業施設建設受入寄付金	
1 前年度末残高	87,498,005
2 当年度発生額	<u>109,234,438</u>
3 当年度末残高	196,732,443
IV 保険差益	
1 前年度末残高	<u>237,653</u>
2 当年度末残高	<u>237,653</u>
3 資本剰余金合計	<u>4,014,592,676円</u>
翌年度繰越資本剰余金	<u>4,014,592,676</u>

4. 昭和37年度東京都下水道事業剰余金処分計算書

I 当年度未処分利益剰余金		120,214,921円
II 利益剰余金処分額		
1 減債積立金	<u>6,000,000円</u>	
2 建設改良積立金 (議決済処分額)	114,000,000	<u>120,000,000円</u>
III 翌年度繰越利益剰余金		<u>214,921</u>

5. 昭和37年度東京都下水道事業貸借対照表

(昭和38年3月31日)

資産の部

I 固定資産

1 有形固定資産

(1) 土地		3,939,612,448円
(2) 立木		7,131,053
(3) 建物	2,728,889,236円	
減価償却引当金	155,198,412	2,573,690,824
(4) 構築物	32,198,625,489	
減価償却引当金	3,206,956,296	28,991,669,193
(5) 機械及装置	5,444,608,665	
減価償却引当金	462,905,920	4,981,702,745
(6) 車両運搬具	114,013,999	
減価償却引当金	45,005,902	69,008,097
(7) 器具備品	102,309,850	
減価償却引当金	40,407,042	61,902,808
(8) 建設仮勘定		13,472,384,690
有形固定資産合計		54,097,101,858円

2 無形固定資産

(1) 電気ガス供給施設利用権		67,685,024
(2) 借地権		1,250,156
無形固定資産合計		68,935,180

3 投資資産

(1) 長期共済組合貸付金		4,000,000
(2) 投資有価証券		8,856,400
投資資産合計		12,856,400
固定資産合計		54,178,893,438

II 流動資産

1 現金及預金

(1) 現 金	13,800,000円
(2) 預 金	1,024,035,493

2 未収金

(1) 営業未収金	424,262,630
(2) 営業外未収金	249,491,240
(3) その他未収金	1,194,461,300

1,868,215,170

3 貯蔵品

(1) 材 料	94,995,424
(2) 消耗工具備品	480,230
(3) 消耗品	5,475,268

100,950,922

4 仮払金

(1) 概算金	32,886,100
---------	------------

流動資産合計

3,039,887,685円

資産合計

57,218,781,123

負債の部

III 固定負債

1 引当金

(1) 退職給与引当金	56,895,244
-------------	------------

固定負債合計

56,895,244

IV 流動負債

1 未払金

(1) 営業未払金	257,283,304
(2) 工事未払金	1,823,894,959
(3) その他未払金	46,796,653

2,127,974,916

2 未払費用

(1) 未払費用	25,482,903
----------	------------

3 前受金

(1) 営業前受金	1,086,833
(2) その他前受金	84,029

1,170,862

4 預り金

(1) 預り保証金	15,146,200円
(2) 預り諸税	10,819,823
(3) その他預り金	841,608
	<u>26,807,631円</u>
流动負債合計	<u>2,181,436,312円</u>
負債合計	<u>2,238,331,556</u>

資本の部

V 資本金

1 自己資本金	
(1) 自己資本金	29,266,247,570
2 借入資本金	
(1) 企業債	<u>21,570,494,400</u>
資本金合計	<u>50,836,741,970</u>

VI 剰余金

1 資本剰余金	
(1) 国庫補助金	1,223,320,000
(2) 受贈財産評価額	2,594,302,580
(3) 事業施設建設受入寄付金	196,732,443
(4) 保険差益	<u>237,653</u>
資本剰余金合計	<u>4,014,592,676</u>
2 利益剰余金	
(1) 減債積立金	3,900,000
(2) 建設改良積立金	5,000,000
(3) 当年度未処分利益剰余金	
繰越利益剰余金	114,929,454円
年度末残高	
当年度純利益	<u>5,285,467</u>
利益剰余金合計	<u>120,214,921</u>
剰余金合計	<u>129,114,921</u>
資本合計	<u>4,143,707,597</u>
負債資本合計	<u>54,980,449,567</u>
	<u>57,218,781,123</u>

貸 借 対 照 表

借 方

貸 方

(0.099%)

固定負債 5千689万5千244円

未 払 金	2,127,974,916円
未 払 費 用	25,482,903
前 受 金	1,170,862
預 り 金	26,807,631

流動負債	21億8千143万6千312円
	(3.813%)

資

固

定

541 億
7 千
889 万
3 千
438 円

資 產

有形固定資産	54,097,101,858円
無形固定資産	68,935,180
投 資 資 產	12,856,400

本

508 億 3 千 674 万 1 千 970 円	金
---------------------------------------	---

自 己 資 本 金	29,266,247,570円
借 入 資 本 金	21,570,494,400

(94.687%)

現 金 及 預 金	1,037,835,493円
未 収 金	1,868,215,170
貯 藏 品	100,950,922
仮 払 金	32,886,100

(88.846%)

流動資產
30億3千988万7千685円
(5.313%)

資 本 剰 余 金	4,014,592,676円
利 益 剰 余 金	129,114,921

剩 余 金	41億4千370万7千597円
	(7.242%)

6. 貸借対照表、損益計算書の比較と分析

(1) 比較貸借対照表

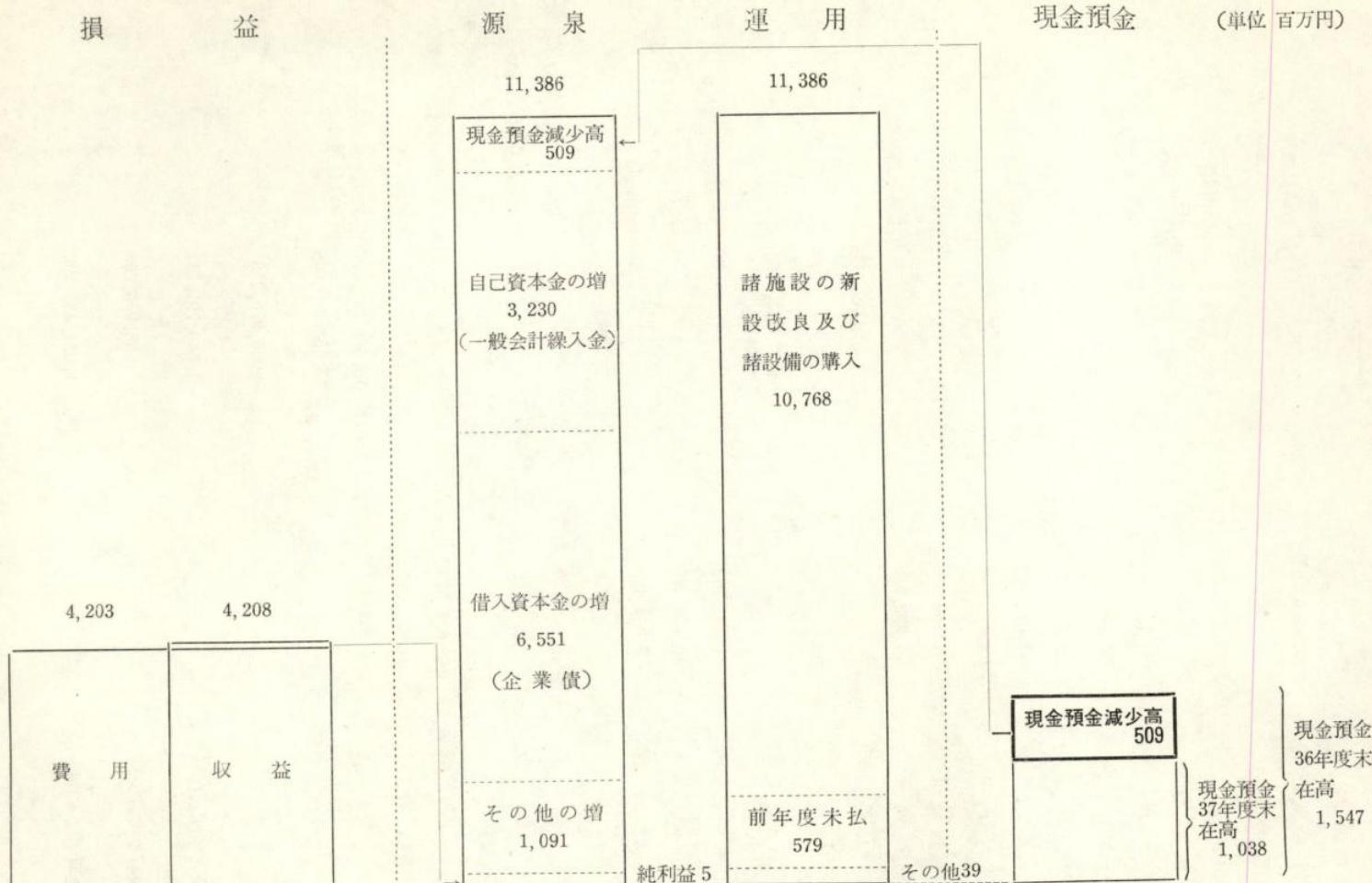
区分	年 度	3 7	3 6	差 引
		円	円	円
有形固定資産		54,097,101,858	43,375,909,886	10,721,191,972
無形固定資産		68,935,180	22,515,610	46,419,570
投資資産		12,856,400	9,650,000	3,206,400
固定資産計		54,178,893,438	43,408,075,496	10,770,817,942
現金及預金		1,037,835,493	1,546,791,751	△ 508,956,252
未収金		1,868,215,170	1,861,786,934	6,428,236
貯蔵品		100,950,922	143,247,244	△ 42,296,322
仮払金		32,886,100	4,617,220	28,268,880
流動資産計		3,039,887,685	3,556,443,149	△ 516,555,464
資産合計		57,218,781,123	46,964,518,645	10,254,262,478
引当金		56,895,244	49,381,605	7,513,639
固定負債計		56,895,244	49,381,605	7,513,639
未払金		2,127,974,916	2,671,830,489	△ 543,855,573
未払費用		25,482,903	60,306,129	△ 34,823,226
前受金		1,170,862	2,534,816	△ 1,363,954
預り金		26,807,631	15,161,576	11,646,055
流動負債計		2,181,436,312	2,749,833,010	△ 568,396,698
負債計		2,238,331,556	2,799,214,615	△ 560,883,059
自己資本金		29,266,247,570	26,035,849,900	3,230,397,670
借入資本金		21,570,494,400	15,019,421,400	6,551,073,000
資本金計		50,836,741,970	41,055,271,300	9,781,470,670
資本剰余金		4,014,592,676	3,060,136,094	954,456,582
利益剰余金		129,114,921	49,896,636	79,218,285
剰余金計		4,143,707,597	3,110,032,730	1,033,674,867
資本合計		54,980,449,567	44,165,304,030	10,815,145,537
負債資本合計		57,218,781,123	46,964,518,645	10,254,262,478

(2) 損益収支結合表

取 益	円	円	円
流動資産の減少		4,208,036,662	
貯 藏 品	42,296,322		貯蔵品の庫出
固定負債の増加			
引 当 金	7,513,639		職員納付金
流動負債の増加			
預 り 金	11,646,055		源泉徴収所得税等の収入
資 本 の 増 加			
自己資本金	3,230,397,670		一般会計繰入金等の組入れ
借 入 資 本 金	6,551,073,000		企業債借入の増
剩 余 金 の 増 加			
資 本 剩 余 金	954,456,582		国庫よりの補助金受贈財産寄付
利 益 剩 余 金	73,932,818		土地売却差益
収 入 合 計		15,079,352,748	
費 用		4,202,751,195	
固 定 資 産 の 増 加			
有形固定資産	10,721,191,972		下水諸施設の新設改良及び諸設備の購入
無形固定資産	46,419,570		受電設備等の新設
投 資 資 産	3,206,400		電信電話債券購入
流動資産の増加			
未 収 金	6,428,236		一般会計繰入金等の未収分
仮 払 金	28,268,800		前渡金概算金の支払い
流動負債の減少			
未 払 金	543,855,573		建設改良工事費等の支払い
未 払 費 用	34,823,226		人件費の支払い
前 受 金	1,363,954	11,385,557,811	管渠改造工事分担金の概算前受額の清算及び還付
支 出 合 計		15,588,309,006	
		15,588,309,006	
収 支 差 引		508,956,258	
現金預金36年度末在高		1,546,791,751	
現金預金37年度減少高		508,956,258	
現金預金37年度末在高		1,037,835,493	

資 金 移 動 図 表

28



(3) 損益計算書、貸借対照表百分比

損 益 計 算 書

区 分		金 額	比 率	区 分		金 額	比 率
營 業 費 用		3,043,030,402	72.3	營 業 収 益		2,987,718,906	71.0
營 業 外 費 用		1,159,720,793	27.6	營 業 外 収 益		1,220,317,756	29.0
計		4,202,751,195	99.9				
當 期 純 利 益		5,285,467	0.1				
借 方 合 計		4,208,036,662	100.00	貸 方 合 計		4,208,036,662	100.0
備 考	減 値 償 却 費 支 払 利 息 受 託 事 業 費	674,357,145 1,147,263,738 202,524,435	16.0 27.3 4.8	備 考	下 水 道 料 金 受 託 事 業 収 益 補 給 金 及 び 繰 入 金	1,859,189,181 202,524,435 1,774,694,238	44.2 4.8 42.2

貸 借 対 照 表

区 分		金 額	比 率	区 分		金 額	比 率
有 形 固 定 資 產		54,097,101,858	94.544	未 払 金		2,127,974,916	3.719
無 形 固 定 資 產		68,935,180	0.120	未 払 費 用		25,482,903	0.045
投 資 資 產		12,856,400	0.023	前 受 金		1,170,862	0.002
現 金 及 預 金		1,037,835,493	1.814	預 り 金		26,807,631	0.047
未 収 金		1,868,215,170	3.265	引 当 金		56,895,244	0.099
貯 藏 品		100,950,922	0.176	自 己 資 本 金		29,266,247,570	51.148
仮 払 金		32,886,100	0.058	借 入 資 本 金		21,570,494,400	37.698
資 產 合 計		57,218,781,123	100.000	資 本 剰 余 金		4,014,592,676	7.016
				利 益 剰 余 金		129,114,921	0.226
				負 債 資 本 合 計		57,218,781,123	100.000

(4) 昭和33~37年度比較貸借対照表

区分	年 度	33年度末	34年度末	35年度末	36年度末	37年度末
		千円	千円	千円	千円	千円
資 产						
固 定 资 产		21,473,785	25,686,798	32,732,911	43,408,075	54,178,893
流 动 资 产		1,604,780	2,531,855	3,802,952	3,556,443	3,039,888
現 金 及 預 金		794,160	1,461,585	2,032,909	1,546,792	1,037,836
未 取 金		740,289	1,001,164	1,657,025	1,861,787	1,868,215
貯 藏 品		55,441	67,648	108,721	143,247	100,951
その他流动資産		14,890	1,458	4,297	4,617	32,886
資 产 合 计		23,078,565	28,218,653	36,535,864	46,964,519	57,218,781
負 債						
固 定 负 債		24,132	30,454	38,740	49,382	56,895
流 动 负 債		812,197	1,398,693	2,520,279	2,749,833	2,181,436
未 払 金		807,696	1,394,640	2,452,350	2,671,830	2,127,975
その他流动負債		4,501	4,053	67,929	78,003	53,461
負 債 合 计		836,329	1,429,147	2,559,019	2,799,215	2,238,331
資 本						
資 本 金		17,438,972	19,676,962	32,321,715	41,055,271	50,836,742
自 己 資 本 金		14,099,560	14,226,466	22,765,139	26,035,850	29,266,248
借 入 資 本 金		3,339,412	5,450,496	9,556,575	15,019,421	21,570,494
剩 余 金		4,803,264	7,112,544	1,655,129	3,110,033	4,143,708
資 本 剩 余 金		4,800,537	7,095,880	1,629,184	3,060,136	4,014,593
利 益 剩 余 金		2,727	16,664	25,944	49,897	129,115
欠 損 金		0	0	0	0	0
資 本 合 计		22,242,236	26,789,506	33,976,844	44,165,304	54,980,450
資本、負債合計		23,078,565	28,218,653	36,535,864	46,964,519	57,218,781

(5) 損益計算書、貸借対照表の分析比率

イ 資産、資本の構成比率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位 千円)
固定資産構成比率	固定資産 総資産	$\frac{54,178,893}{57,218,781} \times 100 = 94.7\%$
固定負債構成比率	固定負債 総資本	$\frac{21,627,390}{57,218,781} \times 100 = 37.8\%$
自己資本構成比率	自己資本 総資本	$\frac{33,409,955}{57,218,781} \times 100 = 58.4\%$
固定比率	固定資産 自己資本	$\frac{54,178,893}{33,409,955} \times 100 = 162.2\%$
長期資本対固定資産比率	自己資本+固定負債 固定資産	$\frac{55,037,345}{54,178,893} \times 100 = 101.6\%$
流動比率	流動資産 流動負債	$\frac{3,039,888}{2,181,436} \times 100 = 139.4\%$
酸性試験比率	現金預金+未収金 流動負債	$\frac{1,037,835 + 1,868,215}{2,181,436} \times 100 = 133.2\%$
現金比率	現金預金 流動負債	$\frac{1,037,835}{2,181,436} \times 100 = 47.6\%$

ロ 資産、資本の回転率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位 千円)
総資本回転率	営業収益 総資本平均在高	$\frac{2,987,719}{52,091,650} = 0.06$
自己資本回転率	総費用 自己資本平均在高	$\frac{4,202,751}{31,277,919} = 0.13$
固定資産対営業収益回転率	営業収益 固定資産平均在高	$\frac{2,987,719}{48,793,484} = 0.06$

減 値 債 却 率	$\frac{\text{当 期 債 却 費}}{\text{減 値 債 却 資 產}}$	$\frac{674,357}{37,421,266} = 0.02$
流 動 資 產 回 転 率	$\frac{\text{營 業 収 益}}{\text{流 動 資 產 平 均 在 高}}$	$\frac{2,987,719}{3,298,165} = 0.91$
現 金 預 金 回 転 率	$\frac{\text{當 期 支 出 額}}{\text{現 金 預 金 平 均 在 高}}$	$\frac{15,947,065}{1,292,314} = 12.34$
貯 藏 品 回 転 率	$\frac{\text{払 出 高}}{\text{貯 藏 品 平 均 在 高}}$	$\frac{1,217,703}{122,099} = 9.97$
未 収 金 回 転 率	$\frac{\text{營 業 収 益}}{\text{營 業 未 収 金 平 均 在 高}}$	$\frac{2,987,719}{303,396} = 9.85$

八 損益に関する各種比率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位 千円)
総 資 本 利 益 率	$\frac{\text{當 期 純 利 益}}{\text{總 資 本 平 均 在 高}}$	$\frac{5,285}{52,091,650} = 0.00$
營業収益対營業費用比率	$\frac{\text{營 業 収 益}}{\text{營 業 費 用}}$	$\frac{2,987,719}{3,043,030} \times 100 = 98.2 (\%)$
總収益対總費用比率	$\frac{\text{總 収 益}}{\text{總 費 用}}$	$\frac{4,208,037}{4,202,751} \times 100 = 100.1 (\%)$
利 子 負 担 率	$\frac{\text{支 払 利 息}}{\text{總 負 債 平 均 在 高}}$	$\frac{1,147,264}{20,813,730} \times 100 = 5.5 (\%)$
企 業 債 債 還 額 対 減 値 債 債 却 額 比 率	$\frac{\text{企 業 債 債 還 額}}{\text{當 期 債 却 費}}$	$\frac{448,927}{674,357} \times 100 = 66.6 (\%)$
職 員 1 人 当 営 業 収 益	$\frac{\text{營 業 収 益}}{\text{損 益 勘 定 所 屬 職 員 數}}$	$\frac{2,987,719}{1,431} = 2,087.85 (\text{円})$
職 員 1 人 当 有 形 固 定 資 產	$\frac{\text{有 形 固 定 資 產}}{\text{全 職 員 數}}$	$\frac{54,097,102}{2,227} = 24,291.47 (\text{円})$

(注) 本表における用語の説明

1. 負 債 固定負債+流動負債
2. 固定負債 固定負債+借入資本金
3. 自己資本 自己資本金+利益剰余金+資本剰余金
4. 平均在高 (期首在高+期末在高) ÷ 2

7. 企 業 債 お よ び 一 時 借 入 金

(1) 企 業 債

種 別	発 行 年 月 日	発 行 額		債 還 高		未 債 還 残 高	借 入 先	發 行 價 格	利 率	債 還 終 期	
		内 訳	昭和37年度分 昭和37年度末	内 訳	昭和37年度分 昭和37年度末						
下水道拡張	昭和24年4月25日	円	7,000,000,000	円	443,765,974	円	資金運用部 簡易保険局 公募	99.00円 5,250,000,000 99.50円 300,000,000 99.75円 4,450,000,000 100.00円 12,294,000,000	円 6分3厘 6分5厘 7分3厘 7分5厘 8分0厘	6分3厘 6分5厘 7分3厘 7分5厘 8分0厘	昭和62年2月
	昭和38年3月23日	円	22,294,000,000	円	736,672,974		21,557,327,026				
管渠移設復旧	昭和21年5月20日 昭和26年3月15日	円	0 17,140,000	円	1,548,026 11,868,026	円	5,271,974	資金運用部	100.00円	3分2厘 6分3厘	昭和51年2月
水害下水道復旧	昭和23年4月30日 昭和25年3月25日	円	0 32,700,000	円	3,490,000 25,140,000	円	7,560,000	資金運用部	100.00円	6分3厘	昭和42年3月
都市計画事業 改良下水道完成	昭和14年5月31日	円	0 868,100	円	81,500 868,100	円	0	簡易保険局	100.00円	4分2厘	昭和37年5月
郊外下水道 改良費	昭和17年5月20日	円	0 736,400	円	41,500 401,000	円	335,400	簡易保険局	100.00円	4分2厘	昭和45年11月
計		円	7,000,000,000 22,345,444,500	円	448,927,000 774,950,100	円	21,570,494,400				

(注) 当年度発行額のうち、未収資金運用部債4億5,000万円を含んでいる。

(2) 支 払 利 息

年 度	種 別	企 業 債 利 息		企 業 債 取 扱 費		計		備 考	
		企 業 債 利 息	企 業 債 取 扱 費	企 業 債 利 息	企 業 債 取 扱 費	企 業 債 利 息	企 業 債 取 扱 費	企 業 債 利 息	企 業 債 取 扱 費
37 年 度		円 1,092,453,530	円 54,810,208	円 1,147,263,738	円				

(3) 一 時 借 入 金

な し

第 2 節 固 定 資

有 形 固 定 資

資産の種類	年 度 当 初		現 在 高	当 年 度 増 加 高	
		㎡	円	㎡	円
土 地	1,112,680.926		2,840,912,934	41,054.80	1,108,752,860
事務所用地	2,329.28		50,288,360	0	0
施設用地	1,104,995.326		2,782,740,178	37,866.60	1,044,024,174
その他用地	5,356.32		7,884,396	3,188.20	64,728,686
立 木	—		5,149,136	—	1,981,917
建 物	68,020.36		2,993,260,292	4,884.972	168,802,519
事務所用建物	9,401.679		218,509,938	253.611	5,545,591
施設用建物	44,304.919		2,655,901,211	987.231	78,706,803
公舎合宿用建物	6,249.15		58,787,833	1,533.36	53,169,495
倉庫車庫用建物	5,064.792		36,969,263	1,902.24	26,655,163
工場用建物	1,095.14		12,599,645	0	0
その他建物	1,904.68		10,492,402	208.53	4,725,467
構築物	—		28,852,209,727	—	3,806,506,641
排水設備	—		22,351,370,503	—	2,812,211,553
処理設備	—		6,034,340,758	—	971,053,048
諸設備	—		466,498,466	—	23,242,040
機械及装置	—		5,262,933,015	—	714,073,026
電気設備	—		1,805,316,524	—	302,709,244
ポンプ設備	—		1,179,301,613	—	100,713,582
処理機械設備	—		1,984,050,178	—	279,955,700
その他機械装置	—		294,264,700	—	30,694,500
車両運搬具	—		91,275,099	—	26,476,400
器具備品	—		97,043,100	—	11,539,650
建設仮勘定	—		6,498,680,704	—	8,964,812,989
計	—		46,641,464,007	—	14,802,946,002

產明細書

產明細書

昭和37年度

当 年 度 減 少 高	年 度 末 現 在 高	減 値 償 却 引 当 金	減 値 償 却 未 濟 高
3,949.946 ^{m²}	10,053,346 円	1,149,785.78 ^{m²}	3,939,612,448 円
0	0	2,329,28	50,288,360
3,519.336	9,738,129	1,139,342.59	3,817,026,223
430.61	315,217	8,113.91	72,297,865
—	0	—	7,131,053
1,402.222	433,173,575	71,503.11	2,728,889,236
368.77	2,156,387	9,286,52	221,899,142
547.30	430,380,638	44,744,85	2,304,227,376
41.25	85,000	7,741.26	111,872,328
321.152	342,700	6,645.88	63,281,726
0	0	1,095.14	12,599,645
123.75	208,850	1,989.46	15,009,019
—	460,090,879	—	32,198,625,489
—	100,621,769	—	25,062,960,287
—	357,673,341	—	6,647,720,465
—	1,795,769	—	487,944,737
—	532,397,376	—	5,444,608,665
—	153,861,654	—	1,954,164,114
—	320,178,482	—	959,836,713
—	36,748,179	—	2,227,257,699
—	21,609,061	—	303,350,139
—	3,737,500	—	114,013,999
—	6,272,900	—	102,309,850
—	1,991,109,003	—	13,472,384,690
3,436,834,579		58,007,575,430	3,910,473,572
			54,097,101,858

無形固定産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加高	当年度減少高	年度末現在高
電気ガス供給施設利用権	円 17,765,015	円 51,463,448	円 1,543,439	円 67,685,024
借地権	円 4,750,595	円 0	円 3,500,439	円 1,250,156
計	円 22,515,610	円 51,463,448	円 5,043,878	円 68,935,180

投資資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加高	当年度減少高	年度末現在高
長期共済組合貸付金	円 4,000,000	円 0	円 0	円 4,000,000
投資有価証券	電信電話債券	円 5,650,000	円 3,206,400	円 0
計		円 9,650,000	円 3,206,400	円 12,856,400

減価償却費

(有形固定資産)

償却資産の種類	償却対象額	減価償却費
建物	円 1,653,228,879	円 33,548,481
構築物	円 23,619,547,804	円 477,635,924
機械及び装置	円 2,936,963,249	円 139,264,048
車両運搬具	円 78,289,109	円 14,592,688
器具備品	円 75,264,839	円 6,522,408
計	円 28,413,293,880	円 671,563,549

(無形固定資産)

無形固定資産の種類	償却対象額	減価償却費
電気ガス供給施設利用権	円 23,385,444	円 1,543,439
借地権	円 6,250,784	円 1,250,157
計	円 29,636,228	円 2,793,596

第3章 下水道計画

第1節 東京都市計画下水道

この計画は本都の戦後の復興計画に対応して、従来施行中の旧東京市下水道のほか郊外下水道及び旧12町村下水道を統合し区部のうち新荒川以西（練馬区の大部、板橋区の一部を除く）約36,155ヘクタールの地域に対する下水道計画を策定し、昭和25年7月都市計画下水道が決定されていたものである。

しかし、最近における本都の著しい発展に伴い、人口の激増、使用水量の増大、都市計画用途地域の変更、極度の地盤沈下、或は集中豪雨の発生等により、施設の追加変更が必要となつてきただので変更計画を策定し、昭和37年3月31日、建設省告示第1,092号をもつて決定された。

その変更理由の主なものは次の通りである。

- (1) 排水区域は新荒川以西の地域（練馬区の大部、板橋区の一部を除く）で総面積37,314ヘクタールの区域であり、今回は埋立等の理由により砂町処理場付近及び板橋区舟渡3丁目並びに練馬区仲町1丁目、板橋区上板橋町7丁目付近の一部を新たに追加した。又、芝浦系統のうち神田川（上流は江戸川）左岸の地域は三河島系統に流域変更する。なお、隣接する武藏野市及び三鷹市のうち地形上本区域に流入する約1,185ヘクタールの地域の下水は森ヶ崎処理場にて処理する。
- (2) 計画人口は東京都長期計画に基づく適正収容人口（常住人口）950万人（昭和45年には980万人）とし、1人1日当りの汚水量はこれを行政区毎に定め、雨水量は計画全地域において1時間最大降雨量を50耗としてこれを定める。
- (3) 東京都市計画審議会河川下水道調査特別委員会が決定した、「準用河川を下水道幹線とする」答申により、呑川外10河川の全部又は一部を下水道幹線として利用する。
- (4) 諸産業の発展に伴う工業用地下水の過剰汲み上げによる地盤沈下は著しく、今後の趨勢等を勘案し、これに対応する各施設の増設をはかることとする。なお、本計画では管渠7,608,900メートル、ポンプ所42カ所、処理場6カ所となつており、計画内容は後記（3の第1）のとおりである。

第2節 東京都市計画下水道事業

この計画は昭和25年7月決定の都市計画下水道のうち急施を要する施設を緊急に施行する予定で、昭和28年都市計画事業として決定されたものである。

これは都心部及びその周辺、約19,326ヘクタールの地域について管渠約400,000メートル、ポンプ所7カ所、下水処理場6カ所を事業費90億円をもつて5カ年間に執行する計画であつたが、事業が資金難、用地難その他により予定通り進捗せず、更に準用河川と下水幹線の重複を調整する必要が生じた等の理由により再三にわたり年度割を延長してきたのであるが、最近における本都の発展に対応するため前記都市

計画下水道の計画変更の際事業内容を大幅に拡大、昭和45年までに都市計画下水道全域37,314ヘクタールについて下水道を完成するよう事業計画を変更し、昭和37年3月31日建設省告示1,092号をもつて決定した。

この事業計画では管渠5,473,145メートル、ポンプ所39カ所、処理場6カ所（処理能力410万立方メートル）の施設を総事業費約2,177億円（一部執行済）をもつて施行するもので施設の大要は後記（3の第2）のとおりである。

第3節 東京都市計画下水道並びに同下水道事業 及びその執行年度割の概要

第1 東京都市計画下水道を次のように変更する。

（1）排水区域及び面積

排水区域名	面積 (ヘクタール)	区 域
芝浦	約 6,328	港区の全部及び千代田、中央、新宿、渋谷、各区の大部、並びに文京、品川、目黒、世田谷、豊島、各区の一部
三河島	タ 3,936	台東、荒川、両区の全部、及び文京、豊島、両区の大部、並びに千代田、新宿、北、各区の一部
砂町	タ 3,977	墨田区の全部、及び江東区の大部、並びに中央、足立、江戸川、各区の一部
小台	タ 4,552	北、板橋、両区の大部、及び新宿、豊島、練馬、足立、各区の一部
落合	タ 6,151	中野、杉並、両区の大部、及び新宿、世田谷、渋谷、豊島、練馬、各区の一部
森ヶ崎	タ 12,370	大田区の全部、及び世田谷、品川、目黒、各区の大部並びに渋谷、杉並、両区の一部
計	タ 37,314	千代田、中央、港、新宿、文京、台東、墨田、品川、目黒、大田、世田谷、渋谷、中野、杉並、豊島、北、荒川、各区の全部、及び江東、板橋、両区の大部並びに練馬、足立、江戸川、各区の一部

(2) 下水管渠

排水区域名	名称	管径又は断面 (センチメートル)	延長 (メートル)	摘要
芝浦	千駄ヶ谷幹線ほか25幹線	断面 内径45~ 断面 巾750×高360	82,952	
	枝 線		1,270,172	
	計		1,353,124	
三河島	尾久幹線ほか14幹線	断面 内径80~ 断面 巾400×高250並列	62,990	
	枝 線		928,016	
	計		991,006	
砂町	小松川幹線ほか5幹線	管径 内径45~ 断面 巾600×高480	24,346	
	枝 線		831,382	
	計		855,728	
小台	浮間幹線ほか6幹線	断面 内径35~ 断面 巾1,400×高600	30,607	
	枝 線		876,682	
	計		907,289	
落合	中新井幹線ほか7幹線	断面 内径60~ 断面 巾800×高350	47,656	
	枝 線		1,266,435	
	計		1,314,091	
森崎	鳥山幹線ほか16幹線	断面 内径45~ 断面 巾2,000×高490	110,991	
	枝 線		2,076,671	
	計		2,187,662	
合 計			7,608,900	

(3) 吐 口

排水区域名	位 置	管 径 又 は 断 面 (センチメートル)	摘 要
芝 浦	港区新門前町地内	断 面 1,500×500	渋谷川幹線雨水吐口
	他 250 カ所	省 略	
三 河 島	文京区関口水道町地内	断 面 120×108	雑司ヶ谷幹線雨水吐口
	他 48 カ所	省 略	
砂 町	墨田区吾嬬町1丁目地内	断 面 400×400	業平橋ポンプ所吐口
	他 13 カ所	省 略	
小 台	板橋区長後1丁目地内	断 面 480×288	志村幹線雨水吐口
	他 89 カ所	省 略	
落 合	中野区江古田1丁目地内	断 面 480×288	中新井幹線雨水吐口
	他 224 カ所	省 略	
森 ケ 崎	目黒区下目黒2丁目地内	断 面 2,800×500	目黒川幹線雨水吐口
	他 93 カ所	省 略	

(4) ポンプ所

、主要設備省略

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
芝 浦	錢瓶町	千代田区大手町2丁目地内	0.60	箱崎町	中央区日本橋箱崎町4丁目地内	0.01
	浜 町	中央区日本橋浜町2丁目 浜町公園内	0.06	桜 橋	中央区西八丁堀4丁目及び 新富町1丁目地内	0.20
	中 州	中央区日本橋中州地内	0.02	汐 留	中央区銀座東8丁目、 築地5丁目地内	0.20
三 河 島	湯 島	文京区湯島切通町地内	0.17	汐 入	荒川区南千住町10丁目地内	0.09
	和 泉 町	千代田区神田和泉町地内	0.05	南 千 住	荒川区南千住町8丁目地内	0.16
	日 本 堤	台東区浅草日本堤2丁目 地内	0.32	藍 染	荒川区荒川8丁目 三河島処理場構内	—
	山 谷	台東区浅草橋場3丁目地内	0.06	町 屋	荒川区三河島町9丁目地内	0.39
	橋 場	荒川区南千住町3丁目地内	0.06	尾 久	荒川区尾久町9丁目地内	0.56

排水区域名	名称	位置	地積(ヘクタール)	名称	位置	地積(ヘクタール)
砂町	業平橋	墨田区吾嬬橋3丁目地内	0.44	越中島	江東区深川越中島町地内	0.08
	三ノ橋	墨田区堅川4丁目地内	0.47	東雲	江東区深川8号埋立地々内	0.30
	佃島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.50	木場	江東区深川豊住町3丁目地内	0.89
	月島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.05	千住西	足立区千住桜木町地内	0.40
	千住	足立区千住曙町地内	0.60	小松川	江戸川区平井1丁目地内	0.47
	隅田	墨田区隅田町1丁目地内	0.62	大島	江東区大島町6丁目地内	0.89
	吾嬬	墨田区吾嬬町東5丁目地内	0.62	砂町	江東区南砂町5丁目地内	0.88
小台	志村	板橋区小豆沢4丁目地内	0.81	王子	北区豊島2丁目地内	0.47
	志茂	北区志茂1丁目地内	0.70	宮城	足立区宮城町 小台処理場構内	—
	鹿浜	足立区南堀之内町地内	0.70			
森ヶ崎	鮫州	品川区大井鮫州町地内	0.54	高畠	大田区西六郷3丁目地内	0.06
	浜川	品川区大井北浜川町地内	0.16	六郷	大田区南六郷1丁目及び 2丁目地内	0.71
	平和島	大田区平和島地内	0.55	羽田	大田区羽田旭町地内	0.88
	矢口	大田区古市町地内	0.50			

(5) 処理場

排水区域名	名称	位置	地積(ヘクタール)	摘要	要
芝浦	芝浦	港区芝高浜町及び芝海岸通5丁目地内	18.18		主要施設等省略
三河島	三河島	荒川区荒川8丁目地内	18.49		〃
砂町	砂町	江東区南砂町9丁目地内	49.14		〃
小台	小台	足立区宮城町地内	9.47		〃
落合	落合	新宿区上落合1丁目地内	7.06		〃
森ヶ崎	森ヶ崎	大田区森ヶ崎町及び京浜三区埋立地内	36.36		〃

第2 昭和28年10月12日建設省告示、第1,358号東京都市計画下水道事業を次のように変更する。

(1) 排水区域及び面積

東京都市計画下水道に同じ

(2) 下水管渠

排水区域名	名称	管径又は断面 (センチメートル)	延長 (メートル)	摘要
芝	千駄ヶ谷幹線ほか13幹線	断面 内径45~ 断面 巾750×高360	31,501	
	枝 線		578,878	
浦	計		610,379	
三 河	尾久幹線ほか13幹線	断面 内径25~ 断面 440×264	28,535	
	枝 線		48,542	
島	計		77,077	
砂	小松川幹線ほか5幹線	断面 内径45~ 断面 巾600×高480	19,211	
	枝 線		505,009	
町	計		524,220	
小 台	浮間幹線ほか6幹線	断面 内径35~ 断面 巾1,400×高600	29,878	
	枝 線		762,658	
落	中新井幹線ほか7幹線	断面 内径40~ 断面 巾800×高350	47,656	
	枝 線		1,247,986	
合	計		1,295,642	
森 ヶ 崎	鳥山幹線ほか16幹線	断面 内径45~ 断面 巾1,400×高450	103,161	
	枝 線		2,070,130	
合	計		2,173,291	
	合 計		5,473,145	

(3) 吐 口

排水区域名	位 置	管 径 又は断面 (センチメートル)	摘 要
芝 浦	中央区日本橋浜町2丁目地内	管 径 165	浜町ポンプ所吐口
	他 42 カ所	省 略	
三 河 島	文京区春日町1丁目地内	断 面 330×330	白山幹線雨水吐口
	他 7 カ所	省 略	
砂 町	中野区新佃島東町1丁目地内	断 面 270×162	佃島ポンプ所吐口
	他 9 カ所	省 略	
小 台	板橋区長後1丁目地内	断 面 480×288	志村幹線雨水吐口
	他 73 カ所	省 略	
落 合	中野区江古田1丁目地内	断 面 480×288	中新井幹線雨水吐口
	他 217 カ所	省 略	
森 ケ 崎	大田区新井宿7丁目地内	断 面 480×336	馬込西幹線雨水吐口
	他 89 カ所	省 略	

(4) ポンプ所

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
芝 浦	銭瓶町	千代田区大手町2丁目地内	0.60	桜 橋	中央区西八丁堀4丁目及び 新富町1丁目地内	0.20
	浜 町	中央区日本橋浜町2丁目 浜町公園内	0.06	汐 留	中央区銀座東8丁目及び 築地5丁目地内	0.20
	中 州	中央区日本橋中州地内	0.02			
	箱崎町	中央区日本橋箱崎町 4丁目地内	0.01			
三 河 島	湯 島	文京区湯島切通町地内	0.17	汐 入	荒川区南千住町10丁目地内	0.09
	日本堤	台東区浅草日本堤 2丁目地内	0.32	藍 染	荒川区荒川8丁目 三河島処理場構内	—
	山 谷	台東区浅草橋場3丁目地内	0.06	町 屋	荒川区三河島町9丁目地内	0.39
	橋 場	荒川区南千住町3丁目地内	0.06	尾 久	荒川区尾久町9丁目地内	0.56

排水区域名	名称	位置	地積 (ヘクタール)	名称	位置	地積 (ヘクタール)
砂	業平橋	墨田区吾嬬橋3丁目地内	0.44	千住西	足立区千住桜木町地内	0.40
	三ノ橋	墨田区豊川4丁目地内	0.47	千住	足立区千住曙町地内	0.60
町	佃島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.50	隅田	墨田区隅田町1丁目地内	0.62
	月島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.05	吾嬬	墨田区吾嬬町東5丁目地内	0.62
木場	越中島	江東区深川越中島町地内	0.08	小松川	江戸川区平井1丁目地内	0.47
	東雲	江東区深川8号埋立地地内	0.30	大島	江東区大島6丁目地内	0.89
	木場	江東区深川豊住町3丁目地内	0.89	砂町	江東区南砂町5丁目地内	0.88
小台	志村	板橋区小豆沢4丁目地内	0.81	鹿浜	足立区南堀之内町地内	0.70
	志茂	北区志茂1丁目地内	0.70	宮城	足立区宮城町 小台処理場構内	—
森ヶ崎	王子	北区豊島2丁目地内	0.47			
森ヶ崎	鮫州	品川区大井鮫州町地内	0.54	高畠	大田区西六郷3丁目地内	0.06
	浜川	品川区大井北浜川町地内	0.16	六郷	大田区南六郷1丁目及び 2丁目地内	0.71
	平和島	大田区平和島地内	0.55	羽田	大田区羽田旭町地内	0.88
	矢口	大田区古市町地内	0.50			

(5) 処理場

排水区域名	名称	位置	地積 (ヘクタール)	摘要
芝浦	芝浦	港区芝高浜町及び芝海岸通5丁目地内	18.18	主要施設等省略
三河島	三河島	荒川区荒川8丁目地内	18.49	〃
砂町	砂町	江東区南砂町9丁目地内	49.14	〃
小台	小台	足立区宮城町地内	9.47	〃
落合	落合	新宿区上落合1丁目地内	7.06	〃
森ヶ崎	森ヶ崎	大田区森ヶ崎町及び京浜三区埋立地地内	36.36	〃

第3. 昭和36年3月29日建設省告示第815号都市計画下水道事業の執行年度割を次のように変更する。

自 至	昭和28年度 昭和36年度	約1割4分
	昭和37年度	約 5分
	昭和38年度	約1割2分
	昭和39年度	約1割2分
	昭和40年度	約1割2分
	昭和41年度	約1割2分
	昭和42年度	約1割1分
	昭和43年度	約 9分
	昭和44年度	約 7分
	昭和45年度	約 6分

第4. 都市計画排水路施設中蒲田排水路及び隅田排水路を廃止する。

事業費改訂経過

年 次	年 度	第1回(昭和33年3月 変更告示第983号)		第2回(昭和35年3月 変更告示第805号)		第3回(昭和36年3月 変更告示第815号)		第4回(昭和37年3月 変更告示第1,092号)	
		事業費	歩合	事業費	歩合	事業費	歩合	事業費	歩合
1	28	490,760	5.5	490,760	2.5	490,760	1.7	490,760	0.2
2	29	434,046	4.8	434,046	2.2	434,046	1.5	434,046	0.2
3	30	744,073	8.3	744,073	3.7	744,073	2.5	744,073	0.3
4	31	1,047,411	11.6	1,047,411	5.3	1,047,411	3.6	1,047,411	0.5
5	32	2,226,000	24.7	2,032,984	10.2	2,032,984	6.9	2,032,984	0.9
6	33	3,000,000	33.3	2,909,780	14.6	2,909,780	9.9	2,909,780	1.3
7	34	1,057,710	11.8	4,476,950	22.5	4,171,154	14.2	4,171,154	1.9
8	35			7,774,050	39.0	8,010,000	27.3	7,181,363	3.3
9	36					9,500,000	32.4	10,578,011	4.9
10	37							12,000,000	5.5
11	38							25,000,000	11.5
12	39							27,000,000	12.4
13	40							26,000,000	12.0
14	41							26,000,000	12.0
15	42							24,000,000	11.0
16	43							20,000,000	9.2
17	44							16,000,000	7.3
18	45							12,126,708	5.6
計		9,000,000	100.0	19,910,054	100.0	29,340,208	100.0	217,716,290	100.0

(注) なお、本計画は、東京都区部面積約70%に相当するが、残りの地域に対しても、昭和48年度までに完成すべく計画が進められ、引き続き都市計画決定を得るべく準備が進められている。

第4章 下水道事業経過

第1節 下水道事業認可関係

明治37年2月東京市区改正委員会は中島銳治博士を臨時委員に推し、東京市下水道設計調査を委嘱した。博士は鋭意調査に努めた結果40年3月その成果を得、右報告書を委員会に提出した。同委員会はこれを設計、財源及び衛生の3部門に分ち審査した上、41年3月内閣の認可を得、ここに初めて本市改良下水道事業の確立を見るに至つたのである。かくして翌42年市会は工事費半額国庫補助説議方意見書を内務大臣に提出し44年5月に至り内務、大蔵大臣より第1期事業(工費6,130,000円・自44年 至48年5カ年継続)の認可を得、直ちに下水改良事務所を設置して事務を開始することとなつた。然しその後、降雨量、交通量その他諸般の状勢の変遷から原設計一部変更の要を生じたので、新たに下水道工事顧問会を置き総工費を6,300,000円、継続年限を大正7年度まで延長する計画を樹て、大正2年11月内務、大蔵両大臣の認可を得、第1期下水道改良工事に着手するに至つた。その後約50年間、いくたの工事が行なわれたが、戦後は昭和25年に都区部の大部にわたる東京都市計画下水道を立て、これを基本として事業を執行していたが、昭和37年3月、荒川以東と練馬大部を除く区部約70%について都市計画決定を得(昭和37年12月、都心部再開発計画により一部変更)、これにより鋭意工事中である。

第1期下水道改良工事以来の事業の認可関係その他を表示すればつきのとおりである。

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可 事業費	施行 年度	地域	備考
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号				
第1期下水道改良工事	—	(市区改正 認可) 明41. 3. 26	内閣批 第32号	(市区改正 認可) 明44. 3. 29 大2. 11. 同9. 3. 31 同13. 3. 29	丙 第318号 — 内務省告示 第162号	15,000,000	自明44 至大12	第2区の 大部		
下水渠一部造成工事	—	—同	同	(市区改正 認可) 大3. 5.	—	2,520,000	自大5 至同9	大1区の 一部		
第2期下水道改良工事	—	—同	同	大9. 12. 8	—	20,000,000	自大9 至同12	第1区の 一部		
帝都復興下水道改良工事	—	大 —13. 12. 29	内務省告示 第795号	大13. 4. 1 同13. 10. 27 同13. 12. 29 昭4. 3. 29 同5. 3. 29 同6. 3. 31	内務省告示 第172号 第677号 第796号 第63号 第71号	40,211,321	自大12 至昭6	震災焼失 下町一帯		
継続都市計画速成工事	昭5. 9. 13	内務省東衛 第1,402号	同	大14. 8. 11 昭3. 9. 20 同5. 8. 13 同9. 4. 20	内務省告示 第140号 第153号 第159号 第217号	5,740,695	自大14 至昭9	神田、日 本橋、京 深川各區 を除く市 内各方面	千川改修 のみ築造 認可を受 く	
管渠移転工事	—	—	—	—	—	2,454,911	自大14 至昭9	第2区の 大部		

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可 事業費	施行 年度	地域	備考
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号				
下水道応急 整理工事	—	—	—	—	—	—	—	1,600,000	自昭15 至昭4	区画整理 に伴う既 設下水管 の整理
失業救済工事 昭和2年度	昭 4. 3.27	大 内務省東衛 第134号	13. 12. 26	内務省告示 第795号	—	—	355,108	昭 2		
失業救済工事 昭和3年度	4. 11.15	同	同	同	昭 5. 1.30	内務省告示 第20号	461,624	昭 3	山の手 方面	
失業救済工事 昭和4年度		内務省東衛 第1,087号					1,932,460	昭 4		
昭和5年度 速成工事	昭 5. 11.25	内務省東衛 第593号	同	同	大14. 8.11 昭 5. 8.13	内務省告示 第140号 第159号	3,000,000	自昭5 至同7	市内31箇 所	
第2改良 速成工事	6. 3.21 8. 3.31	内務省東衛 第2号 第1,191号	同	同	大4. 8.11 昭 5.12.29 同 8. 4.11	内務省告示 第140号 第257号 第76号	8,250,000	自昭5 至同8	市内70箇 所	
失業救済工事 昭和6年度 (冬期)	7. 3.23	内務省東衛 第83号	同	同	大14. 8.11 昭 7. 4.11	内務省告示 第140号 第76号	500,000	自昭6 至同7	市内14箇 所	
失業救済工事 昭和7年度 (夏期)	7. 12.23	内務省東衛 第1,112号	同	同	大14. 8.11 昭 8. 3.27	内務省告示 第140号 第81号	476,184	自昭7 至同8	市内12箇 所	
継続都市計画 完成(第1期) 工事	9. 3.31 11. 3.31	内務省東衛 第1,191号 内務省 第9東衛 第1,536号	同	同	昭 8. 8.12 同 10. 4.16 同 17. 4.23	内務省告示 第251号 第265号 第227号	38,500,000	自昭7 至同19	市内未完 成部分	当初 36,500, 000 の処 2,000, 000 追加認可 を得
大崎町下水道 事業(第1期)	大 13. 3.26	内務省東衛 第27号	—	—	—	—	794,723	自大13 至昭6	旧大崎町 の中央部	
大崎町下水道 事業(第2期)	昭 5. 9. 9 11. 6.23	内務省2東 衛第959号 内務省10東 衛第92号	昭 8. 12.24 9. 4.20 10. 4.19	内務省告示 第327号 第218号 第280号	昭 3.12.24 同 9. 4.20 同 10. 4.10	内務省告示 第327号 第218号 第208号	798,000	自昭5 至同10	同上 残部区域	
高田町 下水道事業	6. 5.23	内務省 5東衛 第1,562号	5. 12.29	内務省告示 第250号	昭 5.12.29 同 11. 4.24 同 14. 4.21	内務省告示 第250号 第276号 第235号 第284号	2,118,000	自昭5 至同21	旧高田町 区域	
西巣鴨町 下水道事業	8. 3.31	内務省 6東衛 第1,136号	8. 2.23	内務省告示 第37号	昭 7. 2.23 同 17. 4.23	内務省告示 第37号 第229号	2,910,000	自昭6 至同21	旧西巣鴨 町 全域	
巣鴨町 下水道事業	5. 3.18	内務省4東 衛第451号	5. 1.30 9. 4.20 10. 4.16	内務省告示 第18号 第218号 第281号	昭 5. 1.30 同 9. 4.20 同 10. 4.16	内務省告示 第18号 第218号 第281号	1,273,282	自昭4 至同10	旧巣鴨町 全 城	
王子町 下水道事業	4. 3.25	内務省3東 衛第123号	3. 12.24 5. 12.23	内務省告示 第326号 第244号	昭 3.12.24 同 5.12.23 同 18. 5.10	内務省告示 第326号 第244号 第284号	3,135,207	自昭3 至同21	旧王子町 大 部	
尾久町下水道 事業(第1期)	3. 1.31	内務省2東 衛第777号	—	—	—	—	1,077,145	自昭2 至同7	旧尾久町 中 央 部	

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並執行年割認可		認可事業費	施行年度	地域	備考
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号				
尾久町下水道事業(第2期)	昭7.7.5	内務省東衛第55号	昭7.4.11	内務省告示第77号	昭7.4.11 同12.4.9 同14.4.24 同14.4.18	内務省告示第77号 第225号 第234号 第261号	円1,510,650	自昭7至同15	同上残部	
南千住町、日暮里町、三河島町下水道事業	昭6.5.30	内務省東衛第1,457号	同5.12.29	内務省告示第253号	昭5.12.29 同11.4.27 同14.2.24 同18.5.10	内務省告示第253号 第275号 第235号 第284号	円5,380,000	自昭6至同21	旧南千住 旧日暮里 旧三河島各町の一部	東部下水道町村組合改良下水道事業
大久保町下水道事業(第1期)	昭3.10.31	内務省東衛第18号	—	—	—	—	円478,046	自昭3至同6	旧大久保町の一部	
大久保町下水道事業(第2期)	昭7.9.30	内務省東衛第1,007号	同7.10.4	内務省告示第241号	昭9.1.10 同17.4.23	内務省告示第5号 第230号	円1,026,000	自昭8至同21	同上残部	
滝野川町下水道事業	昭8.12.19	内務省東衛第1,249号	同7.10.4	内務省告示第242号	昭9.1.10 同11.4.23	内務省告示第5号 第232号	円3,494,000	自昭8至同21	旧滝野川町の一部	都市計画事業は合併して年割決定
郊外下水道事業砂町系統の一部 一吾嬬排水区	昭11.3.31	内務省東衛第2号	同5.3.29	内務省告示第65号	昭10.4.16 同15.4.18 同16.4.23 同18.5.10	内務省告示第271号 第261号 第231号 第284号	円3,000,000	自昭11至同21	向島区の内 寺島町、吾嬬町の一部	都市計画経済費へ 3,890,000
千住町下水道事業(第1期)	大11.2.2	内務省東衛第945号	—	—	—	—	円589,953	自大10至同15	旧千住町の中央部	
千住町下水道事業(第2期)	昭2.12.8	内務省東衛第903号	同2.3.28	内務省告示第296号	昭2.3.28 同7.2.23 同7.4.4	内務省告示第296号 第39号 第66号	円930,000	自昭2至同7	同上荒川以東の残部	臨時部として引続き後段部施行
都市計画道路	昭34.3.11	建33東計第47号	同37.3.31	建設省告示第740号	昭28.10.12	建設省告示第1,358号	円9,000,000	自昭28至同31		千代田区他20区の中既定区域の50%と新区域の急施を要する箇所を選定
				(変更)建設省告示第1,358号	昭33.3.31	建設省告示第983号				
				昭35.3.31	第805号					
				昭36.3.29	第815号					
自昭32年 至昭41年 下水道	昭37.12.22	建設省告示第3,205号	同37.3.31	建設省告示第1,092号	昭37.3.31	建設省告示第1,092号	円217,716,000,000	自昭28至同45西	新荒川以西	練馬の大部、板橋区の一部を除く同上
				同上	同上	同上	円36,600,000,000	自昭32至同41	同上	昭和32年既定区域を100%新区域を45.5%施行に変更

第2節 施行済の事業

東京都市計画東京市下水道

事業別	予算額	竣工額	竣工延長	施行年度	摘要
第1期下水道改良工事	円 15,000,000	円 14,618,123	m 135,818	自明治44年至大正12年	浅草区、下谷区の大部、本郷区、神田区の一部並びに田町和泉町ポンプ所及び三河島下水処理場竣工
下水渠一部速成工事	2,520,000	2,497,989	14,876	自大正5年至同9年	山の手及び下谷方面芝区内雨水氾濫箇所に対し施工
第2期下水道改良工事	20,000,000	4,311,283	35,115	自大正9年至同12年	麹町、日本橋、京橋区の一部並びに錢瓶町ポンプ所の一部施工、震災の為打切
帝都復興下水道改良工事	40,211,321	39,603,453	280,057	自大正12年至昭和6年	焼失区域一帯並びに芝浦、錢瓶町木場、業平、三ノ橋各ポンプ所、砂町下水処理場
管渠移転工事	2,454,911	2,310,518	102,567	自大正14年至昭和5年	震災後区画整理に伴う第1期区域内、下水道の移転整理
下水道応急整理工事	1,600,000	948,402	30,465	自大正15年至昭和4年	震災後区画整理に伴う第1期区域内、既設計下水道の整理
失業救済工事 (昭和2年度)	355,108	340,415	2,518	自昭和2年至同3年	山の手方面雨水汜濫箇所に対し施工
々 (昭和3年度)	461,624	428,477	4,472	昭和3年	々
々 (昭和4年度)	1,932,460	1,711,460	17,563	自昭和4年至同5年	全市域に亘り雨水汜濫箇所に施工
昭和5年度速成工事	3,000,000	2,674,854	39,619	自昭和5年至同7年	同並に急施を要すべき箇所に施工
失業救済工事 (昭和6年度)	500,000	455,538	12,285	自昭和6年至同7年	々
々 (昭和7年度)	500,000	461,219	8,516	自昭和7年至同8年	々
昭和5.6.7年度 第2改良速成工事	8,250,000	7,561,665	120,534	自昭和5年至同8年	同並びに芝浦ポンプ所の拡張
継続都市計画 速成工事	5,740,695	5,600,286	33,792	自大正14年至昭和9年	全市域並びに急施を要すべき箇所
継続都市計画 完成下水道改良工事	38,500,000	27,688,297	336,689	自昭和7年至同19年	同市域内下水道の内ポンプ所下水処理場の完成管渠残部の約5割
計	141,026,119	111,211,979	1,174,886		
下水課以外にて施工	9,905,064	9,905,064	247,700	昭和19年度	復興局・府・市・道路改修実施せらるものの工費推計による
全市域合計	150,931,183	121,117,043	1,422,586		

東京都市計画郊外下水道

事業別	予算額	竣工額	竣工延長	施行年度	摘要
大崎町(第1期工事)	円 746,263	円 746,263	m 24,812	自大正13年 至昭和6年	市域併合以前旧大崎町地内に施行
同 (第2期工事)	273,369	273,369	20,246	自昭和5年 至同7年	〃
大久保町 (第1期工事)	408,763	408,763	10,066	自昭和3年 至同6年	市域併合以前旧大久保町地内に施行
〃 (第2期工事)	4,743	4,743	—	昭和7年	〃
高田町	527,407	527,407	10,669	自昭和5年 至同7年	市域併合以前旧高田町地内に施行
西巣鴨町	68,829	68,829	514	自昭和6年 至同7年	市域併合以前旧西巣鴨町地内に施行
巣鴨町	674,982	674,982	27,998	自昭和3年 至同7年	市域併合以前旧巣鴨町地内に施行
王子町	731,194	731,194	10,826	自昭和3年 至同7年	市域併合以前旧王子町地内に施行
尾久町(第1期工事)	779,144	779,144	27,731	自昭和2年 至同7年	市域併合以前旧尾久町地内に施行
〃 (第2期工事)	10,050	10,050	196	昭和7年	〃
東部下水道町村組合	837,842	837,842	9,034	自昭和6年 至同7年	市域併合以前旧日暮里、三河島、 南千住町地内に施行
千住町(第1期工事)	507,995	507,995	13,149	自大正10年 至同15年	市域併合以前旧千住町地内に施行
〃 (第2期工事)	819,869	819,870	28,019	自昭和2年 至同7年	〃
臨時部下水道 千住町工事	27,000	23,355	703	昭和7年	千住町(第2期)残部市域併合後 旧千住町地内に施行
継続郊外下水道 改良工事	15,800,000	15,440,595	285,197	自昭和7年 至同19年	新市域内旧町村にて施行中のもの を引継ぎ且市域併合後一部追加施 行す
計	22,217,450	21,854,401	469,160		
下水課以外にて施行	2,228,612	2,228,612	56,301	昭和19年度	府、市道路に伴い実行せるもの の工費は推計による
新市域合計	24,446,062	24,083,013	525,461		
総計	175,377,245	145,200,056	1,948,047		

備考 継続都市計画完成下水道改良工事及び継続郊外下水道改良工事は、戦時に際し昭和19年度限り国庫補助中止となつたため同年度限り工事打切とした。

終 戰 後 施 行

事業名	予算額	決算額	竣工延長	施行年度	備考
下水道復旧	円 15,795,000	円 15,795,000	m —	昭和 年度 20—23	戦災箇所及び戦時未補修のまゝ機能低下または停止をみた箇所を復旧
計	15,795,000	15,795,000	—	—	23年度で完了
下水道復旧	6,615,000	5,106,000	2,262	21	区画整理地区内の下水管移設及び新管を敷設する
タ 管渠移設	900,000	900,000	569	22	タ
タ	8,550,000	8,500,000	2,090	23	タ(事業名変更)
タ	15,500,000	15,500,000	2,614	24	タ
タ	29,500,000	25,402,460	8,286	25	タ
タ	40,000,000	39,129,844	9,649	26	タ
タ	56,000,000	55,245,816	11,649	27	タ
タ	60,000,000	58,017,088	11,805	28	タ
タ	57,000,000	51,828,572	10,415	29	タ
タ	85,000,000	79,776,048	16,243	30	タ
タ	139,195,995	122,992,105	23,125	31	タ
タ	95,000,000	88,456,072	12,832.2	32	タ
計	593,260,995	550,854,005	111,559.2		
下水道増補改良	82,500,000	21,473,830		21—25	既存設備の改良増補
計	82,500,000	21,473,830			
下水道拡張	増補改良事業費に含む				
タ 同上	20,000,000	11,645,000	209	23	下水道施設を拡張する
タ	30,000,000	18,923,856	1,883	24	タ
タ	20,000,000	10,226,413	1,146	24	タ
タ	206,000,000	55,134,095	4,364	25	タ
タ	309,000,000	159,962,267	14,296	26	タ
タ	479,323,469 (144,391,984)	257,601,869	17,992	27	タ
タ	721,721,600 (221,721,600)	490,760,207	15,267	28	タ
タ	830,961,393 (230,961,393)	434,046,434	22,075	29	タ
タ	749,898,877 (149,898,877)	413,675,924	26,373.6	30	タ
タ	1,633,000,000	1,047,411,361	74,588	31	タ
タ	2,226,000,000	2,032,984,363	82,103.5	32	タ
タ	3,179,200,000 (179,200,000)	2,909,780,265	74,745.7	33	タ
タ	4,731,000,000 (231,000,000)	4,171,154,459	77,109.87	34	タ
タ	8,010,000,000 (410,000,000)	7,181,363,259	83,872.76	35	タ
タ	10,580,200,506 (538,010,506)	9,666,336,043	77,860.00	36	タ
タ	12,060,000,000 (60,000,000)	10,667,617,617	105,240.78	37	タ
計	45,786,305,845	39,528,623,432	679,126.21		

第5章 営業

第1節 営業一般

昭和27年10月、地方公営企業法が都条例第82号により下水道事業に全面的に適用され、企業会計制度が確立するとともに、上下水道営業事務が一元化され、料金も上下水道一体で徴収されてきた。

その後37年4月に下水道局が発足してからも、都民の利便や企業の経済性發揮等の理由により、下水道料金の徴収は水道局に委託し、従前通り同時徴収が行なわれている。

第2節 下水道使用件数

都においては、急激な人口の増大と諸産業の集中等により公共施設の完備が急務とされている。下水道についても、都市の健全な発展と公衆衛生の向上に寄与するため、重点施策として32年から48年度までの長期計画が立てられ、23区全域100%普及を目標として実施されている。

したがつて、下水道使用件数も年々増加し、37年度末の使用件数はつぎのとおりである。

水道汚水徴収件数

(甲地区)

業種 年 度	計		一般用	営業用	浴場 営業用	共用
	件 数	指 数				
30 年 度 末	315,833	100	286,208	18,701	569	10,355
31 タ	336,881	106	307,588	19,166	597	9,530
32 タ	355,606	112	327,076	19,218	623	8,689
33 タ	371,649	117	343,158	20,080	638	7,773
34 タ	387,499	122	359,243	20,588	643	7,025
35 タ	399,652	126	372,171	20,677	642	6,162
36 タ	415,433	131	387,927	20,879	654	5,973
37 タ	431,419	136	404,080	21,226	648	5,465

(乙地区)

30 年 度 末	件 74,307	100	件 62,376	件 2,116	件 137	件 9,678
31 タ	73,530	98	62,428	2,055	137	8,910
32 タ	74,208	99	63,865	2,113	133	8,097
33 タ	76,963	103	67,096	2,231	129	7,507
34 タ	81,001	109	71,875	2,494	136	6,496
35 タ	87,106	117	78,498	2,687	137	5,784
36 タ	92,808	124	85,020	2,811	138	4,839
37 タ	100,674	135	930,058	3,107	159	4,350

井戸汚水使用件数

(甲地区)

(乙地区)

業種 年度	手 動		動 力		湧水	手 動		動 力		湧水
	専用	併用	浴場用	その他		専用	併用	浴場用	その他	
30年	1,257	5,967	341	1,630	15	128	904	85	216	0
31々	1,294	6,069	378	1,945	18	134	924	111	297	2
32々	1,325	6,156	396	2,395	19	130	928	118	387	2
33々	1,308	6,167	429	2,633	25	138	927	124	455	2
34々	1,302	6,221	448	3,136	28	218	1,008	128	501	0
35々	1,117	6,094	464	3,573	46	200	1,024	127	596	0
36々	1,004	6,052	473	3,975	74	212	1,003	120	666	0
37々	913	6,079	473	4,384	76	295	1,062	132	790	0

行政区別微収件数調

(38年3月末)

種別 区別	甲 地 区				乙 地 区	
	微収現在数	井戸件数	便 器		微収現在数	井戸件数
	件	件	個	個	件	件
全 区	431,419	11,925	514,387	180,604	100,674	2,279
千代田	24,291	307	52,932	28,421	—	—
中央	34,403	288	55,553	31,403	—	—
港	54,479	1,248	71,158	24,671	883	38
新宿	55,900	2,802	60,266	18,867	4,892	132
文京	49,615	1,679	52,276	16,262	24	3
台東	57,943	1,108	74,765	23,320	—	—
墨田	27,879	131	33,827	10,454	3,327	18
江東	26,369	104	27,268	7,004	374	—
品川	724	121	758	295	10,932	431
目黒	770	28	824	272	91	—
大田	—	—	—	—	—	—
世田谷	—	—	—	—	—	—
渋谷	3,035	73	2,902	980	7,367	56
中野	—	—	—	—	6,332	68
杉並	—	—	—	—	1,451	31
豊島	37,842	3,063	34,033	8,927	6,956	516
北	18,387	656	12,145	2,924	20,467	595
荒川	39,500	310	35,447	6,749	15,270	118
板橋	203	7	174	42	512	123
練馬	—	—	—	—	—	—
足立	79	—	59	13	21,782	149
葛飾	—	—	—	—	—	—
江戸川	—	—	—	—	14	1

水道局支所別徴収件数調

(38年3月末)

種別 支所別	甲 地 区				乙 地 区	
	徴収現在数	井戸件数	大便器	小便器	徴収現在数	井戸件数
全 支 所	431,419 件	11,925 件	514,387 個	180,604 個	100,674 件	2,279 件
中央	126,886	2,642	196,677	90,275	883	38
中 央	42,641	858	54,788	19,419	512	21
鎌倉河岸	58,694	595	108,485	59,824	—	—
大木戸	25,551	1,189	33,404	11,032	371	17
東部第一	54,248	235	61,095	17,458	3,715	19
東部第一	975	4	775	187	3,590	18
千歳町	53,273	231	60,320	17,271	111	—
江戸川	—	—	—	—	14	1
東部第二	39,579	310	35,506	6,762	37,052	267
東部第二	39,500	310	35,447	6,749	15,270	118
足立	79	—	59	13	21,782	149
葛飾	—	—	—	—	—	—
西部	18,148	1,360	18,329	6,625	12,648	231
西部	18,148	1,360	18,329	6,625	4,865	132
中野	—	—	—	—	6,332	68
杉並	—	—	—	—	1,451	31
南部第一	724	121	758	295	10,932	431
南部第一	—	—	—	—	103	—
荏原	724	121	758	295	10,829	431
雪ヶ谷	—	—	—	—	—	—
蒲田	—	—	—	—	—	—
南部第二	3,805	101	3,726	1,252	7,458	56
南部第二	—	—	—	—	—	—
目黒	770	28	824	272	91	—
渋谷	3,035	73	2,902	980	7,367	56
北部第一	169,439	6,493	185,977	54,971	7,007	519
北部第一	37,842	3,063	34,033	8,927	6,956	516
神楽河岸	73,654	2,322	77,179	22,724	51	3
三筋町	57,943	1,108	74,765	23,320	—	—
北部第二	18,590	663	12,319	2,966	20,979	718
北部第二	203	7	174	42	512	123
王子	18,387	656	12,145	2,924	20,467	595

第3節 下水道使用水量

生活水準の向上による電気洗濯機、水洗便所の普及、産業、人口の集中、高層ビルの激増及び冷房装置の普及等に加え、下水道の普及による使用件数の増加も多く、下水道の使用水量は年々増大している。

しかし、昭和37年度については、水不足による水道局の制限給水によつて、水道汚水は全用途にわたり使用量は減少することとなつた。

37年度水道汚水の用途別使用量は、つぎのとおりである。

用途別使用水量表（水道汚水）

甲地区

年 度	一 般 用	営 業 用	浴 場 営 業 用	共 用	年 間 水 量
33	140,092,547 m^3	26,464,605 m^3	7,594,321 m^3	845,800 m^3	174,997,273 m^3
34	154,798,592	29,543,939	7,667,943	756,380	192,766,854
35	170,817,596	32,222,823	7,619,596	660,556	211,320,571
36	186,191,291	36,485,630	7,656,850	660,875	230,994,646
37	181,192,727	34,147,182	6,962,062	600,400	222,902,371

乙地区

年 度	一 般 用	営 業 用	浴 場 営 業 用	共 用	年 間 水 量
33	18,120,801 m^3	1,038,166 m^3	906,537 m^3	777,935 m^3	20,843,439 m^3
34	20,041,647	1,332,677	775,882	711,177	22,861,383
35	22,886,929	1,684,498	908,692	594,073	26,074,192
36	25,653,785	2,087,171	930,177	541,058	29,212,191
37	27,770,179	2,424,064	933,814	489,277	31,617,334

37年度用途別使用水量表 (水道汚水)

5

(甲地区)

用途 月別	一般用			営業用			浴場営業用			共用			計		
	使用水量	件数	1件当り使用量	使用水量	件数	1件当り使用量	使用水量	件数	1件当り使用量	使用水量	件数	1件当り使用量	使用水量	件数	1件当り使用量
総計	181,192.727	4,765,922	38.0	34,147,182	249,286	136.9	6,962,062	7,699	904.3	600,400	61,814	9.7	222,902,371	5,084,721	43.8
4	14,264,296	391,690	36.4	2,689,930	19,834	135.6	606,292	622	974.7	36,665	4,020	9.1	17,597,183	416,166	42.2
5	14,571,335	391,858	37.1	2,756,029	21,554	127.8	553,872	646	857.3	60,611	6,284	9.6	17,941,847	420,342	42.6
6	13,844,064	392,797	35.2	2,161,126	19,879	108.7	529,309	627	844.1	43,274	4,170	10.3	16,577,773	417,473	39.7
7	14,371,235	391,702	36.6	2,736,282	21,464	127.4	565,037	660	856.1	63,833	6,467	9.8	17,736,387	420,293	42.2
8	15,916,866	394,159	40.3	3,004,961	19,783	151.8	530,621	577	919.6	47,566	4,002	11.8	19,500,014	418,521	46.5
9	18,182,443	395,061	46.0	3,585,147	21,553	166.3	705,425	677	1,041.9	80,237	6,327	12.6	22,553,252	423,618	53.2
10	17,362,326	396,779	43.7	3,310,846	19,763	167.5	639,529	620	1,031.4	44,637	4,073	10.9	21,357,338	421,235	50.7
11	16,472,759	396,481	41.5	3,230,471	21,523	150.0	606,144	661	917.0	60,074	6,185	9.7	20,369,448	424,850	47.9
12	14,916,567	403,541	36.9	2,879,453	20,087	143.3	562,221	642	875.7	37,206	4,097	9.0	18,395,447	428,367	42.9
1	15,330,115	397,793	38.5	3,038,364	21,602	140.6	637,045	679	938.2	48,894	5,949	8.2	19,054,418	426,023	44.7
2	13,227,985	412,465	32.0	2,430,356	20,433	118.9	511,714	619	826.6	34,694	4,348	7.9	16,204,749	437,865	37.0
3	12,732,736	401,596	31.7	2,324,217	21,811	106.5	514,853	669	769.5	42,709	5,892	7.2	15,614,515	429,968	36.3

37年度用途別使用水量表 (水道汚水)

(乙地区)

用途	一般用			営業用			浴場営業用			共用			計			
	月別	使用水量	件数	1件当たり 使用量	使用水量	件数	1件当たり 使用量	使用水量	件数	1件当たり 使用量	使用水量	件数	1件当たり 使用量	使用水量	件数	1件当たり 使用量
総計		27,770,179	1,121,274	24.7	2,424,064	36,852	65.7	933,814	1,710	546.0	489,277	52,293	9.3	31,617,334	1,212,129	26.1
4		1,891,822	85,064	22.2	153,419	2,531	60.6	72,115	131	550.4	28,713	3,614	7.9	2,146,069	91,340	23.4
5		2,342,729	92,016	25.4	193,950	3,254	59.6	74,846	118	634.2	49,500	5,466	9.0	2,661,025	100,854	26.3
6		2,001,083	89,592	22.3	165,823	2,563	64.6	73,520	147	500.1	32,802	3,672	8.9	2,273,228	95,974	23.6
7		2,354,345	93,256	25.2	239,179	3,320	72.0	71,849	121	593.7	48,295	5,347	9.0	2,713,668	102,044	26.5
8		2,377,612	94,230	25.2	195,603	2,822	69.3	86,330	167	516.9	42,814	3,673	11.6	2,702,359	100,892	26.7
9		2,951,703	94,921	31.0	257,162	3,381	76.0	95,387	136	701.3	56,930	5,364	10.6	3,361,182	103,802	32.3
10		2,623,937	96,019	27.3	258,956	3,004	86.2	97,816	166	589.2	35,557	3,541	10.0	3,016,266	102,730	29.3
11		2,570,916	95,586	26.8	226,001	3,410	66.2	70,043	123	569.4	53,375	5,256	10.1	2,920,335	104,375	27.9
12		2,115,564	95,967	22.0	190,126	2,870	66.2	74,077	163	454.9	33,775	3,405	9.9	2,413,542	102,405	23.5
1		2,424,776	96,853	25.0	201,936	3,410	59.2	81,697	130	628.4	43,377	5,063	8.5	2,751,786	105,456	26.0
2		2,056,841	90,732	22.6	166,099	2,821	58.8	69,802	169	413.0	25,002	2,959	8.4	2,317,744	96,681	23.9
3		2,058,851	97,038	21.2	175,810	3,466	50.7	66,332	139	477.2	39,137	4,933	7.9	2,340,130	105,576	22.1

第4節 下水道料金

下水道事業経営の基本的収入である下水道料金は、使用料創設期の昭和18年6月以降の経済情勢の変遷と共に、11回にわたり改正されて現行料金にいたつているものである。現行料金の改正は、昭和36年6月第2回東京都議会定例会に提案され、7月に一部修正のうえ可決、8月分より実施された。

この際、「臨時東京都水道料金及び下水道料金制度調査会」が設置され料金体系を確立するため学識経験者を加え審議されている。

現行の下水道料金はつぎのとおりである。

下水道料金表

A 甲地区（し尿を下水道に流せる地区）

水道汚水		水道料金の $\frac{3}{10}$
井戸	浴場営業用	排出量1立方米につき 4円50銭
汚水	その他	タ 5円
水洗	大便器	1個1月につ 20円
便器	小便器	タ 20円

B 乙地区（甲地区以外の下水道地区）

水道汚水		水道料金の $\frac{2}{10}$
井戸	浴場営業用	排出量1立方米につき 3円
汚水	その他	タ 3円30銭

水道料金表

用 途	基 本 料 金	超 過 料 金
一般用（家庭・官公署・会社・工場等）	1カ月8m ³ まで 120円	10m ³ をこえるもの
	1カ月10m ³ まで 140円	1m ³ につき 20円
営業用（料理飲食店等）	1カ月10m ³ まで 140円	タ 32円
	1カ月10m ³ まで 140円	タ 15円
浴場営業用		
共 同（一戸につき）	1カ月8m ³ まで 80円	8m ³ をこえるもの 1m ³ につき 15円

第5節 料金徴収

下水道局発足にしたがつて、下水道料金の徴収業務は当局で行なうべきであるが、水道局に委託され、上・下水道料金の同時徴収が行なわれている。

これは水道局が都内に現有する大きな業務組織を活用して都民の利便と徴収業務の経済性の発揮という観点からの思慮によるもので、水道局営業部の連絡調整のもとに、支所・営業所がこれにあたり、徴収方法は、水道局と全く同様である。

また、下水道局での料金収入整理及び水道局との連絡調整等の業務事務は総務部理財課が分掌している。

なお、昭和37年度の下水道料金収入状況及び、近年5カ年の収入状況はつぎのとおりである。

水道局支所別下水道料金調定収入調

(昭和37年度)

種別 支所	調 定			収 入	未 収 入
	前年度未収繰越	昭和37年度分	計		
全 支 所	25,925,932 円	1,859,189,181 円	1,885,115,113 円	1,823,881,551 円	61,233,562 円
中 央	15,252,528	806,094,978	821,347,506	790,998,788	30,348,718
東部 第一	2,879,873	196,656,525	199,536,398	193,238,542	6,297,856
東部 第二	4,065,219	127,904,990	131,970,209	126,978,627	4,991,582
西 部	241,836	85,175,873	85,417,709	84,205,059	1,212,650
南 部 第一	152,817	30,336,101	30,488,918	28,951,862	1,537,056
南 部 第二	72,177	21,975,650	22,047,827	21,638,030	409,797
北 部 第一	3,179,557	538,563,846	541,743,403	526,268,101	15,475,302
北 部 第二	81,925	52,481,218	52,563,143	51,602,542	960,601
前年同期	12,536,118	1,787,933,363	1,800,469,481	1,774,543,549	25,925,932
比較増減	13,389,814	71,255,818	84,645,632	49,338,002	35,307,630

最近5ヵ年の下水道料金調定収入

年 度 别	調 定 額	収 入 額	収 入 率
昭和 33 年 度	1,194,723,979 円	1,185,489,720 円	99.2 %
〃 34 〃	1,313,672,843	1,306,918,080	99.4
〃 35 〃	1,436,839,685	1,424,268,159	99.1
〃 36 〃	1,787,933,363	1,762,159,531	98.5
〃 37 〃	1,859,189,181	1,798,642,398	96.7

第6節 排水設備

近代的な文化都市を建設するための要素はいろいろあるが、何といつても完全な下水道を施設し、衛生的で快適な環境をつくることが第一である。それに、生活環境が清潔になれば、必然蚊・ハエ・寄生虫等の発生を防ぎ、その他の悪疫の流行も予防できる。

本都においては、大正13年はじめて排水設備の設置をみて以来、下水道施設の拡張と相まって、排水設備の普及は漸次進み、昭和15年には施設面積 1,893.2 ヘクタール、施設済戸数200,961戸、使用大便器数95,582個に及んだが、第二次大戦の激化に伴ない本都における排水設備の施設数は急激に減じた。その状態は昭和18年・19年に最もひどく、20年には極少を示した。昭和21年に入り僅かであるが排水設備の施設数が増加しはじめた。戦災による排水設備の被害は相当ひどく、昭和20年の終戦当時は、戦災前の排水設備施設済最高戸数の約5割の減少であつたため、その後にはかなりの日時を要した。

しかし、戦災復興計画に沿つて下水道の応急復旧工事、増補改良工事が実施されたので、排水設備施設の成績は着々と上昇し、昭和23年には一応、戦前の排水設備済最高数なみの回復がみられた。

昭和24年には5ヵ年水洗便所助成改造事業（昭和24年～28年）を計画し、甲地区告示区域内のくみ取り便所110,000個を水洗化する目標で、水洗便所助成規則（昭和24年8月）を制定し、助成金（大便器1個当たり改造費の一部4,350円）を交付し実施したが、昭和28年度末には目標を上廻る118,926個を施行し、その後もひき続き実施中である。

年度別告示面積及び排水設備施行状況

年 度	種 別	告 示 面 積	排水設備設置数	水 洗 便 器 数	
				大 便 器	小 便 器
20		ヘクタール 5,428.35	件	個 31,719	個 23,518
21		5,433.70		38,831	26,320
22		5,433.70		45,928	30,822
23		5,446.20		53,560	35,384
24		5,477.90		77,894	39,900
25		5,643.30		129,275	48,805
26		5,688.10		157,530	54,212
27		6,196.72		216,789	89,184
28		6,696.14		256,726	101,364
29		7,233.26		294,362	112,799
30		8,307.15	346,044	323,489	121,549
31		9,699.30	364,304	366,610	136,456
32		10,104.39	381,737	394,966	145,878
33		10,456.38	398,322	413,686	152,232
34		10,900.85	416,742	440,264	159,868
35		11,267.36	431,703	466,734	167,103
36		11,547.39	450,526	491,522	173,197
37		11,966.56	471,190	514,387	180,604

行政区別告示面積及び排水設備設置数

37年度末

区別	種別	下水道必要面積	告示面積	排水設備設置数	便器数	
					大便器	小便器
千代田	東	1,102	843.50	23,410	52,932	28,421
中央	央	865	853.75	33,840	55,553	31,403
港	宿	1,869	1,614.11	52,400	71,158	24,671
新宿	京	1,798	1,205.08	53,260	60,266	18,867
文京		1,138	1,080.97	45,327	52,276	16,262
台東	東	856	854.32	53,588	74,765	23,320
墨田	田	1,195	752.61	28,293	33,827	10,454
江東	東	1,912	722.66	23,502	27,268	7,004
品川	川	1,555	342.57	10,236	758	295
目黒	黒	1,440	14.27	760	824	272
大田	田	3,852	3.99	0	0	0
世田谷	谷	5,714	—	—	—	—
渋谷	谷	1,511	294.28	9,106	2,902	980
中野	野	1,566	121.64	5,290	0	0
杉並	並	3,338	28.95	1,116	0	0
豊島	島	1,299	1,004.25	28,293	34,033	8,927
北		1,836	981.23	32,558	12,145	2,924
荒川	川	887	886.17	42,234	35,447	6,749
板橋	橋	2,997	33.27	689	174	42
練馬	馬	4,684	—	—	—	—
足立	立	4,790	327.04	18,236	59	13
飾磨	葛	2,955	—	—	—	—
江戸川	川	3,694	1.90	14	0	0
計		52,853	11,966.56	471,190	514,387	180,604

水洗便所助成状況

年 度	改 造 計 画	助 成 金 額 (1個当り)		施 行 個 数	個
		一 般	生 活 扶 助 家 庭		
24 ～ 28	個 110,000	円 4,350	円 8,700	118,926	
29	15,000	2,000	11,000	10,400	
30	15,000	3,000	〃	9,032	
31	10,000	〃	〃	9,997 (内1個は全額助成)	
32	11,389	〃	〃	9,821 (〃)	
33	12,000	〃	〃	7,535 (〃)	
34	10,000	5,500	〃	9,977	
35	12,000	〃	〃	7,165 (内18個は全額助成)	
36	9,000	〃	〃	5,761	
37	9,000	〃	〃	8,037 (内5個は全額助成)	
合 計	213,389			196,651	

なお、助成金額は、昭和38年9月に助成規程が改正され、38年4月1日より、一般助成8,800円（家族構成全員の年間平均月収が7万円未満の者）全額助成17,700円（特別区民税の非課税者及び課税保留者）に増額し、告示区域内（甲地区）のくみ取り便所の解消をはかつている。

排水設備の工事

排水設備の工事については、使用者との請負契約により下水道局指定の下水道工事店で施行する。この指定工事店制度は、昭和35年4月より発足したもので、従来は、水道局の指定工事店が、水道局の指導、監督のもとに行なつていた。

指定下水道工事店が一定の技術水準を保ち、工事店の行なう工事の万全を期するため、36年4月より排水設備技術者制度を設け、排水設備技術の保持をすることとなつた。さらに37年11月からは、施行責任者として、排水設備配管工制度が設けられ、工事店には必ず両者を置くことが義務づけられた。

37年度末における指定工事店数は1,510店、排水設備技術者の登録人数3,684名、排水設備配管工の登録人数5,218名（労働省の給水衛生設備配管工技能検定登録者をも含む。）である。

第6章 設備

第1節 管渠

(1) 下水管渠施設状況

年 度 別	管渠種別					人孔個	汚水糞個
	総数(m)	暗渠(m)			開渠(m)		
		総数	幹線	枝線			
昭和21年度	1,950,311	1,938,959	122,687	1,816,272	11,352	49,683	168,021
22	1,950,860	1,939,508	122,687	1,816,821	11,352	49,701	168,461
23	1,959,953	1,948,601	122,687	1,825,914	11,352	49,952	169,843
24	1,970,862	1,959,510	124,459	1,835,051	11,352	50,201	172,145
25	1,984,230	1,972,878	124,930	1,847,948	11,352	50,592	173,502
26	2,010,810	1,999,458	125,862	1,873,596	11,352	51,755	176,860
27	2,047,108	2,035,756	127,323	1,908,433	11,352	52,966	181,647
28	2,083,088	2,071,736	129,096	1,942,640	11,352	54,207	187,445
29	2,120,682	2,109,330	130,901	1,979,429	11,352	55,253	192,900
30	2,195,329	2,183,977	130,994	2,052,983	11,352	57,733	203,082
31	2,290,369	2,279,017	130,994	2,148,023	11,352	60,952	217,324
32	2,396,948	2,385,596	131,652	2,253,944	11,352	64,374	233,101
33	2,489,519	2,478,167	135,242	2,342,925	11,352	67,175	244,195
34	2,580,907	2,569,555	137,950	2,431,605	11,352	69,984	258,382
35	2,681,332	2,671,280	145,851	2,525,429	10,052	73,159	274,912
36	2,767,882	2,764,478	149,875	2,614,603	3,404	75,971	290,907
37	2,876,329	2,873,426	158,981	2,714,445	2,903	79,607	310,942
千代田	232,272	232,272	22,378	209,894		5,521	22,335
中央	241,924	241,924	6,215	235,709		5,660	22,582
港	304,582	304,582	23,052	281,530		8,077	31,574
新宿	289,769	289,769	11,731	278,038		8,221	32,070
文京	245,563	245,563	21,798	223,765		7,428	27,111
台東	300,234	300,234	20,862	279,372		8,316	20,844
墨田	205,165	205,165	4,203	200,962		5,583	32,836
江東	155,196	155,196	7,624	147,572		3,844	15,698
品川	83,848	83,848	2,443	81,405		1,768	8,821
目黒	3,429	3,429		3,429		100	391
大田	1,032	1,032		1,032		22	234
渋谷	80,592	80,592	5,447	75,145		2,546	10,933
中野	30,106	30,106	1,834	28,272		1,001	4,910
杉並	10,325	10,325	1,222	9,103		272	1,419
豊島	219,930	217,027	8,373	208,654	2,903	6,896	26,673
北	174,886	174,886	7,247	167,639		5,684	20,202
荒川	214,962	214,962	12,485	202,477		6,606	23,474
板橋	14,508	14,508	1,585	12,923		355	1,576
足立	67,480	67,480	482	66,993		1,701	7,216
江戸川	526	526		526		6	43

(2) 管渠管理延長前年度比較

解名	種 別	37年度管渠延長及び個数	36年度管理延長及び個数	比 較(増)	増 加 率
中部管理事務所	幹 枝 線 線	102,447 1,589,467	97,071 1,527,760	5,376 61,707	5.54 4.04
	計	1,691,914	1,624,831	67,083	4.13
	人 汚 水 樹	46,968 180,841	44,673 168,669	2,295 12,172	5.14 7.22
北部管理事務所	幹 枝 線 線	43,066 747,680	39,837 715,926	3,229 31,754	8.11 4.44
	計	790,746	755,763	34,983	4.63
	人 汚 水 樹	22,435 88,787	21,298 81,853	1,137 6,934	5.34 8.47
東部管理事務所	幹 枝 線 線	13,766 379,903	13,766 373,522	6,381	1.71
	計	393,669	387,288	6,381	1.65
	人 汚 水 樹	10,204 41,314	10,000 40,385	204 929	2.04 2.30
合 計	幹 枝 線 線	159,279 2,717,050	150,674 2,617,208	8,605 99,842	5.71 3.81
	計	2,876,329	2,767,882	108,447	3.92
	人 汚 水 樹	79,607 310,942	75,951 290,907	3,636 20,035	4.79 6.89

(3) 系統別管渠管理延長

系 統 名	排 水 区 名	37年度增加延長			37年度末累計延長			備 考
		幹 線	枝 線	計	幹 線	枝 線	計	
芝浦系統	千代田, 中央, 港, 新宿, 文京, 目黒, 渋谷, 豊島, 北, 台東, 品川	2,534	41,815	44,349	92,598	1,365,865	1,458,463	
三河島系統	千代田, 台東, 豊島 荒川	1	5,896	5,897	32,900	492,348	525,248	
砂町系統	中央, 江東, 墨田, 足立, 江戸川	482	7,448	7,930	14,248	445,334	459,582	
森ヶ崎系統	大田, 品川, 目黒		4,237	4,237	1,284	82,784	84,068	
落合系統	新宿, 中野, 杉並	2,842	15,655	18,497	8,566	134,435	143,001	
小台系統	豊島, 北, 板橋	2,746	24,791	27,537	9,683	196,284	205,967	
計		8,605	99,842	108,447	159,279	2,717,050	2,876,329	

(4) 管種別内訳

種 別	大 き さ	昭和37年度末	
		延長 (m)	割合 (%)
円 形 管	内 径 45cm以下	1,898,439	66.00
	々 90々 々	594,494	20.67
	々 140々 々	160,512	5.58
	々 141々 以上	32,437	1.13
		2,685,882	93.38
馬 蹄 形 渠	巾 150cm以下	15,306	0.53
	々 300々 々	48,300	1.68
	々 301々 以上	4,778	0.17
		68,384	2.38
矩 形 渠	巾 150cm以下	22,793	0.79
	々 300々 々	55,604	1.93
	々 301々 以上	27,847	0.97
		106,244	3.69
開 渠	巾 150cm以下		
	々 301々 以上	2,903	0.10
卵 伏 渠 越 形			
		4,907	0.17
		8,009	0.28
計		15,819	0.55
合 計		2,876,329	100.00

第2節 ポンプ所

ポンプ所一覧表

中部管理事務所々管

1. 錢瓶町ポンプ所 _____ 66頁
2. 箱崎町ポンプ所 _____ 68々
3. 中洲町ポンプ所 _____ 68々
4. 浜町ポンプ所 _____ 69々
5. 汐留ポンプ所 _____ 69々
6. 桜橋ポンプ所 _____ 70々

北部管理事務所々管

7.	南 千 住	ポンプ 所		71 頁
8.	汐 入	ポンプ 所		71 タ
9.	橋 場	ポンプ 所		72 タ
10.	和 泉 町	ポンプ 所		73 タ
11.	日 本 堤	ポンプ 所		74 タ
12.	山 谷	ポンプ 所		74 タ
13.	町 屋	ポンプ 所		75 ハ
14.	地 藏 堀	ポンプ 所		76 ハ
15.	千 住	ポンプ 所		77 タ

東部管理事務所々管

16.	木 場	ポンプ 藏		78 タ
17.	月 島	ポンプ 所		79 タ
18.	越 中 島	ポンプ 所		80 タ
19.	三 ノ 橋	ポンプ 所		81 タ
20.	業 平 橋	ポンプ 所		82 タ
21.	砂 町	ポンプ 所		83 タ
22.	吾 嬌	ポンプ 所		84 タ
23.	小 松 川	ポンプ 所		85 タ
24.	隅 田	ポンプ 所		86 タ

(1) 錢瓶町ポンプ所

所 在 地 千代田区大手町2丁目8番地

創 設 昭和6年3月

敷 地 面 積 $13,332\text{m}^2$ (4,040坪)

設 置 目 的 千代田、中央両区の大部分ならびに文京、新宿両区の一部の汚水を吸揚して、大手町幹線、中段幹線、錢瓶幹線等により芝浦処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 1,440.19ヘクタール

計画人口 242,000人

計画排水量 晴天時 $4.259\text{ m}^3/\text{s}$ ($368,000\text{ m}^3/\text{D}$)

種 别	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延1,903.33m ²			
入口阻水扉	巾 高 1.25m 1.68m 矩 形	1	月 島 機 械	
〃	径 1.22m	1	〃	
〃	径 0.915m	1	〃	
〃	径 0.600m	1		
集 水 池	長 巾 12.15m 深 6.10m 7.62m	1		
集水池阻水扉	巾 高 1.88m 馬蹄形 2.00m	2	日立製作所	
沈 砂 池	長 巾 21.33m 5.18m 有効水深 1.88m 有効容量 207.7 m ³	2		
揚 泥 機	門型移動グラブバケツ式	1	桜 田 機 械	
ろ 格 機	ドル式 S型 機械撞上式 巾 高 1.88m 目巾 2.424m 25mm	4	三 機 工 業	
汚 水 ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 口 径 410mm 渦巻ポンプ 揚水量 0.28m ³ /S 揚程 9.75m 馬力 60HP	1	日立製作所	
〃	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式 口 径 400mm 渦巻ポンプ 揚水量 0.33m ³ /S 揚程 10.2m 馬力 75HP	1	〃	
〃	電動機直結横軸型両吸込式 口 径 610mm 渦巻ポンプ 揚水量 0.70m ³ /S 揚程 9.75m 馬力 140HP	2	〃	
〃	〃 口 径 810mm 揚水量 1.40m ³ /S 揚程 9.55m 馬力 275HP	2	〃	
〃	〃 口 径 810mm 揚水量 1.40m ³ /S 揚程 9.8m 馬力 271HP	1	〃	
汚 水 ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 口 径 900mm 渦巻ポンプ 揚水量 1.83m ³ /S 揚程 9.8m 馬力 320HP	1	日立製作所	
昇 降 機	荷 物 用 能 力 1ton	1	日本エレベータ	
沈砂篩渣搬出機	フロットコンベア式	1	理研金属工業	

(2) 箱崎町ポンプ所

所 在 地 中央区日本橋箱崎町4丁目18番地

創 設 昭和32年9月

敷 地 面 積 $85.455m^2$ (25.85坪)

設 置 目 的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた、中央区日本橋箱崎町4丁目付近の雨水を吸揚し荒川に放流する。

計画排水面積 雨水 5.02ヘクタール

計画排水量 雨水量 $0.640 m^3/S$ ($38.4 m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建延 $41.05m^2$			
ろ格機	機械搔上式 巾 $1.80m$ 高 $2.3m$ 目巾 $25mm$	1	江戸川機械	
雨水ポンプ	電動機直結及 びディーゼル エンジン歯車 掛堅軸型斜流 ポンプ 口 径 $550mm$ 揚水量 $0.63m^3/S$ 揚 程 $3.7m$ 電動機馬力 $47HP$ エンジン馬力 $60HP$	1	電 業 社	

(3) 中洲町ポンプ所

所 在 地 中央区日本橋中洲町2番地

創 設 昭和32年8月

敷 地 面 積 $201.65m^2$ (61.0坪)

設 置 目 的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた、中央区日本橋中洲一帯の雨水を吸揚し箱崎川に放流する。

計画排水面積 雨水 3.35ヘクタール

計画排水量 雨水量 $0.476m^3/S$ ($28.56m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	コンクリート建 延 $39.50m^2$			
ろ格機	機械搔上式 巾 $1.50m$ 高 $3.5m$ 目巾 $25mm$	1	江戸川機械	
雨水ポンプ	電動機直結及 びディーゼル エンジン歯車 掛堅軸型斜流 ポンプ 口 径 $500mm$ 揚水量 $0.48m^3/S$ 揚 程 $3m$ 電動機馬力 $30HP$ エンジン馬力 $40HP$	1	電 業 社	

(4) 浜町ポンプ所

所 在 地 中央区日本橋浜町2丁目 浜町公園内
 創 設 昭和36年4月
 敷地面積 $580m^2$ (176坪)
 設置目的 地盤沈下のため、高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた中央区浜町付近の雨水を吸揚し荒川に放流する。
 計画排水面積 雨水 27.71ヘクタール
 計画排水量 雨水量 $4.120m^3/S$ ($247.2m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延 $36.60m^2$			
沈砂池	長 $16.00m$ 巾 $1.70m$ 有効水深 $2.60m$ 有効容量 $141m^3$	2		
搔集機 ろ格機	沈砂搔揚用 機械搔揚式 高 $3.66m$ 巾 $1.7m$ 目巾 $25mm$	2	守住土木	
雨水ポンプ	電動機ディーゼルエンジン共用堅軸型軸流ポンプ 電動機馬力 $187HP$ エンジン馬力 $200HP$	2	日立製作所	

(5) 汐留ポンプ所

所 在 地 中央区銀座東8丁目19番地先
 創 設 昭和37年4月
 敷地面積 $2,396.8m^2$ (725坪)
 設置目的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が、不可能となつた千代田区内幸町、有楽町及び中央区銀座西、銀座、銀座東、築地一帯の雨水を吸揚し築地川に放流する。
 計画排水面積 雨水 88.47ヘクタール
 計画揚水量 雨水量 $15.511m^3/S$ ($930.7m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室 入口阻水扉	鉄筋コンクリート建(建坪) $546m^2$ 油圧開閉式 高 $3.0m$ 巾 $1.6m$	2	久保田鉄工	

種別	形状其他	数量	製作所名	備考
入口阻水扉	油圧開閉式 高巾 1.92m 2.4m	1	久保田鉄工	
放流口阻水扉	タ 高巾 2.5m 2.45m	2	タ	
ろ格室 入口阻水扉	タ 高巾 2.5m 2.0m	3	タ	
ろ格機	機械搔上式 高巾 7.5m 2.4m×2 目巾 40mm	3	日立金属	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン及電動機歯車掛豎軸型斜流ポンプ 口径 1,200mm 揚水量 3.1m³/S 揚程 4.6m エンジン馬力280HP 電動機馬力タ 口径 1,200mm 揚水量 3.1m³/S 揚程 4.6m 馬力 280HP	3	荏原製作所	
タ		3	タ	

(6) 桜橋ポンプ析

所在地 中央区西八丁堀4丁目6番地先

創設 昭和37年4月

敷地面積 2,512.23m² (760坪)

設置目的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた千代田区有楽町、丸の内および中央区日本橋、京橋、室町、兜町、茅場町、西八丁堀、銀座東、新富町附近一帯の雨水を吸揚し、桜川に放流する。

計画排水面積 雨水 117.61ヘクタール

計画排水量 雨水量 24.989m³/S (1,499.34m³/min)

種別	形状其他	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建(坪) 918m²			
入口阻水扉	油圧開閉式 高巾 3.6m 2.3m	2	荏原製作所	
放流口阻水扉	タ 高巾 3.3m 1.6m	2	タ	
放流口阻水扉	電動開閉式 高巾 3.5m 1.65m	2	大原鉄工所	
ろ格室 入口阻水扉	タ 高巾 3.5m 2.5m	3	荏原製作所	
ろ格機	機械搔上式 高巾 7.5m 2.1m×2 目巾 40mm	3	桜田機械	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン及電動機歯車掛豎軸型斜流ポンプ 口径 1,500mm 揚水量 5m³/S 揚程 4.5m エンジン馬力500HP 電動機馬力440HP	3	荏原製作所	
タ	ディーゼルエンジン歯車掛豎軸型斜流ポンプ 口径 1,500mm 揚水量 5m³/S 揚程 4.5m 馬力 500HP	3	タ	

(7) 南千住ポンプ所

所 在 地 荒川区南千住8丁目89番地
 創 設 昭和9年3月
 敷 地 面 積 $1,610.4m^2$ (488坪)
 設 置 目 的 荒川区南千住5, 6, 8丁目一帯の汚水および雨水と汎入ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は南千住幹線により三河島処理場へ送る。
 計画排水面積 汚水 156.48ヘクタール
 雨水 58.00ヘクタール
 計画人口 46,000人
 計画排水量 晴天時 $0.299m^3/S$ ($25,800m^3/D$)
 雨水量 $1.982m^3/S$ ($118.92m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
事 務 所	コンクリート建 延 $64.02m^2$			
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延 $306.10m^2$			
入口阻水扉	高 $1.68m$ 巾 $1.82m$ 矩 形	2	久保田鉄工	
沈 砂 池	長 $13.64m$ 巾 $3.64m$ 有効水深 $1.36m$ 有効容量 $67.5m^3$	2		
揚 泥 機	移動式	1	油谷製作所	
ろ 格 機	機械搔上式 高 $4.06m$ 巾 $2.42m \times 2$ 目巾 $25mm$	1	浅野物産	
汚 水 ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口 径 $450mm$ 揚水量 $0.40m^3/S$ 揚程 $4.55m$ 馬力 $35HP$	2	荏原製作所	
雨 水 ポンプ	電動機直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ 口 径 $760mm$ 揚水量 $1.13m^3/S$ 揚程 $3.95m$ 馬力 $90HP$	2	タ	
タ	電動機直結ディーゼルエンジン切替駆動堅型斜流ポンプ 口 径 $760mm$ 揚水量 $1.08m^3/S$ 揚程 $5m$ 電動機 駆動機 $115HP$ エンジン $115HP$	1	タ	

(8) 汎入ポンプ所

所 在 地 荒川区南千住10丁目20番地
 創 設 昭和16年5月
 敷 地 面 積 $915.22m^2$ (277.34坪)
 設 置 目 的 荒川区南千住10丁目附近の汚水、雨水ならびに橋場ポンプ所より送りられて来る汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は南千住幹線により南千住ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 80.87ヘクタール
 雨水 48.70ヘクタール
 計画人口 27,000人
 計画排水量 晴天時 $0.191m^3/S$ ($16,500m^3/D$)
 雨水量 $4.829m^3/S$ ($289.74m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	木造モルタル建 延 $136.55m^2$			
入口阻水扉	高巾 $1.20m$ $1.60m$ 矩形	1	ゼネラル商会	雨 水 用
タ	高巾 $0.50m$ $0.50m$ 正方形	1	タ	汚 水 用
沈砂池	長巾 $14.00m$ 有効水深 $2.50m$ 有効容量 $0.82m$ $28.7m^3$	2		
ろ格機	機械搔上式 高巾 $2.9m$ 目巾 $2.2m$ $41mm$	1		雨 水 用
ろ格	手搔上式 高巾 $2.9m$ 目巾 $1m$ $25mm$	1		汚 水 用
污水ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ 口径 $250mm$ 揚水量 $0.15m^3/S$ 揚程 $7m$ 馬力 $25HP$	2	荏原製作所	
雨水ポンプ	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ 口径 $500mm$ 揚水量 $0.50m^3/S$ 揚程 $3.5m$ 馬力 $40HP$	2	西島製作所	

(9) 橋場ポンプ所

所 在 地 荒川区南千住3丁目190番地
 創 設 昭和13年3月
 敷地面積 $542.19m^2$ (164.3坪)
 設置目的 荒川区南千住3, 4丁目附近の污水、雨水を吸揚し、雨水は荒川へ放流し、污水は南千住幹線により汐入ポンプ所へ送る。
 計画排水面積 汚水 32.17ヘクタール
 雨水 32.17ヘクタール
 計画人口 11,000人
 計画排水量 晴天時 $0.090m^3/S$ ($7,776m^3/D$)
 雨水量 $3.627m^3/S$ ($217.62m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	コンクリート建 延 $165.99m^2$			

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
入口阻水扉	高巾 高巾	1.50m 1.80m 矩形 0.70m 0.70m 正方形	1 1		雨水用 污水用
沈砂池	長巾 有効水深 有効容量	10.0m 4.0m 1.4m 56m³	2		
ろ格機	機械搔揚式	高巾 目巾	3.2m 2.4m 41mm	1	雨水用
ろ格	手搔上式	高巾 目巾	3.2m 1.2m 25m	1	污水用
汚水ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	175mm 0.600m³/S 9.0m 15HP	2	荏原製作所
雨水ポンプ	電動機直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	450mm 0.400m³/S 2.8m 27HP	2	タ
タ	ディーゼルエンジン直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	450mm 0.400m³/S 2.8m 30HP	1	タ

(10) 和泉町ポンプ所

所在地 千代田区神田和泉町1番地
 創設 大正11年8月
 敷地面積 452.1m² (137坪)
 設置目的 国電山手線、秋葉原駅より御徒町に至る周辺、即ち台東区仲御徒町1, 2, 3丁目及び松永町西ならびに千代田区花岡町等より以西の大部分の汚水を吸揚し、浅草幹線により三河島処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 47.60ヘクタール
 計画人口 11,000人
 計画排水量 晴天時 0.138m³/S (11,900m³/D)

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延314.29m²			
入口阻水扉	径	0.60m	2		
沈砂池	長巾 有効水深	8.17m 4.17m 1.52m	2		
ろ格	手搔上式	巾 高 目巾	4.1m 2.424m 10mm	1	
汚水ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	200mm 0.085m³/S 4.5m 10HP	1	荏原製作所
タ	タ	口径 揚水量 揚程 馬力	250mm 0.142m³/S 4.5m 15HP	2	タ

(11) 日本堤ポンプ所

所 在 地 台東区浅草日本堤2丁目1番地

創 設 昭和37年12月

敷 地 面 積 3,775.60 m^2 (1,142.39坪)

設 置 目 的 台東区の東北部は、旧田町ポンプ所排水流域であつたが、近年地盤沈下が甚しく又その周辺区域も同様に沈下し、雨水をポンプ吸揚して排水する必要が生じた。このため田町ポンプ所を大規模に改造し、台東区の大部（合羽橋付近より北部の概ね全域）荒川区日暮里町1～4及9丁目の一部の雨水を吸揚して山谷堀に放流する。

計画排水面積 雨 水 432.60ヘクタール

計画排水量 雨水量 37.000 m^3/S (2,220 m^3/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建(建坪) 369 m^2			
入口阻水扉	油圧開閉式 高 3.24m 巾 2.00m	2	奥村機械	
沈砂池	長 11.5m 巾 5.0m 有効水深 3.67m	2		
揚泥機 搔集機 ろ格機	グラブバケット式 沈砂搔揚用 機械搔上式 高 6.30m 巾 2.16m 目巾 52mm × 2	1 2 2	奥村機械 タ タ	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン直結堅軸型斜流ポンプ 口径 2,000mm 揚水量 8.33 m^3/S 揚程 6.5m 馬力 1,050HP	2	荏原製作所	

(12) 山谷ポンプ所

所 在 地 台東区浅草橋場町3丁目2番地

創 業 昭和29年3月

敷 地 面 積 542.55 m^2 (164.41坪)

設 置 目 的 地盤沈下のため、雨水放流不能となつた荒川区南千住2,3丁目、台東区三の輪町、浅草日本堤4丁目、浅草田中町3丁目、浅草山谷3,4丁目、浅草清川町3丁目、浅草石浜町2,3丁目、浅草橋場2,3丁目方面の雨水を吸揚して荒川に放流する。

計画排水面積 雨水 45.06ヘクタール

計画排水量 雨水量 3.510 m^3/S (210.6 m^3/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延356.96 m^2			
入口阻水扉	高 2m 巾 2.1m 矩形	1	日本燃化機	

種別	形状其他の記述	数量	製作所名	備考	
沈砂池	長巾 有効水深 有効容量	11.0m 4.6m 1.75m 88.6m³	1		
揚泥機	バケツ・エレベーター式	1	守住土木機械		
ろ格	手搔上式 高巾目巾	3.4m 1.95m 25mm	1	タ	
雨水ポンプ	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	700mm 1.05m³/S 43m 100HP	1	電業社
タ	タ	口径 揚水量 揚程 馬力	900mm 1.8m³/S 4.1m 150HP	1	タ
タ	ディーゼルエンジン直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	900mm 1.8m³/S 4.1m 170HP	1	タ

(13) 町屋ポンプ所

所在地	荒川区町屋8丁目21番地の10
創設	昭和30年3月
敷地面積	3,867.6m² (1,172坪)
設置目的	荒川区町屋の大部、尾久町、三河島町等の一部の汚水、雨水および荒川区尾久町の大部、北区昭和町の全部、田端新町、堀船町、上中里町、中里町、田端町等の一部の汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は尾久幹線により三河川処理場へ送る。
計画排水面積	汚水 494.80ヘクタール 雨水 142.58ヘクタール
計画人口	140,000人
計画排水量	晴天時 0.817m³/S (70,600m³/D) 雨水量 11.811m³/S (708.66m³/min)

種別	形状其他の記述	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延1,298.68m²			
入口阻水扉	高巾 2.16m 2.70m	2	安藤鉄工	雨水用
タ	高巾 0.98m 1.40m	1	"	污水用

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
沈 砂 池	長 20.0m 巾 6.0m 有効水深 2.10m 有効容量 252m ³	2		雨 水 用
	長 10.0m 巾 3.0m 有効水深 0.49m 有効容量 14.7m ³	1		污 水 用
揚 泥 機 ろ 格 機	走行式グラブバケツ型	1	関 東 鉄 工	
	機械搔上式 巾 2.90m 高 3.55m 目巾 25mm	4	関 東 鉄 工	雨 水 用
タ	巾 3.00m 高 3.70m 目巾 25mm	1	タ	污 水 用
雨 水 ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 口径 1,100mm 揚水量 2.5m ³ /S 揚程 6.4m 馬力 300HP	2	日 立 製 作 所	
タ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式 口径 1,100mm 揚水量 2.5m ³ /S 揚程 6m 馬力 320HP	1	タ	
汚 水 ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 口径 500mm 揚水量 0.55m ³ /S 揚程 14.5m 馬力 150HP	2	タ	

(14) 地蔵堀ポンプ所

所 在 地 荒川区南千住7丁目122番地

創 業 昭和24年3月

敷地面積 572.42m² (173.46坪)

設置目的 荒川区南千住7丁目及び三河島8丁目附近の汚水及び雨水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は三河島処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 34ヘクタール

雨水 25ヘクタール

計画人口 7,488人

計画揚水量 晴天時 0.027m³/S (2,333m³/D)雨水量 1.0m³/S (60m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室 入口阻水扉	木造建 延81.34m ² 径 1,000mm手動開閉式	1	共栄精機所 文珠興業	
沈 砂 池	長 9.00m 巾 3.00m 有効水深 0.90m 有効容量 24.3m ³	1		

種別	形狀其他	数量	製作所名	備考
ろ ろ 格	手搔上式 高 2.02m 巾 1.4m×2 目巾 30mm	1	タ	
汚水ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 0.05m³/S 揚程 6m 馬力 10HP	1	水野組	
雨水ポンプ	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ 揚水量 0.50m³/S 揚程 4.3m 馬力 54HP	2	荏原製作所	

(15) 千住ポンプ所

所在地	足立区千住曙町61番地
創設	昭和38年4月
敷地面積	5,950.44m² (1,800坪)
設置目的	足立区千住、千住大川町、日の出町、柳原町、千住曙町、千住関屋町、千住橋戸町、他の地域の汚水、雨水並びに千住西ポンプ所より送られてくる汚水を吸揚し、雨水は、綾瀬川に放流、汚水は砂幹線により吾嬬ポンプ所へ送る。
計画排水面積	汚水 410.70ヘクタール 雨水 298.70ヘクタール
計画人口	61,000人
計画揚水量	晴天時 0.306m³/S 雨水量 17.053m³/S (1,023.18m³/min)

種別	形狀其他	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延2,048.10m²			
入口阻水扉	油圧開閉式 高 6.46m 巾 2.45m	4	日立製作所	雨水用
タ	タ 高 2.58m 巾 1.35m	1	タ	污水用
沈砂池	長 20.0m 巾 5.4m 有効水深 2.6m 有効容量 280m³	4		雨水用
タ	長 16m 巾 2.0m 有効水深 0.55m 有効容量 17.6m³	1		污水用
搔集機	ダブルチエーンコンベア式	1	日立製作所	
搔揚機	タ	1	タ	
搬出機	ベルトコンベア式	2	タ	
ろ ろ 格 機	機械搔上式 高 4.3m 巾 2.45m 目巾 45mm	4	タ	雨水用
タ	タ 高 5.4m 巾 2.0m 目巾 15mm	1	タ	污水用

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
雨 水 ポンプ	ディーゼルエンジン直結型斜流ポンプ	口 径 1,200mm 揚水量 3.5m³/S 揚程 5.2m 馬力 375HP	2	日立製作所	
	電動機直結型斜流ポンプ	口 径 1,200mm 揚水量 3.5m³/S 揚程 5.2m 馬力 333HP	1	〃	
汚 水 ポンプ	電動機直結型片吸込式渦巻ポンプ	口 径 350mm 揚水量 0.317 揚程 15m 馬力 100HP	1	〃	

(16) 木場ポンプ所

所 在 地 江東区深川豊住町3丁目2番地

創 設 昭和4年12月

敷 地 面 積 8,906.7m² (2,699坪)

設 置 目 的 江東区南西部即ち白河町、扇橋、木場、平野町、東陽町他の地域の汚水、雨水ならびに三ノ橋、月島各ポンプ所から送られて来る汚水を吸揚し、雨水は十間川に放流し、汚水は木場幹線により砂町処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 1,385.00ヘクタール

雨水 436.30ヘクタール

計画人口 314,000人

計画排水量 晴天時 2.984m³/S (257,800m³/D)

雨水量 17.735m³/S (1,064.10m³/min)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延 2,943.13m²			
	高 巾	3.00m	8	桜田機械	
沈 砂 池	巾	1.80m 矩 形			
	長 巾	18.03m	4		
揚 泥 機	有効水深	5.23m			
	有効用量	5.91m	2	日鍛製作所	
ろ 格 機	門型移動式	557m³	4	米井商店	
	機械搔上式	6.65m			
汚 水 ポンプ	高 巾	1.82m × 2			
	目 巾	25mm	1	荏原製作所	
〃	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 250mm 揚水量 0.11m³/S 揚程 7.0m 馬力 18HP	1	日立製作所	
	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口 径 510mm 揚水量 0.42m³/S 揚程 7.6m 馬力 60HP	1	〃	
〃	〃	口 径 600mm 揚水量 0.70m³/S 揚程 7.8m 馬力 100HP	1		

種別	形状其他	数量	製作所名	備考
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 610mm 揚水量 0.70m³/S 揚程 7.5m 馬力 100HP	1	日立製作所	
	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 810mm 揚水量 1.4m³/S 揚程 7.1m 馬力 180HP	2	タ	
雨水ポンプ	電動機直結横軸型可動羽根式2段軸流ポンプ 口径 1,140mm 揚水量 3.0m³/S 揚程 6.5m 馬力 400HP	2	荏原製作所	
	電動機直結横軸型斜流ポンプ 口径 1,140mm 揚水量 3.0m³/S 揚程 7.5m 馬力 450HP	4	タ	

(17) 月島ポンプ所

所在地 中央区新佃島東町1丁目13番地

創設 昭和30年4月

敷地面積 503.25m² (152.5坪)

設置目的 中央区佃島、新佃島西町、西河岸通、西仲通、月島通、東仲通、東河岸通、晴海町他の汚水を吸揚し月島幹線、三ノ橋幹線等により木場ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 188.00ヘクタール

計画人口 27,000人

計画排水量 晴天時 0.586m³/S (50,600m³/D)

種別	形状其他	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建延350.06m²			
	油圧開閉式 高巾 0.90m 0.80m	1	守住土木機械	
沈砂池	手動開閉式 径 600mm	1	タ	
	長 9.0m 巾 1.5m	1		
ろ格機	有効水深 0.78m 有効容量 10m³			
	機械搔上式 巾高 1.50m 巾目巾 3.40m 巾 25mm	1	土谷製作所	
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 400mm 揚水量 0.33m³/S 揚程 21m 馬力 150HP	1	西島製作所	
	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 300mm 揚水量 0.184m³/S 揚程 21m 馬力 85HP	2	西島製作所	
揚泥機	バケツエレベーター式 1KW	1	土谷製作所	
	バケツコンペー式 2KW	1	タ	
昇降機	ローベット懸垂型 電動ホイスト付 1ton 3KW	1	日本エレベーター	

(18) 越中島ポンプ所

所 在 地 江東区深川越中島町8番地

創 設 昭年30年10月

敷地面積 $808.5m^2$ (245坪)

設置目的 高潮時に江東区深川越中島町一帯の雨水をポンプ吸揚により越中島川に放流する。

計画排水面積 雨水 36.70ヘクタール 計画排水量 雨水量 $2.328m^3/S$ ($139.68m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延 $344.68m^2$			
入口阻水扉	電動開閉式 高巾 $1.40m$ $1.40m$	1	日鍛製作所	
放流阻水扉	タ 高巾 $1.40m$ $1.40m$	1	タ	
沈砂池	長巾 $12.0m$ $4.0m$ 有効水深 $1.26m$ 有効容量 $60.5m^3$	1	タ	
ろ格	手搔上式 高巾 $3.40m$ $4.00m$ 目巾 $30mm$	1	タ	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ 口径 $800mm$ 揚水量 $1.4m^3/S$ 揚程 $4.2m$ 馬力 $130HP$	1	荏原製作所	
タ	電動機直結横軸型斜流ポンプ 口径 $600mm$ 揚水量 $0.78m^3/S$ 揚程 $4.5m$ 馬力 $75HP$	2	タ	

(19) 三ノ橋ポンプ所

所在 地	墨田区豊川町4丁目1番地
創 設	昭和4年7月
敷地面積	4,674.94m ² (1,416.65坪)
設置目的	墨田区南部、即ち亀沢町、錦糸町、江東橋他及び、江東区西北部即ち森下町、高橋、猿江町、他の地域の汚水、雨水ならびに業平橋ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し、雨水は豊川へ放流し、汚水は木場ポンプ所へ送る。
計画排水面積	汚水 724.00ヘクタール 雨水 422.00ヘクタール
計画人口	189,000人
計画排水量	晴天時 1.378m ³ /S (119,000m ³ /D) 雨水量 21.443m ³ /S (1,286.58m ³ /min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延3,034.84m ²			
入口阻水扉	高 3.00m 巾 1.50m 矩 形	8	桜 田 機 械	
沈砂池	長 18.18m 巾 6.06m 有効水深 2.13m 有効容量 234.6m ³	4		
ろ機格	機械搔上式 高 6.06m 巾 1.67m×2 目巾 25mm	4	月 島 機 械	
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 口 径 460mm 揚水量 0.35m ³ /S 渦巻ポンプ 揚程 5.8m 馬力 45HP	2	日 立 製 作 所	
タ	タ 口 径 610mm 揚水量 0.70m ³ /S 揚程 5.3m 馬力 80HP	2	タ	
タ	ディーゼルエンジン直結横軸型斜流ポンプ 口 径 250mm 揚水量 0.16m ³ /S 揚程 4.5m 馬力 20HP	1	タ	
雨水ポンプ	電動歯車掛横軸型両吸込式 口 径 1,140mm 揚水量 2,83m ³ /S 渦巻ポンプ 揚程 3.5m 馬力 180HP	1	荏 原 製 作 所	
タ	電動機直結横軸型両吸込式 口 径 1,140mm 揚水量 2.83m ³ /S 渦巻ポンプ 揚程 5m 馬力 250HP	3	"	
タ	電動機直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ 口 径 1,140mm 揚水量 3.0m ³ /S 揚程 3.5m 馬力 200HP	3	タ	
揚泥機 昇降機	門型移動グラブバケット式 荷 物 用 能 力 1 ton	2 2	日本機械貿易 内外エレベーター	

(20) 業平橋ポンプ所

所在 地 墨田区吾嬬橋3丁目17番地
 創 設 昭和4年7月
 敷地面積 4,435.2m² (1,344坪)
 設置目的 墨田区中部、即ち向島、吾嬬橋、東駒形の地域の汚水、雨水を吸揚し、雨水は北十間川に放流し、汚水は業平橋幹線により、三ノ橋ポンプ所へ送る。
 計画排水面積 汚水 302.00ヘクタール
 雨水 302.00ヘクタール
 計画人口 83,000人
 計画排水量 晴天時 0.528m³/S (45,600m³/D)
 雨水量 12.228m³/S (733.68m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延2,544.76m ²			
入口阻水扉	高 2.44m 巾 1.52m 矩 形	8	安治川鉄工所	
池 砂 池	長 18.28m 巾 4.55m 有効水深 3.73m 有効容量 308.5m ³	4		
揚 泥 機	バケツエレベーター式	2	米 井 商 店	
ろ 格 機	機械搔上式 高 5.44m 巾 1.67m×2 目巾 25mm	4	桜 田 機 械	
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 口 径 500mm 渦巻ポンプ 揚水量 0.5m ³ /S 揚程 6.4m 馬力 60HP	1	日 立 製 作 所	
	口 径 510mm 揚水量 0.45m ³ /S 揚程 5.8m 馬力 55HP	2	〃	
	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式 口 径 300mm 渦巻ポンプ 揚水量 0.183m ³ /S 揚程 6.5m 馬力 27HP	1	電 業 社	
雨水ポンプ	電動歯車掛横軸型両吸込式 口 径 1,140mm 渦巻ポンプ 揚水量 2.83m ³ /S 揚程 3.2m 馬力 170HP	1	荏 原 製 作 所	
	電動機直結横軸型両吸込式 口 径 1,140mm 渦巻ポンプ 揚水量 2.83m ³ /S 揚程 4.0m 馬力 230HP	2	〃	
	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ 口 径 1,140mm 揚水量 3.00m ³ /S 揚程 3.0m 馬力 180HP	3	〃	
捲 揚 機	傾斜路型	1 ton	内外エレベーター	

(21) 砂町ポンプ所

所 在 地 江東区南砂町5丁目1番地
 創 設 昭和35年4月
 敷地面積 $8,785m^2$ (2,657.52坪)
 設置目的 砂町系統のうち、砂町排水区（江東区の半分）の汚水、雨水を吸揚し東京湾に放流する。
 将来、汚水は大島ポンプ所より来る汚水をあわせ砂町処理場に送る計画である。
 計画排水面積 汚水 $2,238.57\text{ヘクタール}$
 雨水 488.86ヘクタール
 計画人口 462,000人
 計画排水量 晴天時 $3.573m^3/S$ ($308,700m^3/D$)
 雨水量 $25.482m^3/S$ ($1,528.92m^3/\text{min}$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延 $2,295.26m^2$			
入口阻水扉	高巾 $1.80m$ $2.00m$	1	久保田鉄工	汚水用
沈砂池	高巾 $1.80m$ $2.95m$	4	〃	雨水用
ろ格機	長巾 $20.00m$ $3.00m$ 有効水深 $1.80m$ 有効容量 $108.0m^3$	1		汚水用
雨水ポンプ	長巾 $20.00m$ $4.50m$ 有効水深 $2.77m$ 有効容量 $249.3m^3$	4		雨水用
スキツブホイスト	機械搔上式 高巾 $5.1m$ $2.0m$ 目巾 $25mm$	8	桜田機械	雨水用
篩渣用脱水機	電動巻上式 高巾 $6.1m$ $3.0m$ 目巾 $25mm$	1	〃	汚水用
揚泥機	ディーゼルエンジン歯車掛け 揚水量 $3.33m^3/S$	2	荏原製作所	
砂洗機	豎軸吸斜流ポンプ 揚程 $9m$ 馬力 $600HP$			
高架ホッパー	グラブバケット式	3	〃	
篩渣用破碎機	バケットコンベア式	1	〃	
	油圧閉閉式 容量 $5.6m^3$	1	〃	
	スイングハンマー式 处理能力 $3m^3/h$	1	〃	

(22) 吾嬬ポンプ所

所在 地 墨田区吾嬬町東5丁目35番地

創 設 昭和16年3月

敷 地 面 積 5,890.5m² (1,785坪)

設 置 目 的 墨田区隅田町の一部、寺島町の大部、吾嬬町の全域の汚水、雨水を吸揚し、雨水は中川に放流する。将来は千住、隅田各ポンプ所より送られてくる汚水を吸揚し、砂幹線により大島ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 1,005.60ヘクタール

雨水 402.90ヘクタール

計画人口 224,000人

計画排水量 晴天時 1.314m³/S (113,500m³/D)雨水量 23.001m³/S (1,380.06m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延855.55m ²			
入口阻水扉	高巾 3.50m 2.00m 矩形	4	久保田鉄工	雨 水 用
タ	高巾 1.20m 2.00m タ	1		汚 水 用
沈砂池	長巾 18.00m 5.60m 2.96m 有効水深 有効容量 298.0m ³	4		
揚泥機	移動式	1	守住土木機械	
ろ格機	機械搔上式 高巾 5.267m 目巾 2.15m×2 40mm	2	浦賀船渠	雨 水 用
タ	タ 高巾 2.11m 目巾 2.1m×2 21mm	1		汚 水 用
タ	タ 高巾 5m 目巾 2.0m×2 25mm	2	東興造機	雨 水 用
篩渣脱水装置	圧縮式	1	東興造機	
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 650mm 揚水量 0.5m ³ /S 揚程 9m 馬力 100HP	2	五十嵐鉄工所 荏原製作所	
タ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 350mm 揚水量 0.27m ³ /S 揚程 10m 馬力 60HP	1	タ	
雨水ポンプ	電動機直結縦軸型可動羽根式軸流ポンプ 口径 1,600mm 揚水量 5.5m ³ /S 揚程 5.7m 馬力 600HP	2	タ	

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
雨水ポンプ	電動機直結型 軸型斜流ポンプ	口径 1,600mm 揚水量 5.5m³/S 揚程 7m 馬力 700HP	2	荏原製作所	
タ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口径 1,000mm 揚水量 2.3m³/S 揚程 7m 馬力 340HP	1	タ	
送泥ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 150mm 揚水量 0.024m³/S 揚程 26.5m 馬力 27HP	2	タ	
ホイスト 高架ホッパー	荷物用 油圧開閉式	能力 2ton 容量 3m³	1 1	日立製作所 三興工業	

(23) 小松川ポンプ所

所在地	江戸川区平井1丁目2,185番地
創設	昭和37年4月
敷地面積	4,662m² (1,410坪)
設置目的	墨田区吾嬬町の一部及び江戸川区平井、逆井、小松川等の汚水、雨水を吸揚し、雨水は中川へ放流する。将来汚水は小松川幹線、砂幹線により大島ポンプ所へ送水する。
計画排水面積	汚水 274.33ヘクタール 雨水 274.33ヘクタール
計画人口	37,000人
計画排水量	晴天時 0.273m³/S (23,600m³/D) 雨水量 21.826m³/S (1,309.56m³/min)

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延2,295.26m²			
入口阻水扉	油圧開閉式	高巾 1.0m 1.0m	1	桜田機械	污水用
タ	タ	高巾 3.25m 1.6m	4	タ	雨水用
沈砂池	長巾	12.0m 1.8m	1		污水用
	有効水深	0.7m			
	有効容量	15.1m³			
タ	長巾	20.0m 4.5m	4		雨水用
	有効水深	2.7m			
	有効容量	240m³			
揚泥機	走行ジブクレーン式		1	桜田機械	
ろ格機	機械搔上式	高巾 5.8m 1.5m 目巾 25mm	1	タ	污水用

種別	形状	其他の仕様	数量	製作所名	備考
ろ格機	機械挿上式	高巾 5.5m 目巾 1.75m×2 25mm	4	桜田機械	雨水用
スキツブト 高架ホツバー	電動巻上式	7.5HP	1	タ	
篩渣破碎機	油圧開閉式	容量 6m³×2	1	タ	
タ脱水機	スイングハンマー式	処理能力3m³/h	1	三菱化工機	
砂洗機		タ 0.04m³/m	1	タ	
污水ポンプ		タ 3m³/h	1	タ	
雨水ポンプ	電動機直結型 軸型渦巻ポンプ	口径 350mm 揚水量 0.25m³/S 揚程 15m 馬力 80HP	1	日立製作所	
	ディーゼルエンジン歯車掛 豎軸斜流ポンプ	口径 1,400mm 揚水量 4,33m³/S 揚程 8m 馬力 700HP	2	タ	

(24) 隅田ポンプ所

所在地 墨田区隅田町1丁目1,479番地

創設 昭和38年4月

敷地面積 6,180.7m² (1,869.66坪)

設置目的 墨田区隅田町大部、寺島町の一部よりの汚水、雨水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は砂幹線により吾嬬ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 192.00ヘクタール

雨水 192.00ヘクタール

計画人口 53,000人

計画排水量 晴天時 0.331m³/S (28,598m³/D)

雨水量 16.120m³/S (967.20m³/min)

種別	形状	其他の仕様	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延1,694m²			
入口阻水扉	油圧開閉式	高巾 3.60m 2.25m	4	田原製作所 日立金属所属	雨水用
タ	タ	高巾 1.00m 1.35m	1	タ	污水用
沈砂池	長巾	20m 5m	4		雨水用
	有効水深	2.6m			
	有効容量	260m³			
タ	長巾	16m 1.5m	1		污水用
	有効水深	0.54m			
	有効容量	13m³			

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
揚 泥 機	走行ジブクレーン式	1	日立製作所	
ろ 格 機	機械搔上式 高 5.00m 巾 2.25m 目巾 45mm	4	日立金属	雨 水 用
タ	タ 高 5.8m 巾 1.5m 目巾 15mm	1	タ	汚 水 用
雨 水 ポンプ	ディーゼルエンジン歯車掛 豎軸型斜流ポンプ 口 径 1,200mm 揚水量 3.33m³/S 揚 程 8m 馬 力 550HP	1	電 業 社	
汚 水 ポンプ	電動機直結豎軸型片吸込式 渦巻ポンプ 口 径 350mm 揚水量 0.32m³/S 揚 程 12.5m 馬 力 80HP	1	タ	

第 3 節 処 理 場

(1) 芝浦処理場

所 在 地	港区芝高浜町2番地
創 設	昭和6年3月
敷 地 面 積	171,976.3m² (51,811坪)
設 置 目 的	本都区部のうち、港区の全部及び千代田、中央、新宿、渋谷の各区の大部ならびに文京、品川、目黒、世田谷、豊島の各区の一部等の地域から流集する下水を処理し、東京湾に放流する、なお発生する汚泥は汚泥処理工場で処理し、将来は一部を森ヶ崎処理場に送つて処理する。
計画処理面積	6,328ヘクタール
計画処理人口	1,030,000人
計画処理水量	晴天時 1,020,000m³/D
現有処理能力	タ 766,000m³/D

処理能力最近5年間の推移

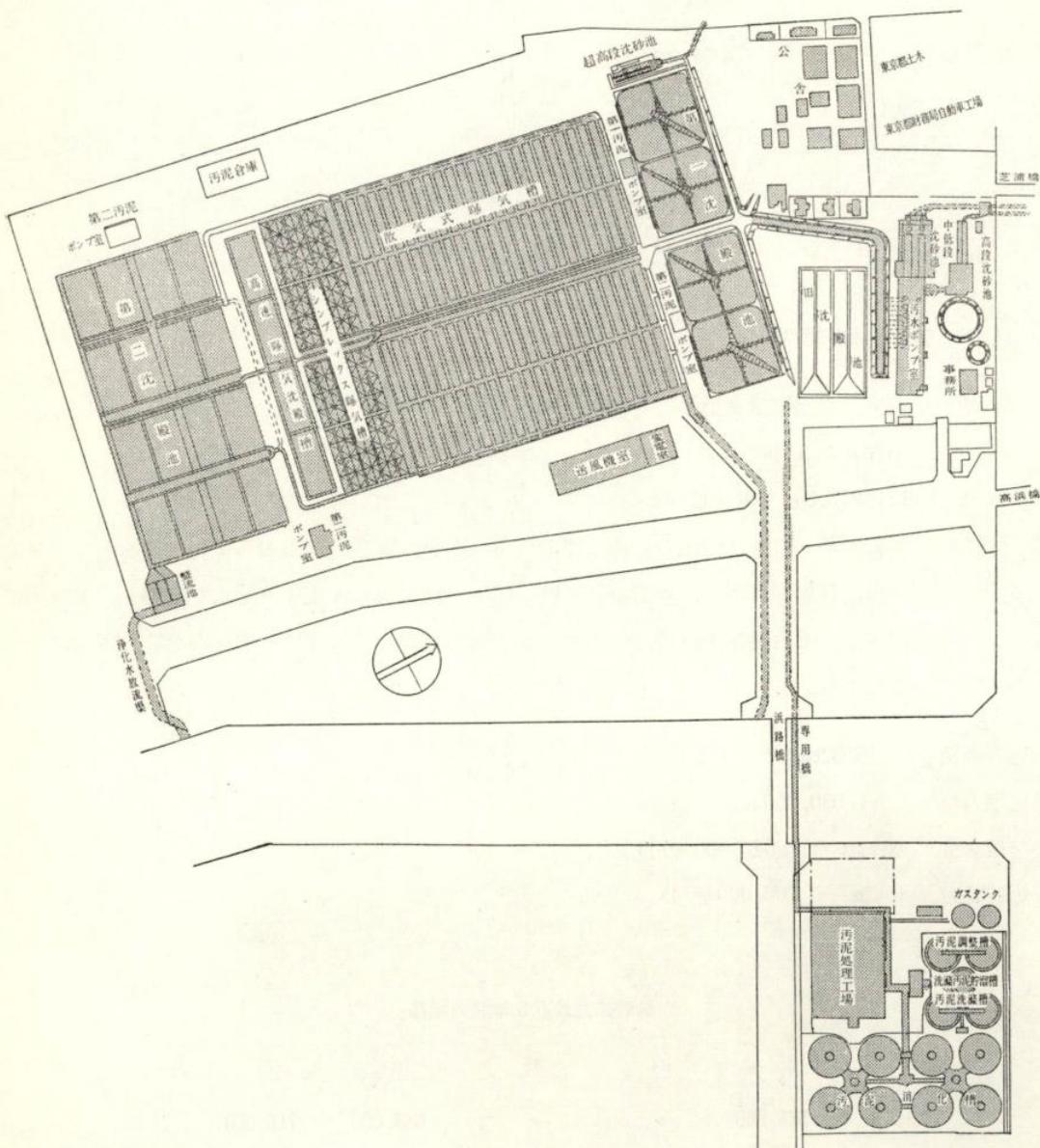
33	34	35	36	37
m³/D 539,800	タ	タ	633,000	766,000

事務所	木造建	延 295.35m ²
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延2,292.345m ²
送風機室	鉄筋コンクリート建	延 874.14m ²
汚泥処理工場上家	鉄筋コンクリート建	延 3,039.40m ²

芝浦処理場平面図

完成部分

38. 3. 31 現在



種別	形状	其 他	数量	製作所名	備考	
伏越阻水扉	巾高	1.67m 1.82m 馬蹄形	3	中山貫一商店		
入口阻水扉	電動開閉機	巾高	1.8m 1.5m	2	石井鉄工所	超高段用
沈砂池	長 巾 有効水深 有効容量	15m 3m 1.72m 77.4m³	2		タ	
搔泥機 ろ格機	バケツエレベーター式 機械搔上式	高 巾 目	2.82m 1.25m×2 25mm	2 2	石井鉄工所 タ	タ タ
沈砂池	長 巾 有効水深 有効容量	30.00m 2.40m 1.85m 105m³	2		高段用	
搔泥機 揚泥機 ろ格機	リンクベルト式 固定式 機械搔上式	高 巾 目	4.0m 2.4m×2 25mm	2 2 2	大塚工場 タ 江戸川機械	タ タ タ
入口阻水扉	巾高 巾高 巾高 巾高	2.5m 1.4m 矩形 0.95m 1.40m 矩形 1.83m 2.44m 矩形	1 2 2	関機械製作所 江戸川機械 日立製作所	タ タ 中低段用	
沈砂池	長 巾 有効水深 有効容量	19.08m 6.06m 1.79m 200m³	2		タ	
揚泥機 汚泥搬出機 ろ格機	移動式 テルハ一型 機械搔上式	1ton	2 1 2	タ 日本エレベーター 日立製作所	タ タ タ	
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	410mm 0.28m³/S 5m 30HP	2	タ	高段用
	タ	口径 揚水量 揚程 馬力	610mm 0.73m³/S 5m 70HP	1	タ	タ
	タ	口径 揚水量 揚程 馬力	810mm 1.40m³/S 5.0m 130HP	1	タ	タ
	タ	口径 揚水量 揚程 馬力	610mm 0.555m³/S 7m 70HP	2	タ	中低段用
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	700mm 1.00m³/S 7m 130HP	2	タ	タ

種別	形状	其 他	数量	製作所名	備考
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口径 810mm 揚水量 1.11m³/S 揚程 7m 馬力 130	1	日立製作所	中低段用
〃	〃	口径 920mm 揚水量 2m³/S 揚程 7m 馬力 240HP	3	西島製作所 日立製作所	〃
第1沈澱池	長 巾 有効水深 有効容量	45.72m 45.72m 3.66m 7,650m³	4		
擣集機	ドル式	45.72m 隔丸方形刃	4		
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型ブレードレスポンプ	口径 200mm 揚水量 0.083m³/S 揚程 29m 馬力 80HP	6	東洋バブコツクアンドリユース商会 日立製作所	第1沈澱池用
曝気槽 (シンプレツクス式)	長 巾 有効水深 有効容量	81.20m 9.80m 5.60m 4,150m³	8		
曝気機	シンプレツクス式		8	関機械製作所	
曝気槽 (散気式)	長 巾 有効水深 有効容量	80.00m × 4回路 6.70m 4.10m 8,000m³	10	三井物産機械部 三井建設	
送風機	電動機直結横軸型ターボブロワー	口径 450mm 風量 4.17m³/S 段圧 5段 馬力 5.3mag 450HP	12	荏原製作所	
第2沈澱池	長 巾 有効水深 有効容量	40.00m 20.00m 4.40m 3,520m³	14		
採泥機	走行構架サイホン式		16		
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口径 500mm 揚水量 0.53m³/S 揚程 6m 馬力 60HP	3	桜田機械所 安藤鉄工所 関機械製作所 日立製作所	第2沈澱池用
〃	電動機直結堅軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 500mm 揚水量 0.55m³/S 揚程 7.6m 馬力 78HP	3	久保田鉄工	
高速曝気沈澱槽	長 巾 有効水深	40.00m 16.00m 4.9m	2	エバライン フィルコ	
高速曝気槽用 汚泥ポンプ	電動機直結堅型	口径 160mm 揚水量 0.033m³/S 揚程 15m 馬力 20HP	2	荏原製作所	
汚泥槽	径 有効水深 有効容量	22.00m 4.56m 1,540m³	2		
〃	径 有効水深 有効容量	14.55m 3.64m 500m³	1		
減菌機	磯村式MSV型真空減菌機 5.6kg/h		8	磯村産業	
〃	D.V.G.型真空減菌機 6kg/h		1	水道機工	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
濃 縮 槽	内 径 20.00m 有効水深 4.2m 有効容量 1,530m ³	2		汚泥処理工場用
濃縮槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 口径 160mm 揚水量 0.042m ³ /S 揚程 20m 馬力 28HP	2	荏原製作所	タ
貯 留 槽	内 径 15m 有効深さ 3.5m 有効容量 630m ³	1		汚泥処理工場用
貯留槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 口径 180mm 揚水量 0.06m ³ /S 揚程 14m 馬力 28HP	2	荏原製作所	タ
洗 滌 槽	内 径 20m 有効深さ 3m 有効容量 940m ³	2		タ
洗滌槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 口径 130mm 揚水量 0.03m ³ /S 揚程 6m 馬力 21HP	2	荏原製作所	タ
消 化 槽	内 径 25m 有効深さ 9m 有効容量 4,500m ³	8		
汚泥循環ポンプ	電動機直結横軸型ブレードレスポンプ 口径 160mm 揚水量 0.042m ³ /S 揚程 12m 馬力 20HP	8	荏原製作所	タ
ボイラー	三胴水管式 圧 力 25m Aq 出 力 1,583,000kcal/h 伝熱面積 140m ²	3	安藤鉄工所	タ
温水循環ポンプ	電動機直結横軸型渦巻ポンプ 口径 160mm 揚水量 0.052m ³ /S 揚程 14.5m 馬力 15HP	3	荏原製作所	タ
熱 交 換 器	二重管式 出 力 920,000 kcal/h 圧 力 1.5kg/cm ²	8	安藤鉄工所	タ
薬品熔解槽	辺 2.5×2.5m 有効深さ 3m 有効容量 20m ³	2		タ
汚泥混和槽	辺 2.0×2.0m 有効深さ 2m 有効容量 8m ³	2		タ
消石灰ホツパー	容 量 4m ³	1	大成鉄工	タ
真 空 ろ過 機	連続回転式円筒型 ろ過面積 32m ² 馬 力 3HP	12	エバラインフィルコ	タ
ケー キ ホツパー	手動開口式 容量 5m ³	4	大成鉄工	タ
真 空 ポンプ	電動機ベルト 掛横型水冷ブレート弁式 容量 1.09m ³ /S 真空度 600mmHg 馬力 100HP	6	三國重工	タ
空 気 圧 縮 機	電動機ベルト 掛堅型1段式 容量 0.27m ³ /S 圧 力 2kg/cm ² 馬 力 100HP	3	タ	タ
ガスプロワー	電動機直結片吸込式2段ターボプロワー 口径 160mm 容 量 24m ³ /m 圧 力 550mmAq 馬 力 7.5HP	2	荏原製作所	タ

種別	形状	其 他	数量	製作所名	備考
ガスコンプレッサー	電動機ベルト掛 横型水冷单氣筒 複動1段式	容量 16.1 m^3/m 圧力 5Kg/cm ² 馬力 100HP	2	大都工業	汚泥処理工場用
脱硫器	乾式	容量 30,000 m^3/D	1	石井鉄工	タ
ガスタンク	球形	直径 13.15m 容量 1,300 m^3 圧力 5kg/cm ²	1	タ	タ



(2) 三河島処理場

所在 地	荒川区荒川8丁目25番地
創 設	大正12年3月
敷地面積	184,571.64 m^2 (55,932.25坪)
設置目的	本都区部のうち、台東、荒川両区の全部及び文京、豊島両区の大部ならびに千代田、新宿、北各区の一部等の地域から流集する下水を処理して荒川へ放流する。なお発生する汚泥は全部を砂町処理場へ送つて処理する。
計画処理面積	3,936ヘクタール
計画処理人口	1,120,000人
計画処理水量	晴天時 520,000 m^3/D
現有処理能力	タ 223,000 m^3/D

処理能力最近5年間の推移

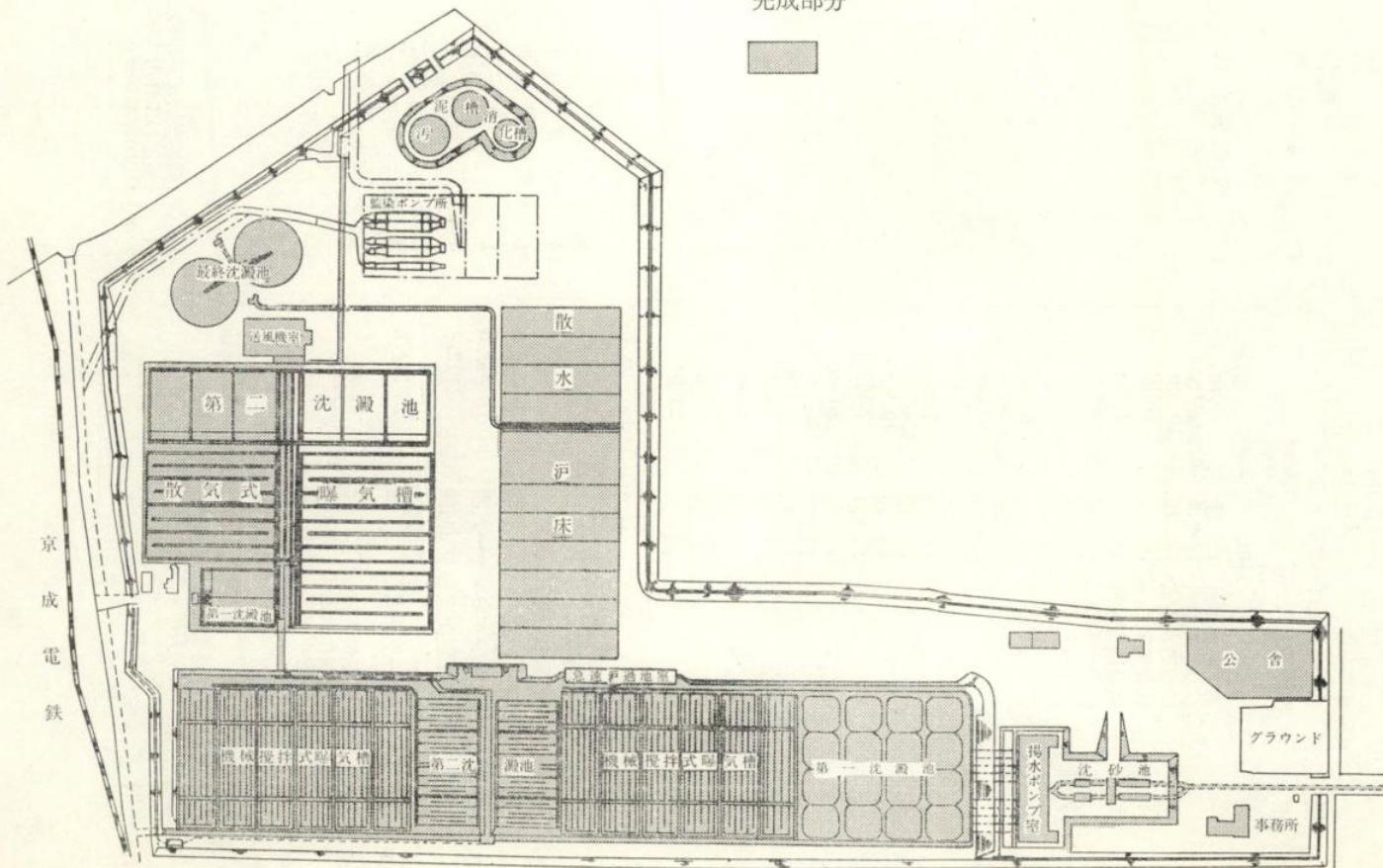
33	34	35	36	37
m^3/d 165,000	タ	タ	267,400	223,000

三河島処理現場計画一般

38. 3. 31 現在

事務所	鉄筋コンクリート建	延395.27m ²
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延1,445.73m ²
送風機上室	鉄筋コンクリート建	延2,255.74m ²

完成部分



種別	形	其	状	他	数量	製作所名	備考
入口阻水扉	巾高	2.10m 1.80m	馬蹄形	2	みのくち式機械事務所		
沈砂池	長	19.70m 5.45m		2			
	巾	1.21m					
	有効水深						
	有効容量	117.3m³					
揚泥機	チエーン走行バケツスクレッパー式			2	江戸川機械		
ろ	機械搔上式	高巾目巾	3.64m 2.00m×2 25mm	4	東興造機		
汚水ポンプ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式	口径 揚水量 揚程 馬力	410mm 0.28m³/S 10.5m 75HP	1	荏原製作所		
〃	渦巻ポンプ						
〃	電動機直結横軸型両吸込式	口径 揚水量 揚程 馬力	410mm 0.28m³/S 10.5m 65HP	1	〃		
〃	渦巻ポンプ						
〃	〃	口径 揚水量 揚程 馬力	560mm 0.56m³/S 10.3m 120HP	3	〃		
〃	〃	口径 揚水量 揚程 馬力	760mm 1.11m³/S 10.2m 230HP	3	〃		
〃	〃	口径 揚水量 揚程 馬力	800mm 1.14m³/S 10.2m 230HP	1	〃		
〃	〃	口径 揚水量 揚程 馬力	800mm 1.41m³/S 10.5m 250HP	1	〃		
第1沈澱池	長	84.00m		4			
	巾	21.21m					
	有効水深	2.90m					
	有効容量	4,440m³					
搔集機	星型中心運転式			16	浦賀船渠		
洗砂機	攪拌式	能力	3-5m³/h	1	五十嵐鉄工		
破碎機	スイングハンマー式	能力	3m³/h	1	〃		
ホツツバー	油圧閉鎖式	能力	12m³	3	江戸川機械工		
脱水機	ローラー式	能力	2-3m³/h	1	三菱化工		
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式	口径 揚水量 揚程 馬力	300mm 0.056m³/S 22m 50HP	2	荏原製作所		
曝気槽 (パドル式)	長	84.75m		12			
	巾	21.20m					
	有効水深	1.50m					
	有効容量	2,400m³					
攪拌機	パドル式			24	岡谷鋼機江戸川機械 油谷工作所大塚工場青木ロール		第1沈澱池用

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
第 2 沈澱池	長 33.00m 巾 18.00m 有効水深 3.7m 有効容量 2,190m³	8		
採泥機	走行構桁型サイホン式	8	油谷工作所	
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 0.2m³/S 揚程 4.5m 馬力 20HP	4	荏原製作所	第2沈澱池用
ろ 床	長 66.67m 巾 30.30m ろ材深さ 1.49~1.60m ろ床面積 2,020m²	12		
散水機	ハートレー式	24		散水ろ床用
最終沈澱池	内径 36.0m 有効深さ 3.2m 有効容量 3,260m³	2		
搔集機	星型中心運転式 2本アーム	2	桜田機械	
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 0.04m³/S 揚程 15m 馬力 20HP	2	荏原製作所	最終沈澱池用
減菌機	D. V. G 真空式 6kg/h	3	水道機工	
汚泥槽	径 21.82m 有効深さ 4.09m 有効容量 1,000m³	2		
消化槽	内径 15m 有効深さ 4.5m 有効容量 1,000m³	1		
ガスタンク	直径 10m 高 4.0m 容量 310m³	1		
吐口ポンプ	電動機直結横軸固定羽根式 揚水量 1.38m³/S 揚程 3m 馬力 100HP	1	荏原製作所	
タ	電動機直結横軸型斜流ポンプ 揚水量 1.07m³/S 揚程 4m 馬力 80HP	1	タ	
タ	電動機直結横軸固定径根式 軸流ポンプ 揚水量 0.5m³/S 揚程 3m 馬力 40HP	1	タ	
送泥ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 0.024m³/S 揚程 26.5m 馬力 27HP	2	タ	
第 1 沈澱池	長 40m 巾 16m 有効水深 3m 有効容量 1,920m³	2		尾久幹線用
搔集機	リンクベルト式 主コレクター 長 83.6m グロスコレクター 長 32.5m	2	日立金属	タ
汚泥ポンプ	電動機直結豎型ブレードレスポンプ 揚水量 0.033m³/S 揚程 7m 馬力 10HP	2	電業社	タ

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考	
曝 気 槽 (散 気 式)	長 巾 有効水深 有効容量	75m×4回路 7.35m 4.20m 9,260m ³	2		尾久幹線用
送 風 機	電動機直結横 軸型ターボブ ロアー	口 径 450mm 風 段 4.17m ³ /S 圧 馬 5段 力 力 5.2mAq 馬 力 440HP	3	日立製作所	〃
第 2 池 濬 池	長 巾 有効水深 有効容量	40m 24m 3.5m 3,360m ³	3		〃
搔 泥 機	リンクベルト式 主コレクター クロスコレクター	長 78m 長 27m	3	日立金属機械	〃
汚 泥 ポンプ	電動機直結豎 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 300mm 揚水量 0.2m ³ /S 揚馬力 8m 馬力 40HP	3	電業社	〃

(3) 砂町処理場

所 在 地 江東区南砂町9丁目2,473番地

創 設 昭和5年2月

敷 地 面 積 247,500m² (75,000坪)

設 置 目 的 本都区部のうち、墨田、江東両区の全部及び中央、足立、江戸川各区の一部等の地域から流集する下水を処理して東京湾に放流する。なお発生する汚泥は三河島処理場より送られて来る汚泥と併せて処理する。

計画処理面積 3,977ヘクタール

計画処理人口 840,000人

計画処理水量 晴天時 630,000m³/D現有処理能力 〃 300,000m³/D

処理能力最近5年間の推移

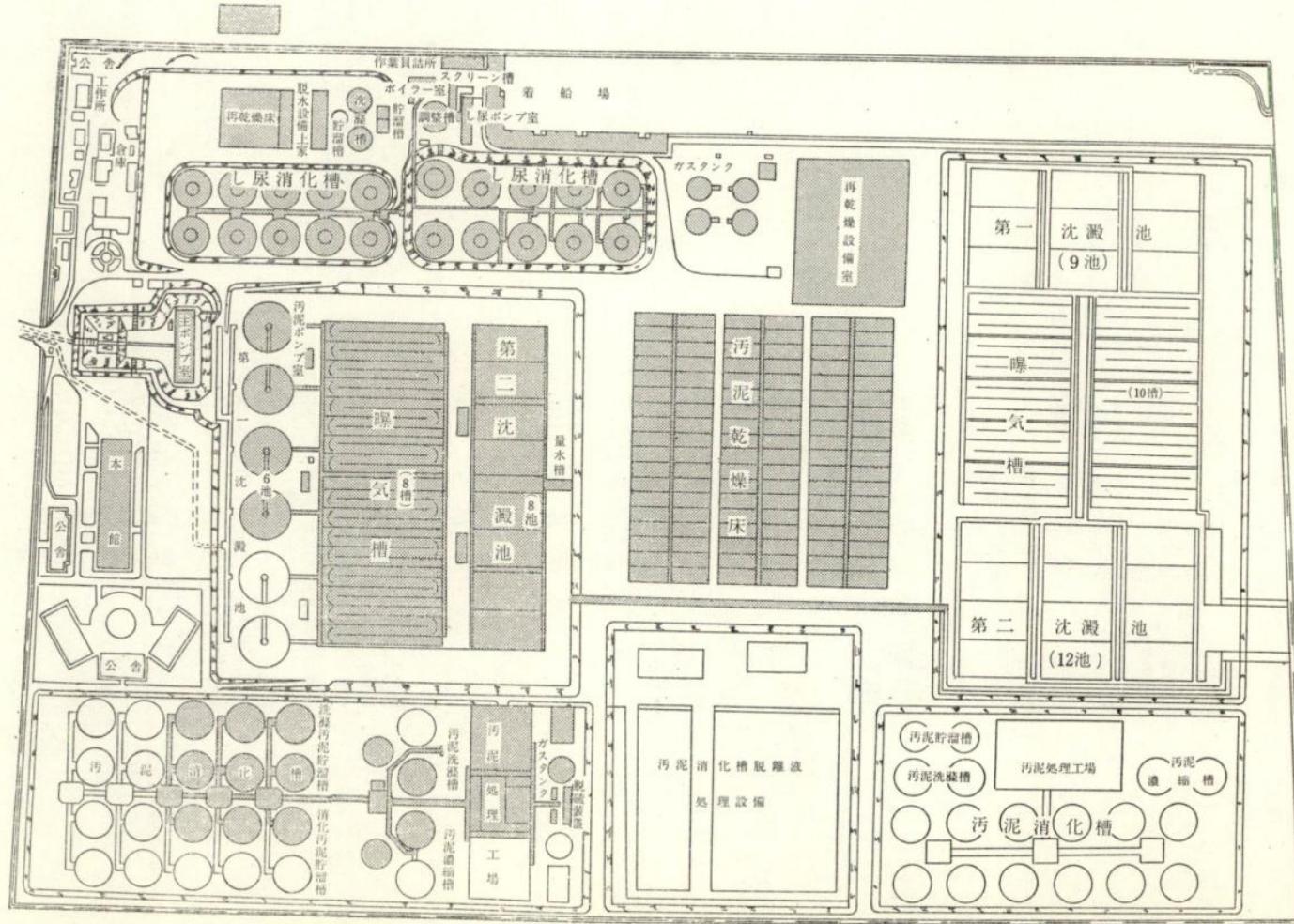
33	34	35	36	37
m ³ /d 178,800	〃	〃	225,000	300,000

事 務 所 鉄筋コンクリート建 延2,013.52m²ポンプ室 鉄筋コンクリート建 延 750.42m²送 風 機 室 鉄筋コンクリート建 延3,167.06m²汚泥処理工場上家 鉄筋コンクリート建 延 336m²

砂町処理場計画一般図

38. 3. 31 現在

完成部分



種別	形状	其 他	数量	製作所名	備考
人口阻水扉	巾高	1.80m 1.80m	2	電業社原動機	
ろ格機	機械撞上式	高巾目巾	3.1m 2.42m 40mm	2	三機工業
汚水ポンプ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	410mm 0.27m³/S 13m 70HP	1	西島製作所
タ	タ	口径 揚水量 揚程 馬力	800mm 1.40m³/S 13m 335HP	4	タ
第1沈澱池	直径 有効水深 有効容量	36.0m 3.7m 3,766m³	4		
搔集機	十字型中心運転式		4	江戸川機械木守住土	
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	160mm 0.035m³/S 5.0m 6.7HP	3	荏原製作所
タ	電動機直結横軸型片吸込式フレードレスポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	200mm 0.041m³/S 5m 14.8HP	3	タ
曝氣槽(散気式)	長巾 有効水深 有効容量	80m×4 6.30m 4.80m 9,677m³	6		
送風機	電動機直結横軸型片吸込式ターボプロア	口径 容量 段数 圧力 馬力	400mm 4.17m³/S 5段 5.3mAq 440HP	3	石川島重工業
タ	タ	口径 容量 段数 馬力	450mm 5.00m³/S 5段 533HP	3	荏原製作所
第2沈澱池	長巾 有効水深 有効容量	45m 25m 3.80m 4,275m³	6		
搔泥機	リンクベルト式 主コレクター クロスコレクター	長 長	83m 25m	6	日立金属
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	350mm 0.25m³/S 4.5m 25HP	3	日立製作所
タ	タ	口径 揚水量 揚程 馬力	350mm 0.375m³/S 4.5m 34HP	2	タ
タ	電動機直結横軸型片吸込式フレードレスポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	250mm 0.125m³/S 4.5m 20HP	1	タ

種別	形状 其 他	数量	製作所名	備考
減菌機	磯村式真空スーパー減菌機 20kg/h	1	磯村産業	
濃縮槽	内径 有効水深 有効容量 25m 4.5m 2,200m³	4 2	〃	汚泥処理工場用
濃縮槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 揚程 馬力 160mm 0.042m³/S 20m 30HP	3	電業社	〃
消化槽	内径 有効水深 有効容量 25m 9.5m 3,300m³	8		〃
汚泥循環ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 揚程 馬力 130mm 0.028m³/S 14m 15HP	8	安藤鉄工	〃
貯留槽	内径 有効水深 有効容量 18m 3.7m 910m³	1		〃
貯留槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 揚程 馬力 160mm 0.042m³/S 16m 25HP	3	電業社	〃
洗滌槽	内径 有効水深 有効容量 25m 3.5m 1,720m³	2		〃
洗滌槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 揚程 馬力 160mm 0.042m³/S 7.5m 10HP	3	電業社	〃
ボイラー	三胴水管式 圧力 出力 伝熱面積 2.5kg/cm² 5.5t/h 170m²	1	安藤鉄工	〃
温水循環ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 揚程 馬力 150mm 0.05m³/S 14m 15HP	1	日立製作所	〃
熱交換器	二重管式 出力 圧力 400,000kcal/h 1.5kg/cm²	8	安藤鉄工	〃
薬品熔解槽	有効容量 22m³	2		
汚泥混和槽	〃 16m³	1		
真空ろ過機	連続回転式多室型 ろ過面積 馬力 32m² 5HP	12	三菱化工機	〃
真空ポンプ	電動機ベルト掛横型往復式 容量 真空度 馬力 1.08m³/S 600mmHg 100HP	6	宇野沢鉄工所	〃
空気圧縮機	電動機ベルト掛横型水冷式 容量 圧力 馬力 0.3m³/S 3kg/cm² 100HP	3	〃	〃
ガスブロワー	電動機直結ターボブロワー 口径 容量 圧力 馬力 160mm 0.4m³/S 600mmAq 7.4HP	2	荏原製作所	〃
ガス圧縮機	電動機ベルト掛横型水冷式 容量 圧力 馬力 0.2m³/S 5kg/cm² 80HP	2	大都工業	〃
脱硫器	乾式 60m³	1	石川島重工業	〃

種別	形状	其 他	数量	製作所名	備考
ガスタンク	球形	直 径 容 量 压 力	15m 1,770m ³ 5kg/cm ²	1	石川島重工業 汚泥処理工場用

(4) 小台処理場

所在地	足立区宮城町24番地
創設	昭和37年4月
敷地面積	84,610m ² (25,640坪)
設置目的	本都区部のうち、北、板橋両区の大部及び新宿、豊島、練馬、足立の各区の一部等の地域から流集する下水を処理して荒川へ放流する。なお、発生する汚泥は、落合処理場より送られて来る汚泥と併せて処理する。
計画処理面積	4,552ヘクタール
計画処理人口	970,000人
計画処理水量	(晴天時) 420,000m ³ /D
現有処理能力	(晴天時) 100,000m ³ /D

処理能力最近5年間の推移

33	34	35	36	37
—	—	—	m ³ /d 100,000	100,000

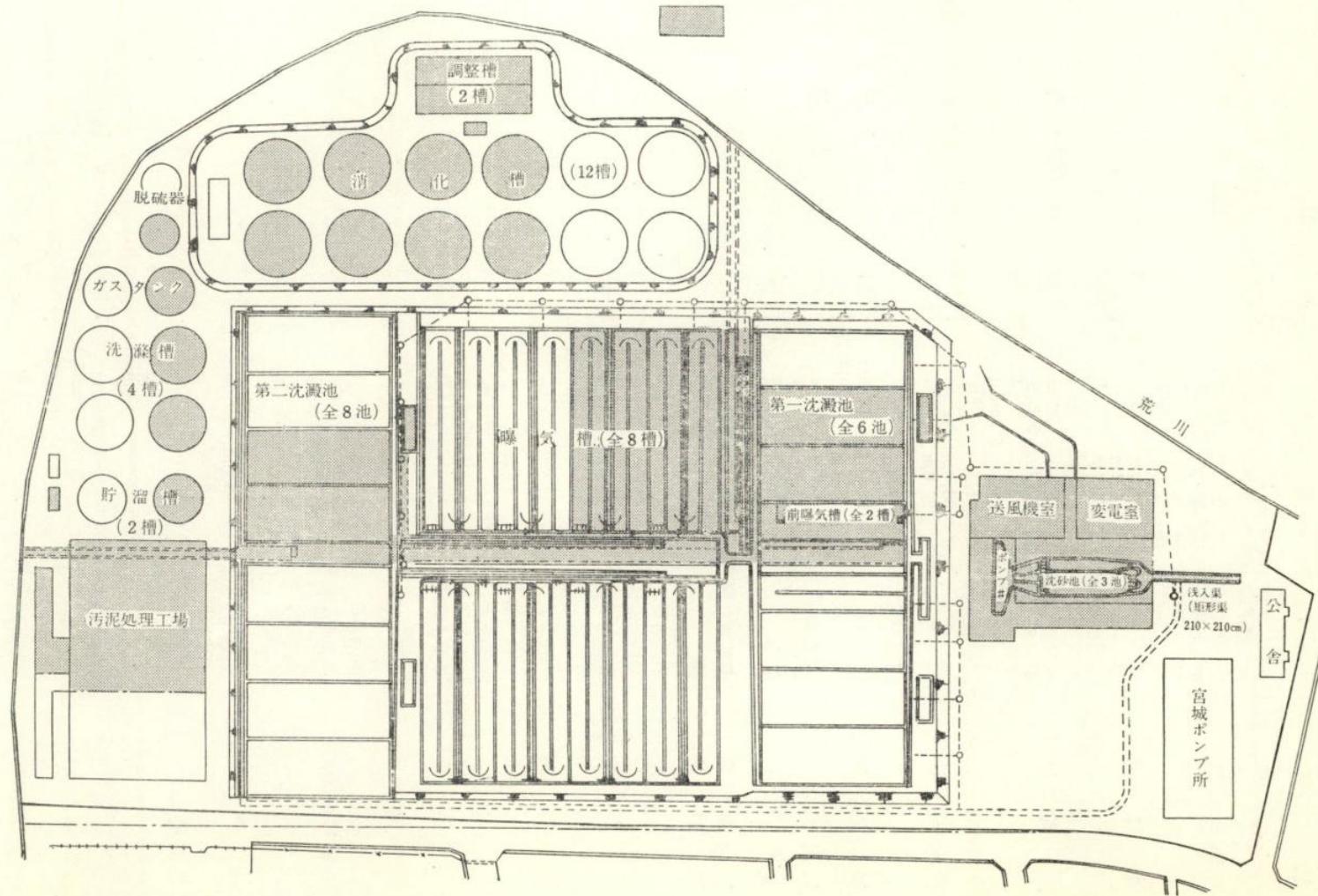
本館 鉄筋コンクリート建 延6,103.m²
 ポンプ室 鉄筋コンクリート建 延3,580.80m²
 汚泥処理工場 鉄筋コンクリート建 延5,917m²

種別	形状	其 他	数量	製作所名	備考
入口阻水扉	油圧開閉式	矩形型 高 巾 2.0m 1.8m	3	桜田機械	
沈砂池	辺 有効深さ 有効容量	高 20.0m×巾4.0m 2.9m 232m ³	3		
揚泥機	固定式		3	桜田機械	
洗砂機		処理能力 3m ³ /h	1	五十嵐鉄工	
高架ホツバー	油圧開閉式	容量 3.5m ³	2	桜田機械	
ろ格機	機械搔上式	高 2.9m 巾 1.5×2 目巾 25mm	3	〃	
篩渣破碎機	スイングハンマー式	処理能力 3m ³ /h	1	五十嵐鉄工	
脱水機		〃 3m ³ /h	1	住友機械	
汚水ポンプ	電動機直結豎軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 700mm 揚水量 1.25m ³ /S 揚程 13m 馬力 300HP	2	荏原製作所	
前曝気槽	長 有効水深 巾 有効容量	51.5m 6.0m 4.5m 2,700m ³	1		
第一沈澱池	長 有効水深 巾 有効容量	50.0m 20.0m 3.6m 3,500m ³	2		

小台処理場計画一般図

38. 3. 31 現在

完成部分



種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
搔 集 機	リングベ ルト式 主コレクター クロスコレクター 長さ 96m 24m	2	日 立 金 属	第一沈澱池用
汚 泥 ポンプ	電動機直結横軸吸込式ブレードレスポンプ 口 径 160mm 揚水量 0.033m³/S 揚程 6m 馬力 10HP	3	電 業 社	〃
曝 気 槽	長 70.0m 巾 6.3m 有効水深 4.2m 有効容量 7,410m³	2		
送 風 機	電動機直結横軸型ターボブロワー 口 径 500mm 風量 5m³/S 揚程 4 馬力 5.3mAq 533HP	3	荏 原 製 作 所	
第二沈澱池	長 50.0m 巾 20.0m 有効水深 4.0m 有効容量 3,900m³	2		
搔 泥 機	リングベ ルト式 主コレクター クロス フロートコレクター 長さ 97.5m 23.5m	2	日 立 金 属	
汚 泥 ポンプ	電動機直結 垂型斜流ポンプ 口 径 350mm 揚水量 0.217m³/S 揚程 4m 馬力 20HP	2	電 業 社	第二沈澱池用
減 菌 機	DV型真空減菌機	30kg/h	水 道 機 工	〃
濃 縮 槽	辺巾 10m×長40m 有効深さ 4m 有効容量 1,660m³	1 2		汚泥処理工場用
濃縮槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ 口 径 160m 揚水量 0.035m³/S 揚程 18m 馬力 25HP	2	電 業 社	〃
消 化 槽	内径 23.0m 有効深さ 12.0m 有効容量 5,000m³	4		〃
汚泥循環ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ 口 径 150mm 揚水量 0.047m³/S 揚程 12m 馬力 20HP	4	電 業 社	〃
貯 留 槽	内径 17.0m 有効深さ 3.0m 有効容量 680m³	1		〃
貯留槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ 口 径 160mm 揚水量 0.042m³/S 揚程 18m 馬力 25HP	2	電 業 社	〃
洗 漬 槽	内径 19.0m 有効深さ 3.0m 有効容量 850m³	2		〃
洗滌槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ 口 径 130mm 揚水量 0.02m³/S 揚程 5m 馬力 7.5HP	2	電 業 社	〃
ボイラー	三胴水管式 圧力 25mAq 出力 3,000,000kcal/h 伝熱面積 170m²	1	安 藤 鉄 工	〃
温水循環ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ 口 径 180mm 揚水量 0.06m³/S 揚程 14m 馬力 20HP	1	電 業 社	〃

種 別	形 状 其 他			数 量	製 作 所 名	備 考
熱交換器	二重管式	出力 圧力	680,000kcal/h $1.5\text{kg}/\text{cm}^2$	4	安藤鉄工	汚泥処理工場用
薬品熔解槽	有効容量	17m ³		2	三機工業	タ
汚泥混和槽	タ	20m ³		1		タ
消石灰ホツバー	容 量	5m ³		1	三機工業	タ
真空ろ過機	連続回転式円筒型	ろ過面積 馬力	32m ² 2HP	6	タ	タ
ケーキホツバー	油圧開口式	容 量	5m ³	2	タ	タ
真空ポンプ	電動機ベルト掛横型一段ブレード弁式	容 量 真空度 馬力	1.09m ³ /S 600mmHg 100HP	3	三国重工	タ
空気圧縮機	電動機ベルト掛横型水冷式	容 量 圧力 馬力	0.5m ³ /S 3kg/cm ² 145HP	1	タ	タ
ガスプロワー	電動機直結ターボプロワー	口 径 容 量 圧 力 馬 力	160mm 0.42m ³ /S 700mmAq 10HP	2	荏原製作所	タ
ガス圧縮機	電動機ベルト掛横型水冷單氣筒複動1段式	容 量 圧 力 馬 力	11.9m ³ /m 5.2kg/cm ² 72HP	2	大都工業	タ
脱硫器	乾 式	30,000m ³ /D		1	石井鉄工	タ
ガスタンク	球 形	直 径 容 量 圧 力	15.6m 2,000m ³ 5kg/cm ²	1	タ	タ

第4節 尿尿消化槽 (清掃局委託)

所 在 地 江東区南砂町9丁目2,473番地 砂町処理場内

建設開始 昭和24年9月1日

建設完了 昭和35年3月31日

尿尿消化処理量 計画 2,700m³/D (ほかに種汚泥として下水汚泥20%を混入)

種 別	形 状 其 他			数 量	製 作 所 名	備 考
尿尿ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式特殊渦巻ポンプ	口 径 揚水量 揚程 馬力	200mm 0.09m ³ /S 8.0m 30HP	1	荏原製作所	
タ	タ	口 径 揚水量 揚程 馬力	200mm 0.09m ³ /S 12.0m 40HP	3	タ	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考	
屎尿沈砂槽	長巾 有効水深 有効容量	9.9m 11.3m 1.79m 200m³	1		
ろ 格 機	ドル型機械 捲上式	巾高 巾目 2.0m 2.0m 35mm	3	三 機 工 業	
ろ 格 機	〃	巾高 巾目 2.0m 2.0m 19mm	3	〃	
シサ脱水装置	ロール式圧縮		3	五十嵐鉄工所	
調 整 槽	内径 有効深さ 有効容量	22.0m 4.75m 1,800m³	1		
攪 拌 機	翼車式		1	三 機 工 業	
調整槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 特殊過巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	200mm 0.09m³/S 8.0m 25HP	2	荏原製作所
〃	電動機直結横軸型片吸込式 特殊渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	200mm 0.09m³/S 7.5m 25HP	1	〃
消化槽ポンプ	〃	口径 揚水量 揚程 馬力	200mm 0.09m³/S 21.0m 60HP	3	〃
消 化 槽	内径 有効深さ 有効容量	25.0m 6.0m 3,250m³	20		
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	80mm 0.008m³/S 5m 3HP	2	三菱化工機 酒井製作所
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型過巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	130mm 0.025m³/S 15m 1.5HP	1	三菱化工機 酒井製作所
真空脱水機	廻転式		4	三菱化工機 ウノサワ組鉄工所	
真空ポンプ	電動機ベルト掛横軸型真空ポンプ	口径 揚水量 真空度 馬力	760mm×300mm 1.13m³/S 500mm/Hg 100HP	4	ウノサワ組鉄工所
再乾燥床			1,440m²		
乾燥床			30,000m²		
乾燥汚泥置搔取裝置	構桿自走式	軌間 走行速度	10m 4.08m/min	1 浦賀ドツク	
ガスランク	内径{14.8m 15.25m}	容量{1,200m³ 2,000m³}	2 2	石井鉄工 石川島重工	
乾式脱硫機	乾式	5,000m³/D	2	石井鉄工	

種 別	形 状 其 他	數 量	製 作 所 名	備 考
ガス洗滌塔	湿式 5,000m³/D	2	〃	
〃	〃 21,600m³/D	1	岡谷鋼機	
洗滌ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ 口 径 250mm 揚水量 0.1m³/S 揚 程 12m 馬 力 30HP	1	荏原製作所	
〃	〃 口 径 260mm 揚水量 0.125m³/S 揚 程 16m 馬 力 30HP	1	日立製作所	
搔集機	廻転式	2	住友機械	
ボイラー	三胴水管式 缶圧 2.5kg/cm² 出力(常用=700,000kcal/h 最大=900,000 〃)	5	岡谷鋼機 大阪ボイラー	第1, 第2洗滌槽用
ボイラー	三胴水管式 缶圧 2.5kg/cm² 出力(常用=1,940,000kcal/h 最大=2,330,000 〃)	1	安藤鉄工	

第7章 作業

第1節 管渠

管渠掃除実績表

(昭和37年度)

管理事務所名		中部	北部	東部		
所管区域	種別	千代田区(外神田を除く), 中央区(月島を除く), 港区, 品川区の一部, 目黒区の一部, 渋谷区の一部, 新宿区の大部分, 文京区(旧本郷区の一部を除く), 台東区(旧下谷区の一部を除く), 豊島区の大部, 北区(旧滝野川区の一部)	千代田区(外神田の大部分), 台東区(旧下谷区の一部を除く), 文京区(旧本郷区の一部), 荒川区, 北区の各一部, 足立区の一部, 豊島区の一部	江東区(旧深川区)中央区の一部(月島), 墨田区		合計
		108.70 2,914	189.50 974	32.00 350	330.20 4,238	
修理延長(m) 補修個数(個)		392,560 10,393.25	233,628 7,494.10	246,604 5,175.47	872,792 23,062.82	
掃除延長(m) 汚泥量(m³)		10,684 265.20	6,561 184.60	2,195 38.80	19,440 488.60	

作業費実績累年比較表

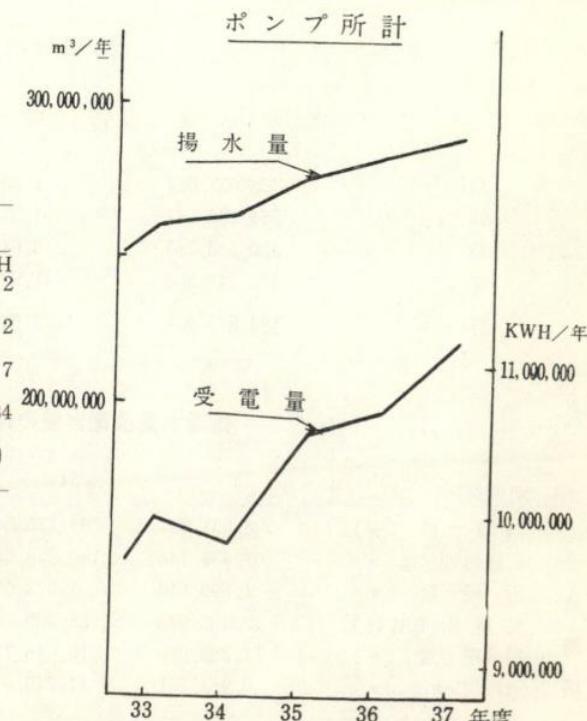
(過去5年間)

年度	分類 管渠 人孔枠	管理延長(m)	掃除延長(m)	汚泥量(m³)	修繕員数(m個)	作業費 (直接費のみ)(円)
		同個数(個)	同個数(個)			
33	管渠	2,489,519	958,919	25,415.68	293.20	122,261,367
	人孔枠	311,370	34,246	2,143.40	3,036	
34	管渠	2,580,907	976,979	26,836.30	280.00	123,707,299
	人孔枠	328,366	29,587	1,759.45	3,683	
35	管渠	2,681,332	815,930	22,787.96	654.00	104,920,367
	人孔枠	348,071	26,148	1,434.65	3,805	
36	管渠	2,767,882	961,288	26,035.65	379.60	154,312,002
	人孔枠	366,878	21,098	886.31	3,842	
37	管渠	2,876,329	872,792	23,062.82	330.20	17,813,007
	人孔枠	390,549	19,440	488.60	4,238	

第2節 ポンプ所

ポンプ作業状況

(昭和37年度)



ポンプ所揚水量及電力量最近 5 年間推移表

年 度	揚 水 量	作 業 費	揚水量 100 m ³		受電量
			當 り 作 業 員	円	
33	258,268,809	72,254,634	27.98	円	KWH 9,959,817.2
34	262,752,707	69,665,705	26.62		9,801,494.2
35	274,571,669	73,209,092	26.66		10,549,543.7
36	282,709,165	85,167,314	33.19		10,727,510.84
37	288,646,790	10,335,913	35.80		11,187,502.9

第3節 処理場

処理作業状況

処理 場名	処理水量	処理水量内訳			シサ量	沈砂量	薬品 使用量	受電量	受電量内訳	
		簡易 処理水量	高級 処理水量	汚泥量					付属ポンプ所 ポンプ運転	処理用
芝浦	216,306,223	30,713,825	184,842,528	749,870	2,614.1	3,387.3	60,530	22,019,960	5,789,018	16,230,942
三河島	91,156,360	2,472,591	88,223,171	460,598	847.9	1,572.6	7,724.8	13,172,876	3,697,302	9,475,574
小台	7,079,110		7,018,200	60,910	62.36	211.7		3,614,276	779,620	2,834,656
砂町	70,328,552	2,867,728	66,521,379	939,445	229.5		11,691	15,659,143	3,885,776	11,773,367
合計	384,870,245	36,054,144	346,605,278	2,210,823	3,753.86	5,171.67	945.854	4,466,255	14,151,716	40,314,539

汚泥処理作業状況

処理場名	汚泥処理量	汚泥投入量	消化汚泥量	脱水汚泥量	薬品使用量		受電量
					硝石灰	鉄塩剤	
芝浦	749,870	749,870	190,911	12,984.0	572,400	350,704	1,905,479
小台	44,480	44,480	1,290	345.0	22,270	17,230	178,110
砂町	967,694	967,694	83,537	17,867.0	653,785	462,350	1,861,202
合計	1,762,044	1,762,044	275,738	31,196.0	1,248,455	830,284	3,944,791

処理場経常費

過去5年間の比較

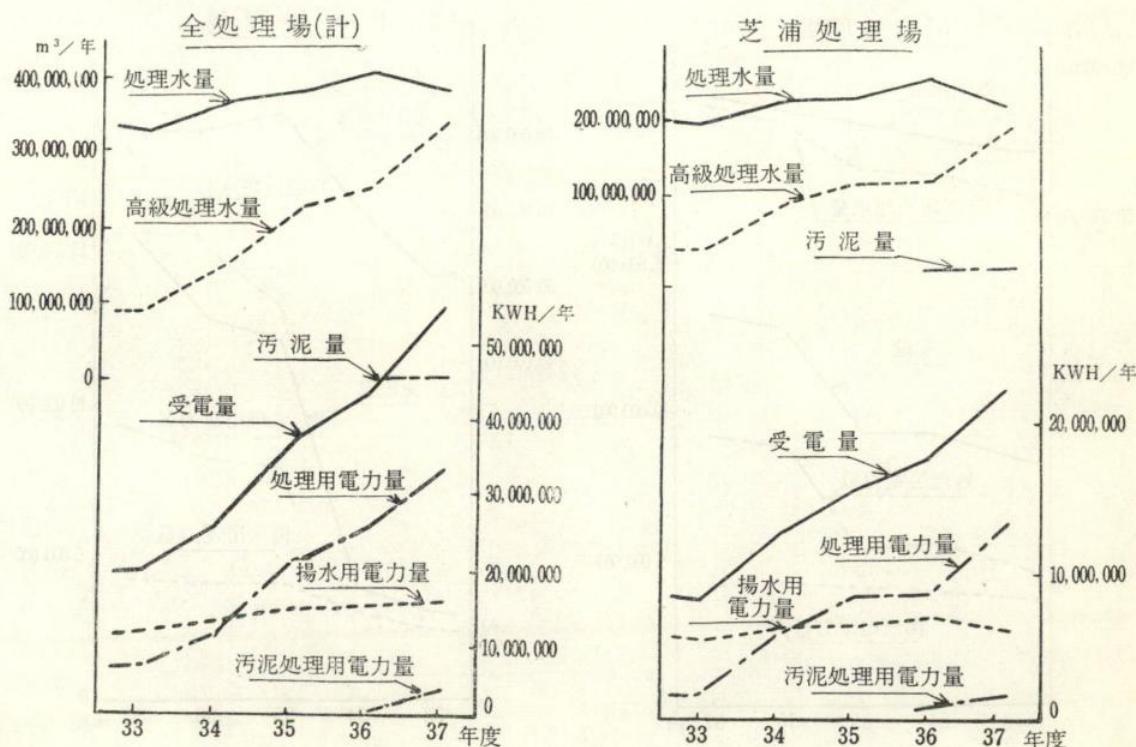
年 度	処理水量	汚泥量	作業費	処理水量当り作業費	
				100m ³	円
33	328,051,617	1,396,016	123,832,115		37.75
34	364,175,547	1,373,030	142,172,508		39.04
35	380,583,785	2,043,041	180,781,094		47.50
36	408,748,345	1,924,198	226,507,385		55.41
37	384,870,245	2,210,823	343,951,434		89.36

処理水量及電力量の推移（全処理場）

種別	年 度	33	34	35	36	37
全 処 理 場	処理水量 (m ³)	328,051,617	364,175,547	380,583,785	408,748,345	384,870,245
	高級処理水量 ↗	87,839,148	146,238,657	231,538,421	256,754,105	348,392,282
	汚泥量 ↗	1,396,016	1,373,030	2,043,041	1,924,198	2,210,823
	受電量(KWH)	19,405,942	25,405,727	36,579,165.6	42,920,128.6	54,466,255
	揚水電力量 (kW)	11,283,680	13,046,720	14,400,128	15,086,045	15,578,410
	処理用 ↗ ↗	6,981,531	11,245,943	21,268,547	25,153,569	33,131,684
	汚泥処理用 ↗ ↗	—	—	—	1,092,631	4,091,879

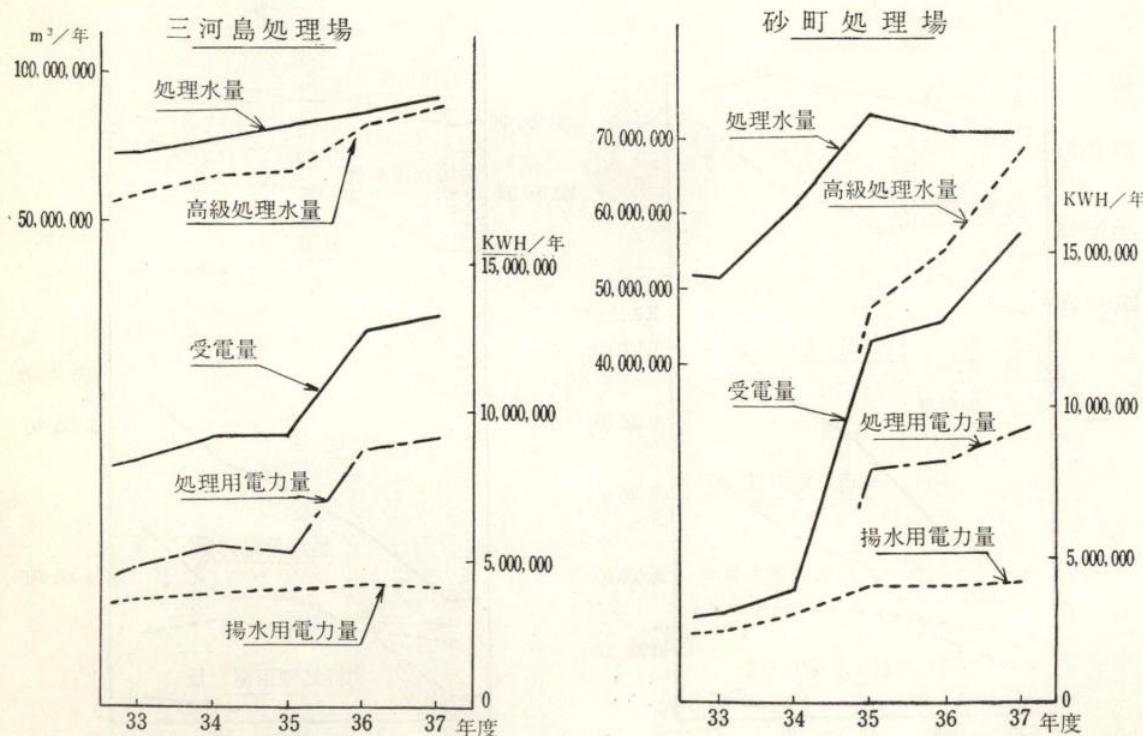
処理水量及電力量の推移表

年 度		33	34	35	36	37
芝浦 処理場	処理水量 (m³)	194,207,285	222,069,824	227,840,591	251,813,272	216,306,223
	高級処理水量(々)	29,552,084	83,007,896	117,137,887	119,333,774	185,158,989
	汚泥量 (々)	467,480	468,100	478,100	693,850	749,870
	受電量 (KWH)	8,260,250	12,486,828	15,370,960	17,485,720	22,019,960
	揚水量電力量(々)	5,625,155	6,269,630	6,483,500	7,040,871	6,184,463
	処理用 々 (々)	2,107,354	5,802,404	8,389,446	8,405,891	13,106,047
三河島 処理場	汚泥処理用 々(々)	—	—	—	1,092,631	1,905,479
	処理水量 (m³)	73,148,622	76,744,973	81,291,898	86,631,310	91,156,360
	高級処理水量(々)	58,287,064	63,230,761	67,035,999	82,161,864	88,188,830
	汚泥量 (々)	276,776	257,630	360,315	436,051	460,598
	受電量 (KWH)	8,249,435	9,153,134	9,113,454	12,729,968.6	13,172,876
	揚水量電力量(々)	3,352,163	3,832,534	3,925,894	4,069,109	4,009,595
	処理用 々 (々)	4,713,365	5,308,025	5,105,325	8,652,862	9,059,200
	汚泥処理用 々(々)	—	—	—	—	—



処理水量及電力量の推移表

年 度		33	34	35	36	37
小 台 處 理 場	処理水量 (m³)	—	—	—	—	7,079,110
	高級処理水量(々)	—	—	—	—	7,019,830
	汚泥量 (々)	—	—	—	—	60,910
	受電量 (KWH)	—	—	—	—	3,614,276
	揚水量電力量(々)	—	—	—	—	1,250,190
	処理用 々 (々)	—	—	—	—	1,821,280
汚泥処理用 々(々)		—	—	—	—	290,900
砂 町 處 理 場	処理水量 (m³)	60,695,710	65,360,750	71,451,296	70,303,763	70,328,552
	高級処理水量(々)	—	—	47,364,535	55,258,467	68,024,633
	汚泥量 (々)	651,760	647,300	1,204,626	794,297	939,445
	受電量 (KWH)	2,896,257	3,765,765	12,094,751.6	12,704,440	15,659,143
	揚水量電力量(々)	2,306,362	2,944,556	3,990,734	3,976,065	4,134,162
	処理用 々 (々)	160,812	135,514	7,773,776	8,094,786	9,145,157
汚泥処理用 々(々)		—	—	—	—	1,895,500



第4節 水質試験

(1) 芝浦処理場

(昭和37年度平均)

試料名	生下水	生下水	沈澱下水	活性汚泥法散気式及シンプレックス式処理水	活性汚泥法高速曝気式処理水
採取個所	沈砂池	第1沈澱池入口	第1沈澱池出口	第2沈澱池出口	第2沈澱池出口
気温	18.4	18.4	18.4	18.4	
水温	17.5	17.6	17.6	18.0	19.4
透視度	3.5	3.2	4.3	81.6	57.3
色相	—	—	—	—	—
臭氣	—	—	—	—	—
P H 値	7.3	7.2	7.1	7.1	7.0
蒸発残留物	940	1,023	964	888	917
熱灼残留物	621	664	685	745	732
熱灼減量	319	359	279	143	185
溶解性物質	729	746	842	880	909
浮遊物質	211	277	122	8	8
溶存酸素(D.O.)	3.50	1.97	1.79	3.40	2.69
酸素飽和百分率	39.20	21.40	20.0	40.00	38.40
B.O.D.	205.40	228.00	142.50	7.30	7.80
C.O.D.(高温法)	168.40	178.90	115.05	13.90	14.50
総窒素	40.12	41.84	34.65	16.51	13.60
アンモニア性窒素	12.67	13.41	12.22	10.79	6.88
アルブミノイド窒素	6.71	7.95	5.70	0.59	0.75
亜硝酸性窒素	—	—	—	—	—
硝酸性窒素	—	—	—	—	—
有機性窒素	27.45	28.43	22.43	6.72	6.72
塩素イオン	248	272	328	379	388
硫化物(ヨウ素消費量)	32.93	37.58	24.73	5.11	6.62
油類	16.30	16.60	9.80	4.30	5.40
一般細菌数	1,019,000	1,032,000	856,000	21,400	18,100
遠藤赤変菌数					

(2) 三河島処理場

(昭和37年度平均)

試 料 名	生 下 水	生 下 水	沈澱下水	活性汚泥法 パドル式 処理水	活性汚泥法 散気式 処理水	散水ろ床法 処理水	河 水
採 取 個 所	沈 砂 池	第一沈澱池 入 口	第一沈澱池 出 口	第二沈澱池 出 口	第二沈澱池 出 口	最終沈澱池 出 口	荒 川
氣 温	19.1	19.1	19.1	19.1	19.1	19.1	19.1
水 温	17.5	17.6	17.8	18.0	18.6	17.4	17.7
透 視 度	3.3	2.7	3.9	32.6	25.3	9.5	7.9
色 相	—	—	—	—	—	—	—
臭 気	—	—	—	—	—	—	—
P H 値	6.8	6.8	6.8	7.1	7.0	7.0	6.55
蒸 発 残 留 物	1,172	1,248	1,345	1,104	854	1,344	3,742
熱 灼 残 留 物	657	688	867	813	610	934	3,003
熱 災 減 量	515	560	478	291	244	410	739
溶 解 性 物 質	903	932	1,172	1,084	831	1,276	3,642
浮 遊 物 質	269	316	173	20	23	68	100
熔存酸素 (D.O.)	3.97	3.32	2.37	2.35	3.45	2.48	1.37
酸素飽和百分率	38.87	31.85	22.20	25.10	35.78	24.20	13.89
B. O. D.	204.50	232.70	166.80	9.70	15.00	19.40	61.30
C. O. D. (高温法)	169.50	189.60	138.90	19.50	27.80	23.90	59.50
総 窒 素	35.95	38.15	35.37	17.90	16.31	22.10	9.57
アンモニア性窒素	15.40	16.70	17.90	14.40	11.96	14.00	4.80
アルブミノイド窒素	6.40	7.00	5.70	1.10	1.14	2.30	1.40
亜硝酸性窒素	0.15	0.15	0.25	0.15	0.26	0.40	0.03
硝酸性窒素	1.10	1.00	0.90	0.35	0.43	1.80	0.18
有機性窒素	19.30	20.30	16.40	3.00	3.66	5.90	4.56
塩 素 イ オ ン	306	317	460	449	321	565	1,758
硫化物(ヨウ素消費量)	26.50	36.90	27.40	3.20	3.40	11.00	15.80
油 類	13.20	16.00	11.70	3.00	2.60	4.50	6.60
一般細菌数	3,507,000	3,989,000	4,372,000	72,400	45,000	3,968,000	6,451,000
遠藤変菌数	89,600	70,900	103,300	815	1,430	17,700	9,000

(3) 砂町処理場

(昭和37年度平均)

試 料 名	生 下 水	生 下 水	沈 澱 下 水	活性汚泥法 散気式処理水
採 取 個 所	マンホール	第一沈澱池入口	第一沈澱池出口	第二沈澱池出口
氣 温	17.5	17.5	17.5	17.5
水 温	17.2	17.4	17.5	17.9
透 視 度	4.7	4.3	5.2	52.5
色 相	—	—	—	—
臭 気	—	—	—	—
P H 値	7.1	7.1	7.1	7.2
蒸 発 残 留 物	2,583	3,237	2,259	1,883
熱 灼 残 留 物	1,856	2,119	1,693	1,437
熱 灼 減 量	727	1,118	566	446
溶 解 性 物 質	2,273	2,195	2,091	1,866
浮 遊 物 質	310	1,042	168	17
溶 存 酸 素 (D.O.)	2.84	2.15	2.90	4.61
酸 素 飽 和 百 分 率	26.58	20.62	28.43	40.99
B. O. D.	202.60	214.56	106.07	15.96
C. O. D. (高溫法)	135.50	185.44	75.25	18.56
総 窒 素	32.20	32.58	19.89	11.46
アンモニア性窒素	14.30	14.66	10.26	8.14
アルブミノイド窒素	5.97	7.22	3.68	1.28
亜硝酸性窒素	0.18	0.24	0.15	0.45
硝酸性窒素	0.28	0.28	0.27	0.71
有機性窒素	17.44	—	—	2.16
塩 素 イ オ ン	1,092	1,007	928	897
硫化物(ヨウ素消費量)	42.76	62.52	34.38	6.28
油 類	8.10	1.18	5.10	2.90
一 般 細 菌 数	1,975,500	2,104,500	1,699,000	76,850
遠 藤 赤 変 菌 数	175,350	150,550	188,000	—

(4) 小台処理場

(昭和37年度平均)

試 料 名		生 下 水	沈殿下水	活性汚泥法 散気式処理水	河 水
採 取 個 所		前曝氣槽入口	第一沈殿池口 出	第二沈殿池出口	荒 川
氣	温	17.6	17.6	17.6	17.6
水	温	17.4	17.5	17.4	16.2
透	視 度	3.5	6.8	60.9	10.4
色	相	—	—	—	—
臭	氣	—	—	—	—
P H	值	6.7	6.9	7.2	6.6
蒸 發 残 留 物		1,056	643	480	2,470
熱 灼 残 留 物		613	411	329	1,881
熱 灼 減 量		443	232	151	589
溶 解 性 物 質		568	517	453	2,371
浮 遊 物 質		488	126	27	99
溶 存 酸 素 (D.O.)		3.62	4.26	7.82	1.33
酸 素 飽 和 百 分 率		35.50	41.12	79.90	13.76
B. O. D.		133.90	67.40	5.00	42.03
C. O. D. (高溫法)		208.30	80.50	18.40	57.60
総 窒 素		13.24	7.28	4.95	7.73
アンモニア性窒素		4.20	3.01	1.83	3.38
アルブミノイド窒素		3.80	1.33	0.42	1.03
亜硝酸性窒素		0.06	0.05	0.03	0.01
硝酸性窒素		0.18	0.13	1.13	0.14
有機性窒素		8.80	4.12	1.94	4.19
塩 素 イ オ ン		120	118	100	1,002
硫化物 (ヨウ素消費量)		25.40	15.49	5.30	16.35
油 類		25.50	13.16	8.60	8.70
一 般 細 菌 数		—	—	—	—

註) 昭和37年7月～昭和38年3月の平均値

第5節 降水量

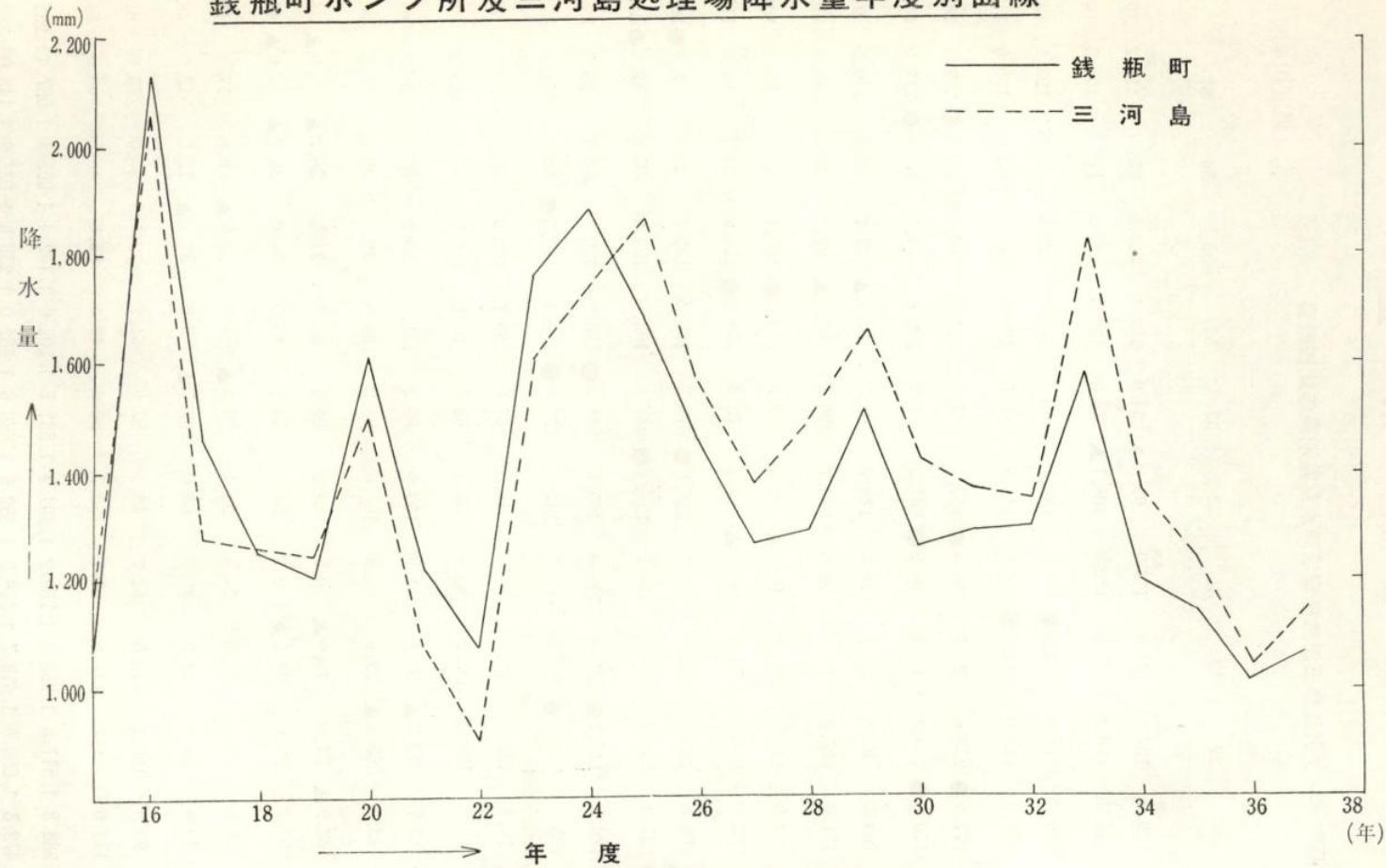
(1) 錢瓶町ポンプ所及び三河島処理場降水量月別累年比較概要

(最近10年間)

月別 場所	年度	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	10カ年 平均
		mm										
4月	錢瓶	39.6	137.4	75.6	116.1	99.8	▲ 24.6	124.1	143.9	175.7	113.2	105.00
	三河島	44.4	170.4	77.8	122.8	108.7	▲ 26.8	135.4	155.9	148.1	106.5	109.68
5月	同	140.4	111.6	131.7	279.6	133.1	65.0	162.0	99.9	42.6	193.5	135.94
	同	152.9	125.0	144.7	306.4	145.9	69.5	186.5	112.2	47.8	190.0	148.09
6月	同	177.8	253.6	71.5	95.4	274.1	55.0	95.6	69.5	271.1	209.5	157.31
	同	179.3	275.2	62.6	96.2	287.3	56.2	126.6	62.3	272.8	217.0	163.55
7月	同	164.9	92.8	55.2	78.5	128.9	168.3	54.1	▲ 27.2	25.8	140.5	93.62
	同	171.9	125.0	68.5	89.0	108.7	226.1	66.0	▲ 29.3	29.5	188.5	110.25
8月	同	192.3	111.3	178.0	96.4	▲ 30.3	69.2	113.2	196.1	23.7	33.0	104.35
	同	232.8	115.3	178.8	91.2	▲ 34.5	72.8	135.0	226.8	24.1	64.0	117.53
9月	同	● 206.8	222.4	156.4	169.1	215.8	● 574.3	139.2	143.7	28.1	3.7	● 185.95
	同	● 245.4	234.3	183.1	176.2	214.1	● 687.8	163.8	135.6	35.2	12.0	● 208.75
10月	同	128.7	117.9	● 252.4	259.3	105.3	286.3	● 176.5	150.5	263.7	95.7	183.63
	同	135.4	147.8	● 316.3	267.9	117.1	267.0	● 199.4	182.3	● 302.6	101.0	203.68
11月	同	▲ 13.2	122.2	86.6	56.4	43.3	65.0	99.1	102.9	43.8	128.2	76.07
	同	▲ 20.5	133.0	102.3	65.4	57.1	82.8	97.8	110.2	47.0	135.0	85.11
12月	同	35.7	73.2	▲ 20.1	1.9	109.9	86.3	131.2	63.2	32.4	58.3	61.22
	同	43.1	68.2	▲ 22.9	2.9	109.6	93.3	139.0	72.7	33.0	55.5	64.02
1月	同	62.9	▲ 37.6	74.9	▲ 0.5	59.2	30.3	50.7	31.1	36.2	▲ 0	▲ 38.34
	同	91.2	▲ 38.0	88.0	▲ 0.3	56.8	54.0	49.5	30.0	33.0	▲ 0	▲ 44.08
2月	同	35.9	71.4	35.8	74.3	54.4	89.3	▲ 5.2	34.9	▲ 8.8	17.9	42.79
	同	43.8	74.2	44.9	80.8	62.0	107.7	▲ 3.6	37.7	▲ 12.0	13.5	48.02
3月	同	90.6	166.1	118.5	62.7	48.1	67.9	51.7	79.5	54.0	73.9	81.30
	同	118.6	149.2	128.8	67.7	50.7	86.6	49.4	83.6	48.5	65.0	84.81
合計	同	1,288.8	1,517.5	1,256.7	1,290.2	1,302.2	1,581.5	1,202.6	1,142.4	1,005.9	1,067.4	1,265.52
	同	1,479.3	1,655.6	1,418.7	1,366.8	1,352.5	1,830.6	1,352.0	1,238.6	1,033.6	1,148.0	1,387.57

(注) ●……最大降水量、▲……最小降水量

錢瓶町ポンプ所及三河島処理場降水量年度別曲線



錢瓶町および三河島処理場降水量年度別表

場所	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
錢瓶町	1,092.0	2,124.0	1,456.3	1,250.4	1,204.6	1,605.8	1,220.0	1,072.2	2,175.0	1,879.7	1,680.4	1,462.2	2,1263.4	1,288.8	1,517.5	1,256.7	1,290.2	1,302.2	1,581.5	1,202.6	1,142.4	1,005.9	1,067.4
三河島	1,145.6	2,061.1	1,277.1	1,246.0	1,246.9	1,499.6	1,074.6	912.7	1,604.9	1,738.5	1,860.5	1,554.0	1,373.6	1,479.3	1,655.6	1,418.7	1,366.8	1,352.5	1,830.6	1,352.0	1,238.6	1,033.6	1,148.0

(2) 同降水量日別累年比較概要

(最近10年間)

降水量 場所	年 度		28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	10カ年 平均
	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
10 以下 銭 瓶 三 河 島	74 91	68 83	70 74	60 67	81 91	97 93	61 75	73 68	62 62	60 54	70.6 75.8		
10 — 20 夕	23 24	31 26	18 22	21 22	14 18	20 24	19 21	24 24	20 20	16 22	20.6 22.3		
20 — 30 夕	15 14	9 12	11 11	11 14	16 13	8 7	13 11	8 10	4 8	7 5	10.2 10.5		
30 — 40 夕	3 4	6 6	5 5	5 2	3 4	4 6	6 6	4 5	4 2	4 6	4.4 4.6		
40 — 50 夕	2 5	2 1	2 2	3 5	1 2	2 1	— 2	— 1	— 1	2 3	6 3	2.0 2.5	
50 — 60 夕	1 2	1 —	— 1	— 1	2 1	— 2	1 1	— 1	— 1	— 1	— 2	0.6 1.2	
60 — 70 夕	1 —	1 4	— 1	1 1	— —	— —	— 1	— 1	2 —	1 —	— —	0.6 0.7	
70 — 80 夕	— —	— 2	— 2	1 1	— 1	— —	— —	1 —	1 1	— —	— —	0.8 0.2	
80 — 90 夕	— —	— 1	— —	— 1	— —	— —	1 1	— 2	— —	— —	— 1	0.3 0.6	
90 — 100 夕	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 —	— —	— 1	— —	— —	0.1 0.1	
100 以上 夕	— —	— —	— —	— 1	— —	1 —	1 2	— —	— —	1 —	— 1	— 0.3	0.5
計	119 140	120 133	109 118	103 113	119 131	134 136	102 119	112 111	94 97	94 93	110.6 119.1		
最 大	夕	66.7 夕	74.0 夕	82.4 夕	74.4 夕	103.0 夕	343.2 夕	81.8 夕	78.5 夕	103.6 夕	81.2 夕		
	夕	53.0	83.6	104.6	82.2	120.0	411.0	88.1	95.3	126.5	81.5		

(3) 同最大降雨強度日別累年比較概要

(最近10年間)

最大 降雨強度 場所	年 度		28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	10カ年 平均
	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
10 以下 銭 瓶 三 河 島	88 133	98 128	96 110	93 133	107 124	127 124	92 108	101 102	86 89	86 84	97.4 113.5		
10 — 20 夕	8 4	6 6	7 7	7 8	9 5	4 7	7 8	10 6	6 6	6 6	7.0 6.4		
20 — 30 夕	1 2	2 —	2 2	1 2	2 2	1 2	2 2	— 1	1 1	1 1	1.3 1.5		
30 — 40 夕	— —	— 1	— —	2 —	— —	— —	1 1	— 1	1 1	1 1	1 —	0.6 0.5	
40 — 50 夕	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 —	— —	— —	— —	— 1	0.1 0.1	
50 — 60 夕	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— 1	— —	1 1	— —	— —	0.1 0.2	
60 以上 夕	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 1	— —	— —	— —	— —	0.1 0.1	
最 大	夕	22.2 夕	21.2 夕	29.5 夕	26.6 夕	33.5 夕	61.5 夕	33.0 夕	58.0 夕	38.3 夕	39.8 夕		
	夕	26.0	37.0	25.4	24.0	27.6	66.8	36.7	52.8	37.0	42.0		

第6節 汚泥処理

(1) 概要

処理場において、汚水処理過程に発生する汚泥の処分方法としては、戦前まで海中投棄によつていたが、戦時のため汚泥運搬船の運行は不能となり、他方資源活用の見地から汚泥の肥料化が得策であるため処理場内に汚泥乾燥床を設け、天日乾燥のうえ売却していた。汚泥処理工場の完成後は、機械力を利用して脱水乾燥し大半は肥料として販売している。

沈殿汚泥の大部分は全購連及び東邦有機肥料株式会社へ売却、また三河島処理場の汚泥消化槽から排出する消化汚泥も同様日本有機肥料株式会社に売却していた。

また、砂町し尿消化槽から排出するし尿消化汚泥は真空脱水機または乾燥床で脱水乾燥し、清掃局において売却している。

(2) 汚泥処分状況

年 度	沈 濶 汚 泥 m^3			消 化 汚 泥 m^3			計 m^3		売 却 金 額 円	
	芝 浦		三 河 島	砂 町	芝 浦		三 河 島	砂 町		
	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量	乾燥量	売却量		
33	1,737.0	1,731.0	855.3	314.1	1,973.0	1,800.0	—	—	4,787.4	
34	3,125.0	1,881.33	106.3	0	1,642.0	1,544.0	—	—	3,557.03	
35	2,520.0	1,744.09	—	—	2,305.0	1,393.0	—	—	3,256.47	
36	584.0	404.4	—	—	1,602.5	1,516.5	1,766.5	—	2,040.9	
37	—	—	—	—	220.0	220.0	12,984.0	1,780	742	31,075
					129.0	129.0	17.742	—	2,129.0	74,340

し尿消化汚泥

種 别	年 度		33	34	35	36	37
	砂 町	乾 燥 量	13,015.0	15,479.0	20,057.0	21,601.5	21,680.5
(消 化 槽)		壳 却 量	13,015.0	15,479.0	20,057.0	21,601.5	21,680.5

第7節 处理水の利用

処理水は、従来そのまま河海に放流していたが、これら未利用資源を活用して事業運営の効果をあげるために、処理水の工業用水化を実施している。

すなわち、三河島処理場においては、活性汚泥法による処理下水を、急速ろ過施設により更にろ過して供給するもので、昭和30年2月から千住製紙工場、さらに36年6月には荒川工業用水利用組合に供給契約を結び送水であるが、逐次拡大する計画である。

契約料金は次のとおりである。

供給先	契約料金	契約期間
千住製紙	基本料金1カ月使用水量300,000m³まで1m³につき2円10銭 超過料金1カ月使用水量300,000m³を超えるもの1m³につき1円80銭	37. 4. 1 38. 3. 31
荒川工業用水利用組合	最低責任使用料1か月35,000m³ 1カ月使用料 56,000m³未満1m³につき5円80銭、56,000m³以上、 70,000m³未満1m³につき5円、70,000m³以上84,000m³未満1m³につき4円40銭、84,000m³以上1m³につき4円	37. 4. 1 38. 3. 31

なお38年度においても上記の契約で利用されている。

三河島処理場急速砂ろ過施設

ろ過池 6池その他一式

当初施設	3池
昭28-12 起工	昭29-8 竣工
工事費	25,462,171円
増設施設	3池
昭34-6 起工	昭34-11 竣工
工事費	25,121,725円

送水量と収入金額

年 度	送 水 量 (m³)	収 入 金 額 (円)
29 年 度	472,650	936,476
30 タ	3,879,140	7,582,452
31 タ	4,399,090	8,513,362
32 タ	4,815,270	9,267,486
33 タ	5,320,460	10,176,828
34 タ	5,948,860	11,307,948
35 タ	6,642,880	13,037,184
36 タ	7,392,020	15,778,519
37 年 度	7,761,260	16,839,076

第8節 し尿消化槽

昭和37年作業実績

し尿量	篩渣量	消化槽投入量	廃液量	消化汚泥量	乾燥量	ガス発生量	重油消費量	電力量
817,083	6,245	810,838	1,099,475	153,687	21,680.5	5,001,948	894,256	KWH 3,237,977

第8章 工事施行状況

第1節 拡張工事

総括表

種別	施工内容
施設拡張 9,598,702,276円 繰越 466,238,032円	<p>管渠敷設 4,967,597,466円</p> <p>幹線延長 8,205.28m 枝線 74,431.00m 側溝 23,037.72m</p> <p>設計委託 5件</p> <p>試掘 7件 1,917カ所</p> <p>ポンプ所 1,157,635,227円</p> <p>構築物 日本堤, 宮城ポンプ所流入渠 大島ポンプ所放流渠, 吐口</p> <p>構築物及び建物基礎 尾久ポンプ所上家基礎</p> <p>建物 藍染, 大島, 日本堤ポンプ所上家新築</p> <p>機械装置 隅田ポンプ所 雨水ポンプ1台汚水ポンプ1台 雨水用阻水扉4面, 汚水用阻水扉1面, 起重機1基</p> <p>千住ポンプ所 雨水ポンプ3台汚水ポンプ1台 雨水用阻水扉4面污水用阻水扉1面, 起重機1基</p> <p>日本堤ポンプ所 ろ格機4台 藍染ポンプ所 雨水用阻水扉4面 汚水用阻水扉1面</p> <p>その他</p> <p>電気設備 千住ポンプ所 配電盤 隅田ポンプ所 高圧受電装置 大島ポンプ所 仮受電設備</p> <p>設計委託・その他 14件</p>
処理場 1,712,951,888円 繰越 9,305,651円	<p>構築物 芝浦処理場 高速曝氣沈澱槽2槽, 沈砂池2池, 量水槽 落合処理場 送泥管, 導水渠, 空気管, 第二沈澱池5池</p> <p>森ヶ崎西処理場 本館下部軸体</p> <p>砂町処理場 消化槽</p> <p>小台処理場 前曝氣槽, 第一沈澱池</p> <p>建物 小台処理場 公舎新築</p> <p>ポンプ 芝浦処理場 薬液ポンプ一式, ろ液ポンプ3台 三河島処理場 過巻ポンプ3台, 自吸水ポンプ1台</p>

種 别		施 行 内 容
施 設 拡 張	処 理 場	砂町処理場 防泡ポンプ4台, 真空ポンプ2台 機械設備 芝浦処理場 阻水扉2面, 揚泥機2組 多段ターボブロワー, 電動機, 採泥機 散気板 砂町処理場 ポイラー1缶, 熱交換器4基 汚泥採集機, 多段ターボブロワー 散気板 落合処理場 散気設備, モノレール 電気設備 芝浦処理場 配電板 小台処理場 受電線路 砂町処理場 受電線路 付帯工事 5件 設計監理委託 4件
	用 地 買 収 1,065,307,323円	管渠用地 5件 ポンプ所用地 1件 処理場用地 2件
	そ の 他 695,210,377円	事務費, 補償費, 調査費, 乗用車, 鋼矢板 その他
失 業 対 策 管 渠 敷 設 81,487,275円		枝線延長 3,852.75m 就労人員延 45,331人
特 別 失 業 対 策 管 渠 敷 設 290,430,429円		枝線延長 16,780.82m 就労人員延 67,787人
整 備 拡 充 696,997,637円	管 渠 463,509,122円	幹線延長 872.74m 枝線延長 228.79m
繰 越 48,912,879円	繰 越 48,912,879円	
	処 理 場 233,488,515円	三河島処理場 送泥管改造 散水ろ床取扱 設計委託

(1) 管渠敷設

種別	工事名	数量	金額	着工 竣	手功	備考
幹線	砂幹線その10工事	幹 296.30 <i>m</i>	円 139,350,778	37. 5. 21 38. 2. 16		
	渋谷川幹線その15工事	幹 216.63 枝 50.50	92,836,868	37. 4. 2 37. 11. 6		
	岩淵幹線その8工事	幹 352.85 枝 147.85	96,150,136	37. 4. 2 繰越施工	繰越額 44,601,316円	
	タ その9工事	幹 515.70 枝 18.00	154,052,043	37. 4. 2 38. 3. 29		
	石神井川下幹線その9工事	幹 552.00 枝 8.00	104,151,945	37. 4. 2 38. 3. 30		
	宇田川幹線その4工事	幹 248.70	89,487,433	37. 4. 2 38. 3. 30		
	千駄ヶ谷幹線その2工事	幹 260.30 枝 40.20	99,984,852	37. 4. 2 38. 3. 29		
	桃園川幹線その9工事	幹 241.17	32,538,947	37. 4. 2 37. 8. 24		
	戸塚西幹線その2工事	幹 606.62	43,352,800	37. 5. 1 37. 10. 24		
	桃園川幹線その7工事	幹 402.00	79,531,706	37. 5. 1 38. 2. 13		
	タ その8工事	幹 332.32	40,602,058	37. 5. 1 38. 2. 25		
	妙正寺川幹線その1工事	幹 275.40 枝 249.90	59,336,337	37. 5. 21 38. 1. 14		
	品川幹線その5工事	幹 29.70	6,996,332	37. 6. 7 37. 8. 3		
	戸塚西幹線その3工事	幹 547.60 枝 5.00	64,736,221	37. 6. 11 38. 1. 14		
	千駄ヶ谷幹線その3工事	幹 220.30 枝 10.00	68,772,796	37. 6. 18 38. 2. 26		
	タ その4工事	幹 220.25 枝 21.35	67,504,595	37. 6. 18 38. 3. 7		
	砂幹線その11工事	幹 207.20	94,969,519	37. 6. 18 38. 2. 14		
	谷端川幹線その1工事	幹 500.50	63,602,558	37. 7. 24 38. 3. 23		
	千駄ヶ谷幹線その5工事	幹 190.00 枝 10.00	48,060,877	37. 8. 21 38. 3. 27		
	神田川幹線その11工事	幹 159.50 枝 110.10	46,754,263	37. 10. 6 繰越施工	繰越額 1,135,737円	
	タ その10工事	幹 285.84 枝 46.10	71,273,569	37. 10. 6 38. 3. 30		

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
幹 線	宇田川幹線その5工事	幹枝 175.95 86.00	23,699,494 円	37. 10. 17 38. 3. 1	
	神田川幹線その12工事	幹枝 127.00 139.80	25,443,462	38. 1. 5 38. 3. 30	
	戸塚西幹線その4工事	幹枝 158.71 17.95	28,531,452	38. 1. 10 繰越 施行	繰越額 11,568,548円
	砂幹線その12工事	幹 30.60	18,801,509	38. 1. 7 繰越 施行	繰越額 14,848,491円
	岩淵幹線その8工事障害送水管移転工事	(15.00)	2,180,000	38. 1. 21 38. 3. 30	
	尾久幹線その6工事	幹 62.30	13,240,702	38. 1. 29 繰越 施行	繰越額 14,159,298円
	豊石橋護岸復旧工事施工委託	(11.00)	3,667,000	38. 3. 30	北区役所へ委託
	王子幹線工事	幹枝 514.30 137.05	67,743,509	36. 7. 12 37. 10. 31	36年度より継続施行
	渋谷川幹線その12工事	幹 141.69	33,565,458	36. 11. 6 37. 6. 30	〃
	千駄ヶ谷幹線その1工事	幹枝 107.64 12.00	34,927,420	36. 10. 6 37. 6. 30	〃
	渋谷川幹線その13工事	幹枝 157.41 10.40	41,880,373	37. 1. 20 37. 7. 10	〃
	岩淵幹線その7工事		3,887,996	37. 9. 7	36年度より直営分のみ継続施行
	石神井川下幹線その8工事	幹 68.80	10,889,908	37. 4. 2 37. 8. 15	36年度より継続施行
枝 線	江東区大島町6丁目付近枝線その1工事	223.28	83,431,275	37. 4. 2 38. 2. 28	
	墨田区吾嬬町東3,5丁目付近枝線工事	896.85	124,407,044	37. 4. 2 38. 1. 11	
	渋谷区元広尾町、豊分町付近枝線工事	1,503.24	20,043,901	37. 4. 2 37. 8. 20	
	中野区城山町付近枝線その3工事	1,210.93	15,968,365	37. 4. 2 37. 7. 14	
	豊島区要町2,3丁目付近枝線その2工事	1,504.37	48,113,019	37. 4. 2 37. 10. 8	
	渋谷区代々木富ヶ谷、代々木深町付近迂回道路舗装工事	(1,093m ²)	3,650,000	37. 4. 2 37. 4. 30	
	渋谷区松濤町、神山町付近枝線工事	1,036.60	26,910,598	37. 4. 2 37. 9. 21	
	北区滝野川1丁目、西ヶ原2,3丁目付近枝線工事	1,393.30	19,556,404	37. 4. 2 37. 8. 6	
	渋谷区中通3丁目付近污水管取付工事	80.10	7,647,424	37. 6. 18 37. 8. 25	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 手 期	備 考
枝 線	中野区橋場町本町通5丁目付近枝線工事	1,227.74 <i>m</i>	15,984,609 円	37. 5. 1 37. 8. 28	
	渋谷区栄通1,2丁目, 丹山町付近枝線工事	1,161.13	39,654,883	37. 5. 10 37. 11. 30	
	板橋区大山町付近枝線工事	535.80	14,007,892	37. 5. 18 37. 9. 7	
	渋谷区恵比寿東2丁目, 田每町付近枝線工事	454.05	67,470,080	37. 5. 10 37. 12. 7	
	渋谷区豊沢町, 新橋町付近枝線工事	2,276.45	34,599,074	37. 6. 4 37. 11. 20	
	足立区宮城町付近枝線その2工事	1,202.50	54,704,965	37. 6. 13 38. 2. 5	
	北区赤羽2丁目付近枝線工事施工委託	71.45	9,986,257	37. 4. 30 38. 3. 30	国鉄へ委託
	目黒区下目黒3丁目付近枝線工事	315.10	45,454,706	37. 6. 20 38. 3. 20	
	渋谷区代々木深町付近 〃	532.39	88,185,072	37. 6. 18 38. 3. 23	
	江戸川区平井1丁目, 逆井2丁目付近 〃	283.60	108,630,051	37. 6. 18 38. 3. 19	
	中野区神明町, 栄町通2丁目付近 〃	1,128.13	25,177,957	37. 7. 4 38. 2. 7	
	渋谷区千駄ヶ谷3丁目付近 〃	859.80	10,604,502	37. 7. 6 37. 10. 26	
	千代田区麹町5丁目付近 〃	67.30	1,047,086	37. 7. 5 37. 8. 4	
	千代田区永田町1丁目付近 〃	183.50	3,781,242	37. 7. 5 37. 8. 4	
	江東区南砂町1,2丁目付近枝線工事 に伴う架空線の撤去並びに復旧工事 施工委託		266,800	37. 11. 15 38. 1. 21	汽車製造株式会社 へ委託
	江東区南砂町1,2丁目付近枝線工事 施工委託	18.20	4,409,915	37. 7. 2 38. 3. 30	国鉄へ委託
	江東区南砂町5,6丁目付近 道路舗装工事	(9,760 <i>m</i> ²)	4,350,000	37. 7. 30 37. 10. 15	
	北区西ヶ原1,2丁目付近 枝線工事	1,562.74	27,978,622	37. 8. 1 38. 1. 22	
	品川区中延4.5丁目付近 〃	280.49	35,990,498	37. 8. 10 38. 1. 12	
	渋谷区緑岡町, 羽沢町付近 枝線その2工事	929.50	39,551,568	37. 8. 2 38. 2. 11	
	新宿区柏木3,4丁目付近枝線工事	1,528.17	70,734,624	37. 8. 10 38. 3. 15	
	杉並区阿佐ヶ谷1,2丁目付近 〃	229.11	34,048,170	37. 8. 30 38. 3. 30	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竿 手 功	備 考
枝 線	渋谷区千駄ヶ谷1丁目付近 枝線工事	1,401.50 <i>m</i>	34,602,083	年 月 日 37. 8. 20 38. 2. 19	
	杉並区和田本町付近枝線その2工事	193.70	27,486,403	37. 8. 17 38. 3. 23	
	江東区木場3,4丁目, 千石町1丁目付近枝線工事	1,977.38	46,743,458	37. 8. 15 38. 3. 6	
	渋谷区代々木山谷町, 深町付近 々	371.20	52,625,040	37. 8. 21 38. 3. 23	
	豊島区自白4丁目, 池袋3丁目付近 々	1,581.55	24,718,330	37. 8. 15 38. 3. 26	
	渋谷区原宿1丁目 々	150.10	4,541,421	37. 8. 28 37. 10. 26	
	墨田区吾嬬西1丁目 々	150.35	3,209,193	37. 8. 22 37. 10. 10	
	北区豊島1丁目 々	7.15	4,419,081	37. 8. 30 37. 11. 20	
	板橋区中丸町 々	214.50	35,351,257	37. 9. 24 38. 2. 25	
	渋谷区千駄ヶ谷3丁目付近枝線その2工事	419.80	61,746,599	37. 8. 25 38. 3. 8	
	北区滝野川6丁目付近枝線工事	1,246.36	22,552,532	37. 9. 6 37. 12. 25	
	台東区上野公園8番地付近 枝線工事	310.80	4,774,427	37. 9. 4 37. 10. 31	
	北区中十条2,3丁目付近 々	1,625.50	32,114,802	37. 9. 13 38. 3. 20	
	北区赤羽町1,2丁目付近 々	455.53	56,231,242	37. 9. 24 38. 3. 20	
	足立区千住緑町2,3丁目, 千住河原町付近 々	986.64	16,282,312	37. 9. 11 38. 1. 12	
	江東区南砂町1,8丁目付近 々	455.22	50,924,738	37. 9. 26 繰越 施行	繰越額 26,890,262円
	豊島区雑司ヶ谷1丁目付近 枝線その2工事	640.80	6,187,512	37. 9. 11 37. 11. 14	
	渋谷区千駄ヶ谷2丁目付近 枝線工事	835.49	63,821,424	37. 9. 26 38. 3. 28	
	豊島区高松町1丁目付近 々	1,456.96	36,210,607	37. 9. 13 38. 3. 12	
	港区三田綱町, 白金三光町付近 々	1,621.66	21,751,296	37. 9. 25 38. 2. 4	
	大田区市野倉町新井宿7丁目付近 々	297.00	37,018,523	37. 9. 25 38. 3. 22	
	荒川区南千住町8,10丁目付近 々	1,139.79	27,646,861	37. 10. 12 38. 3. 6	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
枝 線	渋谷区代々木山谷町付近 枝線工事	361.40 ^m	41,762,442 円	年 月 日 37. 10. 5 38. 3. 30	
	渋谷区穂田3丁目神宮通2丁目付近 〃	1,273.10	24,909,181	37. 10. 5 38. 3. 18	
	新宿区下落合2,3丁目付近 〃	1,246.58	44,872,589	37. 10. 3 38. 3. 30	
	荒川区日暮里4丁目付近 〃	58.00	8,596,196	37. 11. 9 38. 1. 31	
	墨田区隅田町1丁目付近枝線その3 工事	124.43	47,105,533	37. 10. 6 38. 3. 30	
	墨田区吾嬬町東7,8丁目付近枝線工 事	395.00	41,878,560	37. 10. 17 38. 3. 13	
	渋谷区代々木富ヶ谷町付近 枝線工事	1,418.35	27,301,904	37. 10. 17 38. 3. 30	
	渋谷区恵比寿西1,2丁目付近 〃	1,130.61	18,525,827	37. 10. 18 38. 2. 20	
	墨田区横網町2番地 〃	101.60	1,708,125	37. 10. 15 37. 12. 7	
	杉並区和田本町付近枝線その3工事	448.14	13,931,139	37. 10. 16 38. 2. 23	
	中野区野方町2丁目付近枝線工事	731.15	42,945,563	37. 10. 23 38. 3. 15	
	渋谷区松濤町付近 枝線工事	1,454.75	21,176,064	37. 10. 15 38. 2. 2	
	渋谷区鶯谷町八幡通2丁目付近 〃	376.70	39,497,493	37. 11. 5 繰越 施行	14,983,709円
	渋谷区恵比寿東2丁目付近 〃	546.05	60,506,537	37. 10. 23 38. 3. 30	
	中野区川添町付近 〃	307.60	18,933,919	37. 11. 1 38. 2. 12	
	足立区宮城町付近枝線その3工事	364.16	29,698,224	37. 11. 8 38. 3. 30	
	中野区小滝町付近枝線工事	581.45	28,249,179	37. 11. 8 38. 3. 6	
	渋谷区青葉町穂田2丁目付近 枝線工事	768.67	23,344,686	37. 11. 12 38. 3. 2	
	渋谷区幡ヶ谷2丁目, 本町5,6丁目 付近 〃	589.30	28,848,304	37. 11. 27 38. 3. 25	
	渋谷区恵比寿東1丁目, 景丘町付近 〃	1,779.03	31,047,196	37. 11. 22 38. 2. 28	
	品川区西品川4丁目付近 〃	646.38	13,691,194	37. 11. 26 38. 3. 16	
	渋谷区恵比寿通1丁目伊達町付近 〃	1,625.41	33,157,055	37. 11. 26 38. 3. 30	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 手 功	備 考
枝 線	目黒区中目黒1丁目下目黒2丁目付近枝線工事	187.74 <i>m</i>	29,553,757 円	年 月 日 37. 11. 26 38. 3. 30	
	江東区大島町6丁目付近枝線その2工事	80.00	19,292,434	37. 12. 8 繰越施工	繰越額 39,897,566円
	新宿区下落合1,2丁目付近枝線工事施工委託	25.20	1,918,000	37. 10. 1 38. 1. 18	西武鉄道へ委託
	渋谷区鶯谷町八幡通2丁目付近枝線工事施工委託	41.30	3,595,287	37. 10. 23 繰越施工	繰越額 104,713円 国鉄へ委託
	江戸川区平井1丁目付近枝線工事施工委託	0	72,065	37. 12. 4 繰越施工	繰越額 17,737,935円 国鉄へ委託
	品川区中延4丁目付近枝線工事施工委託	18.30	2,246,125	37. 10. 3 37. 11. 6	東京急行電鉄へ委託
	品川区荏原1丁目平塚2丁目付近枝線工事	1,009.77	38,486,944	38. 1. 7 38. 3. 30	
	北区豊島4丁目付近枝線工事	288.60	9,160,634	38. 1. 5 38. 3. 30	
	新宿区柏木4丁目付近枝線その2工事	1,062.42	24,703,606	37. 12. 13 38. 3. 30	
	江戸川区平井1丁目付近枝線工事施工委託その2	0	1,509,793	37. 10. 30 繰越施工	繰越額 9,009,207円 東京都建設局へ委託
	荒川区町屋1,3丁目付近枝線工事	1,564.33	26,822,443	38. 1. 7 38. 3. 30	
	豊島区高田本町1丁目付近	410.52	4,371,046	38. 1. 8 38. 3. 2	
	豊島区西巣鴨4丁目付近	717.95	7,276,389	38. 1. 8 38. 3. 30	
	江東区南砂町5,6丁目付近枝線その3工事	844.94	20,009,770	38. 1. 7 繰越施工	繰越額 12,290,230円
	北区岸町1丁目付近枝線工事	119.62	4,597,991	38. 1. 8 38. 3. 30	
	港区溜池町狸穴町付近	426.00	8,475,628	38. 1. 10 38. 3. 27	
	新宿区市ヶ谷台町、市ヶ谷富久町付近枝線工事	826.30	10,583,266	38. 1. 16 38. 3. 30	
	北区西ケ原2丁目滝野川1,2丁目付近	898.45	11,422,153	38. 1. 10 38. 3. 30	
	中野区川添町付近枝線その2工事	465.30	24,502,742	38. 1. 10 38. 3. 30	
	渋谷区代々木本町、代々木富ヶ谷町付近枝線工事施工委託	0	4,920,000	37. 12. 1 繰越施工	繰越額 12,111,000円 小田急電鉄へ委託
	荒川区日暮里町3丁目付近枝線工事	175.30	2,426,259	38. 1. 10 38. 2. 8	
	千代田区麹町1丁目付近	365.85	6,050,558	38. 1. 10 38. 2. 22	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
枝 線	渋谷区本町 5 丁目付近枝線工事	135.60 <i>m</i>	10,359,137 円	年 月 日 38. 1. 16 38. 3. 30	
	新宿区柏木 2 丁目付近枝線その 1 工事	365.40	28,981,651	38. 1. 10 38. 3. 29	
	千代田平河町 2 丁目付近枝線工事	155.15	1,155,051	38. 2. 8 38. 3. 27	
	北区堀船町 2 丁目付近 ◇	129.00	11,345,905	38. 1. 10 繰越 施行	繰越額 28,364,095円
	墨田区吾嬬町西 7,8 丁目付近枝線その 3 工事	548.30	13,673,886	38. 1. 7 38. 3. 30	
	品川区北品川 4,5 丁目付近枝線その 2 工事	483.80	15,586,562	38. 1. 16 38. 3. 30	
	港区芝浦 1 丁目, 西芝浦 1 丁目付近枝線工事	516.10	15,522,734	38. 1. 16 38. 3. 30	
	新宿区西落合 1,2 丁目付近枝線工事	891.67	13,207,275	38. 1. 16 38. 3. 30	
	北区堀船町 1 丁目付近枝線その 1 工事	212.15	20,434,787	38. 1. 16 繰越 施行	繰越額 7,135,213円
	北区堀船町 1 丁目付近枝線 その 2 工事	224.25	14,162,222	38. 1. 16 繰越 施行	繰越額 9,717,778円
	北区赤羽 2 丁目付近枝線その 4 工事	9.15	3,597,682	38. 1. 17 38. 2. 16	
	台東区金杉上町付近枝線工事	495.86	6,450,775	38. 1. 23 38. 3. 15	
	新宿区西落合 1 丁目付近 ◇	571.00	16,280,076	38. 2. 8 38. 3. 30	
	中野区新山通 2 丁目付近 ◇	454.30	7,179,451	38. 2. 8 繰越 施行	繰越額 6,430,549円
	中野区新山通 1 丁目付近 ◇	565.16	12,805,089	38. 2. 8 繰越 施行	繰越額 15,694,911円
	北区王子本町 1 丁目付近 ◇	120.07	6,959,376	38. 2. 8 38. 3. 30	
	北区豊島 8 丁目付近 ◇	433.20	7,849,970	38. 2. 8 38. 3. 30	
	渋谷区西ヶ原 3 丁目元代々木町付近枝線工事に伴う地質調査		400,000	38. 3. 1 38. 3. 25	
	港区青山高樹町, 芝白金三光町付近枝線工事	381.35	9,039,494	38. 2. 27 38. 3. 30	
	渋谷区千駄ヶ谷 2 丁目付近枝線工事	116.40	16,758,365	36. 10. 3 37. 5. 31	36年度より継続施行
	江東区南砂町 5,8 丁目付近 ◇	392.55	41,974,149	36. 10. 24 37. 8. 6	◇
	墨田区吾嬬町東 7 丁目付近 ◇	162.67	21,130,761	36. 10. 30 37. 7. 25	◇

種別	工事名	数量	金額	着工	備考
枝 線	墨田区吾嬬町東6丁目付近枝線工事	215.28m	29,664,861円	年月日 36.12.5 37.9.19	36年度より継続施行
	豊島区池袋1丁目、椎名町1丁目付近枝線工事	611.49	8,258,781	37.3.19 37.6.20	〃
	墨田区隅田町1丁目付近枝線その2工事	94.72	40,281,334	37.1.11 37.9.24	〃
	北区王子本町1,2丁目付近枝線工事	533.54	14,250,390	37.1.16 37.9.8	〃
	渋谷区穂田2丁目付近	0	0		事故繰越 繰越額7,170,000円
	渋谷区並木町付近	0	0		〃 34,180,000円
	渋谷区田每町、恵比寿東2丁目付近枝線その2工事	0	0		〃 21,020,000円
	渋谷区若木町、羽沢町付近枝線工事	0	0		〃 31,900,000円
	渋谷区鶯谷町八幡通2丁目付近枝線その2工事	0	0		〃 23,470,000円
側溝	豊島区池袋4,5丁目付近側溝工事外11件	23,037.72	29,422,013		
試掘		1,917カ所	6,962,779		
設計委託	渋谷区代々木本町、代々木富ヶ谷町付近枝線工事設計委託		344,000	37.5.26 37.12.14	小田急電鉄へ委託
	渋谷区青葉町、穂田2丁目付近枝線工事外4カ所設計委託		2,100,000	37.1.17 37.8.11	36年度より継続施行
	品川区大井金子町付近枝線工事外4カ所設計委託		2,621,450	37.1.17 38.8.11	〃
	渋谷区代々木深町付近枝線工事外4カ所設計委託		3,243,000	37.1.13 37.9.7	〃
	渋谷区恵比寿1丁目、伊達町付近枝線工事外4カ所設計委託		2,100,000	37.2.8 37.8.10	〃

(2) ポンプ場建設

種別	工事名	数量	金額	着工	備考
構築物	日本堤ポンプ所建設その3工事	流入渠 72.85m その他	54,872,722円	年月日 37.7.7 38.2.28	
	宮城ポンプ所建設その1工事	流入渠 9.00m 雨水沈砂池2池 その他	64,760,214	37.9.26 38.3.30	
	大島ポンプ所雨水吐工事	放流渠} の一部 吐口	183,145	37.12.10 繰越 施行	繰越額 35,844,823
	同上 放流渠工事	放流渠} の一部 流入渠	56,148,892	36.11.30 37.10.10	36年度より継続 施行

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 端	手 功	備 考
構築物及び建物基礎	尾久ポンプ所建設その1工事	上家基礎	円 14,200,000	年 月 日 37. 12. 12 38. 3. 30		
建 物	藍染ポンプ所上家その他工事	ポンプ室上家 m^2 延床面積2,491.55 その他	131,931,909	37. 4. 2 38. 1. 31		
	大島ポンプ所上家新築工事	ポンプ室上家 延床面積 3,303 m^2 その他	119,200,000	37. 4. 2 38. 2. 20		
	日本堤ポンプ所建設その2工事	ポンプ室上家 } の その他 } 一部	87,811,801	36. 7. 12 37. 10. 10	36年度より継続 施行	
機 械 装 置	隅田ポンプ所ポンプ設備その1工事	雨水ポンプ 1台 汚水ポンプ 1台 その他	59,900,000	37. 6. 11 38. 2. 25		
	千住ポンプ所ポンプ設備その1工事	雨水ポンプ 3台 汚水ポンプ 1台	113,600,000	37. 6. 18 38. 3. 4		
	藍染ポンプ所沈砂池機械設備工事	雨水用阻水扉 4面 汚水用阻水扉 1面 その他	70,270,000	37. 6. 18 38. 3. 9		
	千住ポンプ所 沈砂池機械設備その1工事	雨水用阻水扉 4面 汚水用阻水扉 1面 その他	52,490,000	37. 6. 11 38. 3. 15		
	隅田ポンプ所 沈砂池機械設備その1工事	雨水用阻水扉 4面 汚水用阻水扉 1面 その他	50,300,000	37. 6. 11 38. 3. 6		
	砂町ポンプ所 汚水ポンプ設備その1工事	汚水ポンプ } の 排水ポンプ } 一 給水ポンプ } 部	21,690,000	37. 6. 21 縹越 施行	縹越額 12,710,000円	
	日本堤ポンプ所 沈砂池機械設備その1工事	ろ格機 1台 その他	10,280,000	37. 6. 21 37. 10. 20		
	隅田ポンプ所 起重機設備工事	15t天井走行 1基 起 重 機 その他	4,755,000	37. 7. 19 37. 12. 11		
	千住ポンプ所 起重機設備工事	15t天井走行 1基 起 重 機 その他	7,333,000	37. 7. 19 37. 12. 15		
	日本堤ポンプ所 沈砂池機械設備その2工事	阻水扉 } の一部 揚泥機 } その他	19,543,000	37. 7. 19 縹越 施行	縹越額 3,957,000円	
電 気 設 备	千住ポンプ所電気設備その1工事	配電盤 1式 その他	50,700,000	37. 6. 11 38. 3. 25		
	隅田ポンプ所電気設備その1工事	高圧受電装置 1式 その他	33,600,000	37. 6. 21 38. 3. 25		
	千住ポンプ所受電線路新設工事	地中線専用設備	5,950,110	38. 2. 1 38. 2. 28	東京電力千住支社 へ委託	
	大島ポンプ所仮受電設備工事	仮受電設備 1式 その他	414,800	38. 2. 21 38. 3. 4		
設 管 理 委 託	隅田ポンプ所構内管理委託	本館 延床掃除面積 1,693.59 m^2	728,885	37. 4. 1 37. 9. 30		
	千住ポンプ所構内管理委託	本館 延床掃除面積 2,048.60 m^2	784,825	37. 4. 1 37. 9. 30		
	大島ポンプ所上家新築工事 管理委託	ポンプ所上家 建築面積 2,514 m^2	1,440,000	37. 4. 2 38. 2. 30		

種別	工事名	数量	金額	着工	手功	備考
設管理委託	藍染ポンプ所上家その他工事監理委託	ポンプ所上家 建築面積 1,503.85m ²	円 1,080,000	年月日 37. 4. 2 38. 1. 31		
	日本堤ポンプ所阻水屋室上家及び公舎その他工事設計委託		460,000	37. 4. 2 37. 5. 19		
	尾久ポンプ所上家新築工事設計委託		3,990,000	37. 7. 17 37. 10. 17		
	隅田ポンプ所構内管理委託	本館 延床掃除面積 1,693.59m ²	921,553	37. 10. 1 38. 3. 31		
	千住ポンプ所構内管理委託	本館 延床掃除面積 2,048.60m ²	1,127,801	37. 10. 1 38. 3. 31		
	宮城ポンプ所建設その1工事監理委託	ポンプ所上家	367,500	37. 11. 6 38. 3. 30		
	隅田、千住ポンプ所公舎新築に伴う設計委託		200,000	37. 11. 9 37. 12. 17		
	宮城ポンプ所上家新築工事設計委託		3,000,000	37. 1. 29 37. 5. 2	36年度より継続 施行	
	日本堤ポンプ所上家新築工事設計及び監理委託		1,960,000	36. 5. 7 37. 10. 10	々	
その他	日本堤ポンプ所建設その4工事	ポンプ設備撤去 6台 ポンプ所上家撤去	10,900,000	37. 12. 10 38. 3. 16		
	江東区大島6丁目住宅公園管渠移設工事	151.80m ² その他 } の一部	2,440,000	37. 3. 9 37. 10. 10	36年度より継続 施行	

(3) 処理場建設

種別	工事名	数量	金額	着工	手功	備考
構築物	芝浦下水処理場 高速曝気沈澱槽その2工事	高速曝気沈澱槽 2槽 付帯設備 1式	円 149,555,431	年月日 37. 4. 2 38. 1. 29		
	同上 超高段沈砂池及び上家工事	沈砂池 2池 上家建築面積 329.40m ²	28,673,454	37. 4. 2 37. 11. 15		
	落合処理場 送泥管その3工事	遠心力鉄筋コンクリート管 85.40m	4,884,000	37. 6. 26 37. 8. 13		
	同上 その4工事	遠心鉄管コンクリート管 114.70m	6,698,000	37. 6. 26 37. 11. 22		
	同上 その5工事	ダクタイル鋳鉄管 鋼管 1,723.80m	24,590,455	37. 6. 26 38. 3. 30		
	同上 その6工事	ダクタイル鋳鉄管 鋼管 1,989.30m	28,561,350	37. 6. 26 37. 12. 19		
	森ヶ崎西処理場建設その1工事	本館下部躯体 建築面積 4,698.75m ²	194,251,750	37. 6. 18 38. 3. 26		
	芝浦処理場 量水槽増設工事	量水槽 巾6.10m×深4.40m×長19.00m	14,939,170	37. 7. 16 38. 1. 29		
	砂町処理場 汚泥消化槽その3工事	汚泥消化槽の 4槽 その他 } 一部	104,095,657	37. 8. 30 継続 施行	継続額 16,343円	

種別	工事名	数量	金額	着工 年月日	竣工 年月日	備考
構築物	落合処理場 送泥管その8工事	遠心力鉄筋コンクリート管 17m ダクタイル鉄管 47m	円 2,231,804	37. 8. 27 繰越施工	37. 9. 13 38. 2. 8	継越額(国鉄委託分のみ) 47,648円
	落合処理場 建設その3工事	導水渠 120.00m その他	27,457,272	37. 10. 3 38. 2. 28		
	落合処理場 送泥管その7工事	ダクタイル鉄管 640.00m	9,776,002	37. 10. 6 38. 5. 16		
	落合処理場 空気本管その他工事	空気管 鉄管 220m 鋼管 630m	29,550,000	37. 10. 6 38. 5. 16		
	落合処理場 建設その4工事	第二沈殿池 5 } の 池 雨水放流 } 一部 渠 114m }	124,145,997	37. 10. 6 繰越施工	37. 10. 6 38. 3. 30	継越額 9,198,003円
	落合処理場 送泥管工事施工委託	遠心力鉄筋コンクリート管 45.00m	1,482,854	37. 8. 29 38. 2. 28		国鉄へ委託
	同上	同上 42.00m	4,020,000	37. 10. 1 38. 2. 28		西武鉄道へ委託
	落合処理場 送泥管その9工事	ダクタイル鉄管 31.00m 鋼管 45.00m	2,275,666	38. 1. 10 38. 3. 30		
	落合処理場 建設その2工事	曝気槽 4槽 } の 曝気槽上部 } 一部	299,275,110	36. 7. 12 37. 11. 30		36年度より継続 施工
	小台処理場 建設その6工事	前曝気槽 1槽 } の 第一沈殿池 3 } 一部 池 その他	225,099,616	36. 10. 6 37. 10. 3		〃
建物	小台処理場 公舎新築工事	公舎 3階建 鉄筋 コンクリート造 12戸延713.16m ²	28,560,000	37. 2. 27 37. 9. 27		〃
ポンプ	芝浦処理場 汚泥処理工場薬液ポンプ設備 その他工事	薬液ポンプ 1式 ろ液ポンプ 3台 その他	3,430,000	37. 4. 2 37. 6. 29		
	三河島処理場散気式 曝気槽防泡設備工事	渦巻ポンプ 3台 自吸水ポンプ 1台	4,400,000	37. 9. 27 37. 12. 15		
	砂町処理場 曝気槽防泡設備その他工事	防泡ポンプ 4台 真空ポンプ 2台 その他	23,000,000	37. 10. 11 38. 3. 30		
機械設備	砂町処理場 ボイラーその他設備その2工事	ボイラー 1缶 熱交換器 4基 その他	60,600,000	37. 6. 18 38. 3. 9		
	芝浦処理場 超高段沈砂池機械設備工事	阻水扉 2面 揚泥機 2組 その他	23,180,000	37. 8. 1 38. 3. 25		
	落合処理場 散気設備その1工事	曝気槽散気装置 } の 688組(2槽分)モノレール 860m } 部	30,220,000	37. 10. 6 繰越施工	37. 10. 6 繰越施工	継越額 60,000円
	芝浦処理場 送風機その3工事	多段ターボブリの ロワー 2台 電動機 2台 } 部	41,400,000	36. 12. 19 37. 10. 16	36. 12. 19 37. 10. 16	36年度より継続 施工
	芝浦処理場 第二沈殿池機械設備その2工事	採泥機 2台 } の 電気設備 1式 } 一部	16,480,000	36. 12. 19 37. 8. 18	36. 12. 19 37. 8. 18	〃
	芝浦処理場 曝気槽散気設備その3工事	散気板取付 5,18枚 空気 } 一部 管 1,207m }	23,872,944	36. 12. 19 37. 8. 11	36. 12. 19 37. 8. 11	〃
	砂町処理場 第二沈殿池機械設備その3工事	汚泥搔集機 } の 2池分 } その他 その他 } 部	45,700,000	36. 12. 19 37. 8. 7	36. 12. 19 37. 8. 7	〃
	砂町処理場 送風機その3工事	多段ターボブリの ロワー 1台 } 部 その他 } 部	23,600,000	36. 12. 19 37. 10. 10	36. 12. 19 37. 10. 10	〃

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
機 械 設 備	砂町処理場 曝氣槽散気設備その3工事	散気板取付 5,184枚 その他	円 37,722,944	年 月 日 36. 12. 9 37. 8. 13	36年度より継続 施行
電 気 設 備	芝浦処理場 電気設備その2工事	配電盤工事 その他1式	18,800,000	36. 12. 9 37. 10. 16	〃
	小台処理場 受電線路新設工事	地中線設備工事	4,213,448	36. 12. 21 37. 3. 31	〃 東電へ委託
	落合処理場 曝氣槽電気設備配管工事	電線管 11,297m その他	4,800,000	37. 3. 8 37. 11. 26	36年度より継続 施行
	砂町処理場 特高受電線路引替工事		914,064	37. 3. 16 37. 5. 19	〃 東電へ委託
付 帯 工 事	芝浦処理場 汚泥処理工場西側埋立その1工事	鉄筋コンクリート 製矢板 397本 その他	29,590,900	37. 7. 10 38. 3. 30	
	砂町処理場 本館付近造園その他工事	整地面積 5,600m ² その他	2,290,000	37. 6. 22 37. 7. 14	
	小台処理場整備工事	整地面積 8,000m ² その他	1,200,000	37. 9. 8 37. 9. 25	
	新宿区八幡公園工事	児童公園 1,057m ²	1,690,000	37. 9. 27 37. 12. 10	
	小台処理場危険防止用 人止柵その他仮設工事	人止柵 273.00m その他	390,000	37. 12. 1 37. 12. 15	
設 監 理 委 託	落合処理場 本館管理委託	本館床延面積 15,080m ² 機械類	1,225,000	37. 4. 2 37. 9. 30	
	同 上	同 上	1,225,000	37. 10. 1 38. 3. 31	
	砂町処理場 本館付近造園その他工事設計委託		34,000	37. 5. 14 37. 5. 24	建設局へ委託
	落合処理場 建設その2工事監理委託		2,850,000	36. 10. 30 37. 12. 11	36年度より継続 施行

(4) 失業対策管渠施設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣 手 功	備 考
枝 線	渋谷区原宿2丁目付近 枝線その2工事	m 1,383.55	円 22,462,758	年 月 日 37. 4. 2 38. 3. 30	
	荒川区尾久町9,10丁目付近 枝線工事	1,283.62	25,623,207	37. 4. 2 38. 3. 30	
	北区東十条1,2,3丁目付近 〃	1,185.58	20,411,008	37. 4. 2 38. 3. 30	

(5) 特別失業対策管渠敷設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣	手 功	備 考
枝 線	豊島区池袋4,5丁目付近 枝線工事	1,425.68 <i>m</i>	35,521,256 円	年 月 日 37. 8. 17 37. 12. 8		
	新宿区下落合1,2丁目付近 枝	1,277.05	28,768,692	37. 8. 17 37. 12. 24		
	板橋区大山金井町, 熊野町付近 枝	2,019.90	33,268,112	37. 8. 17 38. 2. 27		
	渋谷区上通2丁目美竹町付近 枝	2,033.35	23,769,683	37. 9. 7 38. 2. 27		
	渋谷区若木町氷川町付近 枝	1,567.25	20,736,701	37. 10. 5 38. 2. 16		
	北区西ヶ原1,2丁目付近 枝線その2工事	926.78	19,344,297	37. 11. 8 38. 3. 30		
	新宿区柏木4丁目付近 枝線その1工事	952.20	18,221,815	37. 11. 8 38. 3. 22		
	北区田端町 枝線その2工事	1,091.71	16,119,522	37. 11. 26 38. 3. 15		
	北区上中里2丁目付近 枝線工事	847.20	26,176,634	37. 11. 26 38. 3. 26		
	豊島区池袋4丁目付近 枝線工事	623.70	9,979,390	37. 12. 5 38. 3. 26		
	豊島区池袋4,5丁目付近 枝線その2工事	736.73	9,357,904	37. 12. 5 38. 3. 9		
	渋谷区八幡通3丁目代官山町付 近枝線工事	1,567.09	26,374,782	37. 12. 7 38. 3. 30		
	豊島区池袋1,4丁目付近 枝線工事	1,712.18	22,791,641	37. 12. 13 38. 3. 22		

(6) 整 備 拡 充

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣	手 功	備 考
管 渠	谷田川幹線放流渠その3工事	101.60 <i>m</i>	71,741,088 円	年 月 日 37. 6. 11 38. 1. 11		
	谷端川幹線雨水吐その3工事	幹線 140.00 枝線 137.49	65,076,866	37. 7. 21 38. 3. 22		
	谷田川幹線放流渠その4工事	65.00	35,565,203	37. 10. 11 38. 2. 11		
	藍染川幹線雨水吐の設計に伴う 地質調査工事		412,000	37. 8. 27 37. 10. 17		
	谷端川幹線雨水吐その4工事	63.00	52,091,844	37. 10. 6	継越 施行	継越額 1,988,156円

種別	工事名	数量	金額	着手 年月日	手 工	備考
管渠	白山幹線雨水吐その3工事	m ⁰ 78,537,464	円	37. 10. 6 縦越施工		縦越額 12,962,536円
	同上 その4工事	0 37,535,925		37. 10. 6 縦越施工		10,764,075円
	明石町幹線その2工事	42.00	14,084,491	37. 12. 10 38. 3. 30		
	藍染川幹線雨水吐その1工事	幹線 69.00 枝線 91.30	33,071,888	37. 12. 13 縦越施工		縦越額 23,198,112円
	千代田区堀留橋伏越工事	36.85	8,350,274	36. 12. 15 37. 5. 31		36年度より継続 施工
	明石町幹線その1工事	60.89	15,455,212	37. 1. 10 37. 6. 4		
	高段幹線赤羽橋伏越工事	163.00	39,406,867	37. 3. 22 38. 3. 30		
	谷端川幹線改良その4工事	131.40	12,180,000	37. 3. 20 37. 5. 28		
処理場	三河島処理場 送泥管改造その1工事	ダクタイル鉄管 1,366.80	18,011,943	37. 7. 2 38. 11. 7		
	同上 処理施設改造その1工事	散水ろ床12床取扱し	83,987,822	37. 10. 6 38. 3. 11		
	同上 送泥管改造その2工事	ダクタイル鉄管 1,187.10 遠心力鉄筋コンクリート 管 22.20	16,209,737	37. 12. 4 38. 3. 15		
	同上 その3工事	ダクタイル鉄管 2,585.00 鋼管 35.00	32,618,883	37. 12. 4 38. 3. 22		
	同上 その4工事	ダクタイル鉄管 2,297.00 鋼管 30.00	29,853,383	37. 12. 4 38. 3. 20		
	同上 その5工事	ダクタイル鉄管 3,106.00 鋼管 112.00	28,545,360	37. 12. 4 38. 3. 30		
	同上 その6工事	遠心力鉄筋コンクリート 管 96.00	12,819,387	37. 12. 4 38. 3. 14		
	同上 送泥管改造工事	17.00	2,042,000	37. 12. 22 38. 3. 30		京成電鉄へ委託
設計委託	同上 処理施設覆蓋工事設計委託		9,400,000	37. 11. 10 38. 3. 14		

第2節 改良工事

総括表

種別		施行内容																																																																																												
管渠施設	円 332,955,762	人孔 103カ所 污水辯 1,750カ所	その他																																																																																											
ポンプ施設	円 89,220,975	<table> <tr><td>機械及装置</td><td>錢瓶町ポンプ所</td><td>汚水ポンプ</td><td>1台</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>電磁弁開度計</td><td>3台</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>水銀灯</td><td>14灯</td></tr> <tr><td></td><td>桜橋ポンプ所</td><td>阻水扉</td><td>2基</td></tr> <tr><td></td><td>浜町ポンプ所</td><td>ディーゼル発電気</td><td>1台</td></tr> <tr><td></td><td>南千住ポンプ所</td><td>入口阻水扉</td><td>2基</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>水位計</td><td>一式</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>給水ポンプ</td><td>1台</td></tr> <tr><td></td><td>木場ポンプ所</td><td>特高受電線</td><td>1回線</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>圧力ポンプ</td><td>2台</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>螢光灯</td><td>18基</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>灯柱</td><td>8本</td></tr> <tr><td></td><td>業平橋ポンプ所</td><td>誘動電動機</td><td>1台</td></tr> <tr><td></td><td>三之橋ポンプ所</td><td>蝶形弁</td><td>3台</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>フラップ弁</td><td>3台</td></tr> <tr><td>構造物</td><td>小台仮排水所</td><td>上屋</td><td>16.85m²</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>雨水ポンプ</td><td>1台</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>ろ格その他</td><td>一式</td></tr> <tr><td></td><td>八幡堀仮排水所</td><td>上屋</td><td>26m²</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>雨水ポンプ</td><td>1台</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>その他</td><td>一式</td></tr> <tr><td>設計委託</td><td>洲崎仮排水所上屋</td><td></td><td>一式</td></tr> <tr> <td>処理施設</td><td>構造物</td><td>芝浦処理場</td><td>阻水扉 1門 沈砂置場 140m² 上屋 199.5m² 鉄管 254m</td></tr> </table>	機械及装置	錢瓶町ポンプ所	汚水ポンプ	1台			電磁弁開度計	3台			水銀灯	14灯		桜橋ポンプ所	阻水扉	2基		浜町ポンプ所	ディーゼル発電気	1台		南千住ポンプ所	入口阻水扉	2基			水位計	一式			給水ポンプ	1台		木場ポンプ所	特高受電線	1回線			圧力ポンプ	2台			螢光灯	18基			灯柱	8本		業平橋ポンプ所	誘動電動機	1台		三之橋ポンプ所	蝶形弁	3台			フラップ弁	3台	構造物	小台仮排水所	上屋	16.85m ²			雨水ポンプ	1台			ろ格その他	一式		八幡堀仮排水所	上屋	26m ²			雨水ポンプ	1台			その他	一式	設計委託	洲崎仮排水所上屋		一式	処理施設	構造物	芝浦処理場	阻水扉 1門 沈砂置場 140m ² 上屋 199.5m ² 鉄管 254m
機械及装置	錢瓶町ポンプ所	汚水ポンプ	1台																																																																																											
		電磁弁開度計	3台																																																																																											
		水銀灯	14灯																																																																																											
	桜橋ポンプ所	阻水扉	2基																																																																																											
	浜町ポンプ所	ディーゼル発電気	1台																																																																																											
	南千住ポンプ所	入口阻水扉	2基																																																																																											
		水位計	一式																																																																																											
		給水ポンプ	1台																																																																																											
	木場ポンプ所	特高受電線	1回線																																																																																											
		圧力ポンプ	2台																																																																																											
		螢光灯	18基																																																																																											
		灯柱	8本																																																																																											
	業平橋ポンプ所	誘動電動機	1台																																																																																											
	三之橋ポンプ所	蝶形弁	3台																																																																																											
		フラップ弁	3台																																																																																											
構造物	小台仮排水所	上屋	16.85m ²																																																																																											
		雨水ポンプ	1台																																																																																											
		ろ格その他	一式																																																																																											
	八幡堀仮排水所	上屋	26m ²																																																																																											
		雨水ポンプ	1台																																																																																											
		その他	一式																																																																																											
設計委託	洲崎仮排水所上屋		一式																																																																																											
処理施設	構造物	芝浦処理場	阻水扉 1門 沈砂置場 140m ² 上屋 199.5m ² 鉄管 254m																																																																																											

種別	施工内容
処理施設	三河島処理場 砂町処理場 芝浦処理場 三河島処理場 砂町処理場
機械及び装置	阻水扉油圧ポンプ 2台 門扉シリンダー 2箇 接合弁 一式 汽缶室 63.8m^2 汚水ポンプ室 43.12m^2 阻水扉油圧開閉装置 2基 丸型水槽 2基 排水管 191.5m 汚泥ポンプ 6台 真空ポンプ 2台 電動制水弁 5台 水量測定装置 3組 搔集機胴及腕 8台 採泥機 8台 構内電話 31台 自動交換機 1台 電話ケーブル 1式 高圧配電盤 1式 机型監視盤 一式 水量測定装置 1組 ろ格機 2面 換気設備他 1式
諸設備	74,069,670円

(1) 管渠施設

種別	工事名	数量	金額	着工日	竣工日	備考
人孔	北部管理事務所三河島出張所管内人孔改良工事	人孔 28ヶ所	円 659,027	37. 7. 26	37. 8. 2	
	江東区平人町1,2丁目汐浜橋付近人孔移設工事	〃 3 〃	757,271	37. 8. 1	37. 12. 6	
	中部管理事務所大手町出張所管内人孔新設工事	〃 10 〃	1,455,322	37. 10. 8	37. 11. 12	
	中部管理事務所柳町出張所管内人孔新設工事	〃 4 〃	361,728	37. 9. 19	37. 10. 2	

種別	工事名	数量	金額	着手日	備考
人孔	北部管理事務所日本提出張所管内人孔改良工事	人孔上部改造 人孔撤去 28ヶ所 28ヶ所	651,519	37. 10. 3 37. 10. 25	
	荒川区尾久町4丁目地先伏越人孔改良工事	人孔 2ヶ所	825,853	37. 11. 1 37. 12. 7	
污水樹並 同取付管	北部管理事務所三河島出張所管内污水樹新設工事	污水樹 200ヶ所	2,741,550	37. 6. 21 37. 7. 17	
	北部管理事務所日本提出張所管内污水樹上部改良工事	污水樹上部改造 500ヶ所	2,646,479	37. 10. 5 37. 11. 13	
	北部管理事務所三河島出張所管内污水樹改良工事	上部改良 542ヶ所	3,630,658	37. 10. 19 37. 11. 21	
	新宿区市ヶ谷荒木町付近污水樹新設工事	污水樹 32ヶ所	502,234	37. 10. 10 37. 11. 1	
	中部管理事務所城山町出張所管内污水樹新設工事	ヶ所 185ヶ所	2,179,358	38. 1. 22 38. 3. 20	
	中部管理事務所柳町出張所管内污水樹新設工事	ヶ所 100ヶ所	1,246,963	38. 1. 14 33. 2. 18	
	中部管理事務所中之橋出張所管内污水樹新設工事	ヶ所 191ヶ所	2,791,666	38. 2. 25 38. 3. 30	
	台東区駒形1,2丁目付近管渠改良工事	φ250~450cm 348m	9,776,993	37. 5. 1 37. 7. 17	
その他	台東区浅草橋3丁目付近	ヶ所 300~600ヶ所 117.25ヶ所	6,341,479	37. 4. 25 37. 8. 11	
	港区青山南町5丁目88番地先管渠敷設替工事	ヶ所 350~ 1400×1400ヶ所 74.75ヶ所	4,082,890	37. 7. 9 37. 9. 10	
	墨田区緑町1,2,3丁目付近管渠敷設替工事	φ250~600ヶ所 984.35ヶ所	17,837,071	37. 7. 12 37. 12. 15	
	中央区月島仲通9,10,11丁目付近管渠改良工事	ヶ所 250~700ヶ所 482.25ヶ所	14,409,674	37. 8. 16 37. 11. 6	
	港区新橋~大門間管渠敷設替工事	ヶ所 250~400ヶ所 655.95ヶ所	11,689,957	38. 1. 16 38. 3. 7	
	中央区宝町1丁目付近管渠改良工事	ヶ所 900cm 31.60ヶ所	5,096,904	37. 12. 15 38. 3. 1	
	外 34件				
試堀費			656,169		
事務費			9,345,325		
計			332,955,762		

(2) ポンプ施設

種別	工事名	数量	金額	着工 年月日	竣功 年月日	備考
機及置 械	木場ポンプ所特高受電線路引替工事	20KV, SLN60° 1回線新設 20KV, SL60°をSLN60°に取替	円 5,408,968	36. 12. 26	37. 5. 10	
	業平橋ポンプ所雨水ポンプ改良工事	1,140mm羽根車等取替 1台 誘導電動機 1台, 蓄電池 1台	10,400,000	37. 6. 8 38. 3. 30		
	木場ポンプ所圧力ポンプ並び油圧管その他改良工事	口径75mm圧力ポンプ 2台 油圧管操作装置 取替一式	15,890,000	37. 7. 17 38. 3. 30		
	銭瓶町ポンプ所汚水ポンプ改良工事	900mm汚水ポンプ 1台 電動機管弁共一式	19,900,000	37. 7. 14 38. 3. 30		
	銭瓶町ポンプ所入口阻水扉改良工事	電動式油圧遠方操作 電磁弁開度計 3台 その他附属品一式	3,605,000	37. 8. 6 38. 3. 30		
	三王橋ポンプ所雨水ポンプフラツフ弁その他改良工事	蝶形弁取替 3台 フラツフ弁新設 3台	12,100,000	37. 8. 25 38. 3. 30		
	桜橋ポンプ所阻水扉その他改良工事	阻水扉 2基 ろ格機その他改良	2,330,000	37. 9. 17 37. 12. 14		
	吾嬬ポンプ所篩渣搬出装置改良工事	高架ホッパー 3m³入 付帶工事一式	1,580,000	37. 9. 24 38. 2. 19		
	浜町ポンプ所発電気設備工事	ディーゼル発電機 1台 附帶設備一式	2,270,000	37. 10. 25 38. 3. 26		
	南千住ポンプ所入口阻水扉その他改良工事	入口阻水扉 2基 水位計 一式 給水ポンプ 1台	3,780,000	37. 11. 1 38. 3. 30		
構造物	銭瓶町ポンプ所電気設備改良工事	水銀灯 14灯 灯栓共一式	775,000	37. 10. 29 38. 1. 26		
	木場ポンプ所照明設備改良その他工事	灯柱 8本 螢光灯 18基 配線その他工事一式	970,000	38. 2. 2 38. 3. 22		
	荒川区尾久8町丁目小台橋仮排水所設備工事	上屋建坪 16.85m² ポンプ口径300mm 1台 ろ格その他一式	3,230,000	37. 4. 2 37. 7. 5		
設計委託	八幡堀仮排水所設備工事	上屋木造建坪 26m² 口径600mmポンプ 1台 その他一式	6,481,283	37. 8. 20 37. 12. 4		
	洲崎仮排水所上屋新築に伴う設計委託	設計見積一式	130,000	38. 3. 14 38. 3. 20		
事務費			370,000			
合計			89,220,975			

(3) 処理場施設

種別	工事名	数量	金額	着工 年月日	竣工 年月日	備考
構造物	芝浦処理場高段放流阻水扉改良工事	阻水扉 1門 その他附帶工事一式	円 3,850,000	37. 7. 6	38. 3. 5	
	砂町処理場入口阻水扉給水槽その他改良工事	阻水扉油圧開閉装置 2基 丸型水槽 2基	14,700,000	37. 7. 30 38. 3. 8		

種別	工事名	数量	金額	着竣 年月日	手功	備考
構造物	三河島処理場入口阻水扉その他改良工事	油圧ポンプ 2台 門扉シリンダー 2ヶ 溢流管その他一式	円 12,800,000	37. 9. 20 38. 3. 30		
	三河島処理場急速ろ過施設接合井改良工事	接合井一式 送水管、流入管、溢流管一式	2,390,000	37. 11. 5 38. 3. 4		
	芝浦処理場沈砂処理設備工事	沈砂置場 140m ² 上家 199.5m ² トロ線移設及新設	4,400,000	37. 11. 16 38. 3. 14		
	三河島処理場消化槽汽缶室汚泥ポンプ室その他改良工事	汽缶室 63.8m ² 汚泥ポンプ室 43.12m ² ポンプ 2台	6,470,000	37. 11. 26 38. 3. 30		
	三河島処理場散気式曝気槽導水渠その他改良工事	覆蓋面積 77m ² 送泥管延長 185m	3,230,000	37. 11. 5 38. 3. 15		
	砂町処理場場内排水管その他工事	遠心力鉄筋コンクリート管 φ80cm 164.5m 陶管 φ20cm 17m	9,080,000	37. 11. 12 38. 3. 14		
	芝浦処理場汚泥管改良工事	250φ 鋳鉄管 254m	3,925,000	38. 1. 14 38. 3. 29		
機械装置	三河島処理場污水ポンプ制水弁改良工事	真空ポンプ 2台 電動制水弁 760mm 3台 800mm 2台	13,270,000	37. 6. 27 38. 2. 23		
	芝浦処理場第一汚泥ポンプ改良工事	汚泥ポンプ 6台 その他設備附帯工事一式	16,200,000	37. 6. 18 38. 3. 16		
	砂町処理場電気設備その他改良工事	高圧配電盤 一式 机型監視盤 一式 配線工事 一式	44,100,000	37. 7. 14 38. 3. 20		
	三河島処理場量水計改良工事	流入下水量測定装置 2組 急速ろ過浄化水送水量 測定装置 1組	1,479,000	37. 8. 20 38. 2. 19		
	三河島処理場第一沈殿池撈集機及び排泥装置改良工事	撈集機胴及び腕 8台 排泥装置 一式	10,450,000	37. 9. 12 38. 2. 25		
	三河島処理場採泥機改良工事	採泥機 8台 電気工事その他 一式	9,100,000	37. 9. 26 38. 3. 28		
	砂町処理場量水計改良工事	流入下水量測定装置 2組 附帯設備 一式	1,545,000	37. 10. 5 38. 3. 30		
	三河島処理場構内電話自動交換設備改良工事	構内電話 31台 自動交換機 1台 電話ケーブル 一式	4,150,000	37. 11. 5 38. 3. 30		
	砂町処理場篩渣処理設備改良工事	機械撈上式ろ格機 2面 附帯設備 一式	11,870,000	37. 11. 26 38. 3. 30		
	砂町処理場汚泥処理工場換気設備その他工事	換気設備 一式 消石灰投入装置 一式 ガス設備 一式	7,390,000	38. 1. 24 38. 3. 30		
事務費			12,675,225			
合計			193,074,225			

第3節 設備補修工事

総括表

種別	工費		雜補修	計
	件数	金額		
管渠設備補修	79 件	68,515,605 円	23,245,898 円	91,761,503 円
ポンプ設備補修	11	16,804,300	3,968,239	20,772,539
処理場設備補修	13	28,769,500	13,514,121	42,283,621
計	103	114,089,405	40,728,258	154,817,663

(1) 管渠設備補修

種別	工事名	数量	金額	着工日	備考
管渠工事	中央区銀座東7丁目付近外2ヶ所管渠補修工事	310.80 m	7,815,178 円	年月日 37. 6. 27 37. 8. 4	
	文京区湯島三組町25番地管渠補修工事	31.90	392,766	37. 6. 11 37. 6. 14	
	新宿区歌舞伎町20番地先管渠補修工事	36.95	1,238,329	37. 9. 3 37. 9. 25	
	墨田区横川橋5丁目付近	69.90	3,639,015	37. 10. 15 37. 11. 19	
	渋谷区千駄ヶ谷3,4丁目付近	194.60	835,000	37. 8. 27 37. 9. 10	
	台東区清川町3丁目9.11番地先	92.15	1,022,000	38. 1. 8 38. 1. 25	
	台東区金杉上町付近	166.05	2,252,135	37. 11. 26 37. 12. 15	
	千代田区東神田3番地先	39.85	1,456,664	38. 3. 7 38. 3. 30	
	外 13	285.55	4,466,586		
損傷負担工事	新宿区花園町54番地先管渠敷設替工事	343.31	3,141,577	37. 9. 3 37. 11. 12	
	墨田区吾妻橋2,3丁目付近管渠補修工事	104.10	14,976,691	37. 11. 6 38. 3. 15	
	中央区日本橋茅場町1,2丁目付近管渠復旧工事	85.00	6,665,717	37. 11. 20 38. 2. 6	
	墨田区江東橋4丁目10番地先管渠復旧工事	133.20	1,450,763	38. 2. 5 38. 3. 12	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 端	手 功	備 考
入孔補修	中部管理事務所柳町出張所管内入孔補修工事	46ヶ所	円 927,951	年 月 日 37. 6. 21 37. 7. 23		
	東部管理事務所管内人孔鉄蓋補修工事	48枚	1,362,018	37. 9. 13 37. 10. 11		
	中部管理事務所大手町出張所管内人孔補修工事	23ヶ所	789,041	37. 11. 16 37. 12. 10		
	北部管理事務所日本堤出張所管内人孔蓋掛替工事	18 ヶ	1,130,800	38. 3. 5 38. 3. 26		
	外 28	710 ヶ	8,117,210			
污水樹補修	中部管理事務所城山町出張所管内污水樹補修工事	144 ヶ	1,160,334	37. 9. 1 37. 9. 29		
	中部管理事務所柳町出張所管内污水樹補修工事	85 ヶ	358,549	37. 10. 25 37. 11. 16		
	中央区入船町3丁目～湊町1丁目付近污水樹嵩土工事	28 ヶ	263,590	38. 2. 7 38. 2. 23		
	東部管理事務所管内污水樹補修工事	78 ヶ	363,937	38. 2. 11 38. 3. 11		
	外 16	335 ヶ	3,269,754			
防潮扉補修工事	中部管理事務所管内防潮扉補修工事	6ヶ所	1,251,000	37. 12. 24 38. 2. 2		
	八幡堀吐口阻水扉補修工事	3組	169,000	37. 12. 15 38. 1. 31		
雜補修	管渠補修	m 330.2	1,243,247			
	人孔補修	937ヶ所	4,923,801			
	人孔蓋補修	717 ヶ	6,843,839			
	雨水吐口補修	3 ヶ	750			
	污水樹並び取付管補修	2,581 ヶ	7,628,475			
	その他の		2,605,786			
合 計			91,761,503			

(2) ポンプ所設備補修

種別	工事名	数量	金額	着工日	備考
機械及び装置	木場・三之橋・業平橋ポンプ所高圧連絡線補修工事	高圧電力線 103m	円 602,300	年 月 日 37. 4. 24 37. 4. 30	
機械及電気設備補修工事	月島ポンプ所汚水ポンプ補修工事	過巻ポンプ 1台	1,465,000	37. 7. 9 38. 2. 26	
	吾嬬ポンプ所ろ格機補修工事	チエンレーキ取替 4面 チエンレーキ鎖車取替 4面	3,876,000	37. 8. 3 37. 12. 12	
	三之橋ポンプ所ろ格機補修工事	鎖・レーキ取替 2面	668,000	37. 7. 24 37. 11. 10	
	和泉町ポンプ所ろ格機補修工事	ろ格取替 1面	448,000	37. 8. 4 37. 10. 18	
	月島ポンプ所揚泥機その他補修工事	揚泥機・搔泥機 ろ格機 各1台	3,350,000	37. 8. 16 38. 1. 16	
	和泉町ポンプ所汚水ポンプ補修工事	羽根車取替 1台	200,000	37. 10. 2 38. 1. 31	
	木場ポンプ所ろ格機補修工事	鎖・レーキ取替 4台 チエンホイル軸取替 2台	1,587,000	37. 10. 30 38. 3. 28	
	銭瓶町ポンプ所汚水ポンプ補修工事	過巻ポンプ補修 2台 塗装 6台	2,510,000	37. 11. 19 38. 3. 28	
	銭瓶町ポンプ所動力線電灯線補修工事	動力線 電灯線 1回線 附帶設備 1式	518,000	37. 12. 1 38. 3. 11	
建物及構築物建物補修	和泉町ポンプ所ポンプ室サツシユその他補修工事	スチールサツシユ 55.1m ² スチールドア 36.9m ² 門扉 2扉	1,580,000	37. 10. 6 37. 12. 13	
主工事計		11件	16,804,300		
雜補修	作業用营造物補修	169件	1,079,883		
	諸機械補修	545件	2,342,657		
	構築物補修	61件	172,525		
	その他の		373,174		
雜補修計		775件	3,968,239		
合計		786件	20,772,539		

(3) 処理場設備補修

種別	工事名	数量	金額	着工日	備考
建物及び構築物その他	芝浦処理場主ポンプ室建物補修工事	防水層 2,201m ² 採光窓 121m ²	円 3,060,000	年 月 日 37. 6. 15 37. 9. 13	

種別	工事名	数量	金額	着工 年月日	竣工 年月日	備考
建物及び構築物その他	砂町下水特約1番線補修工事	特高受電線 22m	円 191,500	37. 6. 4	37. 6. 6	
	砂町処理場汚泥乾燥床補修工事	乾燥床隅壁修理 12カ所 粗砂補充 16面	1,370,000	37. 9. 24	37. 11. 14	
	○芝浦処理場汚泥処理工場循環ポンプその他補修工事	循環ポンプ吸込カバー取替 8台 電線管支持金具補強一式	950,000	37. 11. 1 38. 3. 15		
	三河島処理場着船場施設撤去工事	鉄筋コンクリート杭 44本 抗連絡材一式	1,630,000	37. 11. 29 38. 3. 9		
	三河島処理場構内動力電灯地下ケーブル補修工事	照明工事 7灯 中間阻水開閉操作箱 2面	480,000	37. 12. 5 38. 2. 23		
	砂町処理場曝気槽散気板並第1・第2沈澱池流出渠その他補修工事	第1・第2沈澱池 6池 曝気槽散水板 500枚	3,720,000	38. 1. 5 38. 3. 30		
機械補修	砂町処理場汚泥管補修工事	汚泥管移設一式 電磁流量計移設一式	198,000	38. 3. 18 38. 3. 30		
	三河島処理場污水ポンプ補修工事	800mmφポンプ 1台 2,760mmφポンプ 2台	4,580,000	37. 6. 22 38. 2. 19		
	芝浦処理場汚水ポンプ電動機補修工事	電動機固定子巻線組替一式	580,000	37. 7. 5 37. 9. 12		
	三河島処理場攪拌機補修工事	攪拌車 48組 減速機軸受メタル 6台	7,850,000	37. 8. 23 38. 1. 19		
	砂町処理場天井走行起重機補修工事	軌条道床部修正 起重機クラブ一式	1,410,000	37. 10. 2 38. 2. 2		
主工事計	○芝浦処理場ボイラー補修工事	温水ボイラー 3基 その他附属設備一式	2,750,000	37. 12. 19 38. 3. 30		
雜補修	作業用營造物補修	13件	28,769,500			
	諸機械補修	2,070件	2,365,315			
	構築物補修	4,046件	7,340,935			
	その他	355件	3,080,377			
雜工事計		6,471件	13,514,121			
合計		6,484件	42,283,621			

第4節 その他の工事

総括表

種別及び工事費	施設内容
管渠移設工事 65,928,982円	建設局の委託による区画整理に伴なう移設 21件 延長 4,781.45m
管渠改造工事 113,808,770円	新設 1,339.00m 移設 40.40m 人孔移設 3カ所 雨水枠移設 1カ所
消化槽工事 70,833,456円	清掃局より委託による砂町処理場消化槽補修工事 工事件数 10件

管渠移設工事

種別	工事名	数量	金額	着工日	竣工日	備考
枝線	第31地区豊島区巣鴨2丁目付近管渠移設工事	42.00m	2,731,187円	37. 7. 11	37. 9. 6	
	第31地区豊島区巣鴨2丁目付近管渠移設工事	129.20	3,303,975	37. 7. 11	37. 8. 21	
	第25地区墨田区向島押上町付近	42.40	3,166,070	37. 7. 16	37. 8. 13	
	西大崎地区品川区西大崎1丁目付近	581.30	5,536,160	37. 9. 1	38. 3. 22	
	第21地区新宿区早稲田鶴巻町付近	224.20	2,541,804	37. 9. 1	37. 10. 29	
	第10地区豊島区池袋2丁目付近	207.45	2,134,426	37. 9. 5	37. 10. 12	
	第13地区豊島区西巣鴨2,3町付近	497.83	4,723,773	37. 9. 28	37. 11. 27	
	第24地区文京区駒込神明町付近	70.00	1,011,237	37. 10. 10	37. 10. 31	
	西大崎地区品川区西大崎1,2丁目付近	505.45	7,139,532	37. 10. 26	38. 2. 15	
	第34地区荒川区日暮里3丁目付近	810.00	8,432,245	37. 10. 29	37. 12. 20	
	第5地区品川区五反田1丁目付近	73.20	816,825	37. 11. 5	37. 12. 10	

種別	工事名	数量	金額	着竣	手功	備考
枝線	第8地区渋谷区大和田町付近管渠移設工事	155.52 ^m	2,930,794 円	37. 11. 6 37. 12. 15		
	組合地区北区中里町、田端町付近	200.00	1,231,760	38. 1. 4 38. 2. 11		
	第13地区豊島区西巣鴨3丁目付近	284.90	3,138,453	38. 1. 14 38. 3. 9		
	西大崎地区品川区平塚1丁目、西戸越1丁目付近	461.40	8,517,016	38. 2. 4 38. 3. 30		
	西大崎地区品川区西大崎1丁目付近管渠移設その2工事	76.00	925,691	38. 1. 31 38. 3. 18		
	第13地区豊島区西巣鴨2丁目付近管渠移設工事	81.30	2,439,102	38. 2. 11 38. 3. 4		
	第24地区文京区駒込動坂町付近	76.65	624,581	38. 2. 15 38. 3. 7		
	第2地区新宿区新宿2丁目49番地先	11.50	1,530,778	38. 2. 20 38. 3. 27		
	第31地区豊島区巣鴨2,5丁目付近	202.55	1,945,259	38. 2. 20 38. 3. 30		
	組合地区北区田端町付近	48.60	968,516	38. 3. 1 38. 3. 25		
工事費計		4,781.45	65,789,184			
試掘費			139,798			
合計			65,928,982			

管渠改造工事費

区分	種別	数量又は件数	金額	着竣	手功	備考
管渠改造工事費	新設	1,339.00 ^m	43,611,605 円			
	移設	40.40	1,070,598			
	その他		3,881,961			雨水樹移設1カ所 人孔移設 3ヶ所
その他受託工事	樹工事	2,473件	65,244,606			
合計			113,808,770			

昭和37年度主要事業日誌

月 日	記	事
4. 1	下水道局発足（3部 10課）	
1	水道局職員および下水道局職員共済組合発足	
1	下水道管渠見学所開設	
1	砂町処理場高級処理施設竣工	
5. 15	小松川ポンプ所一部運転開始	
6. 7	汐留ポンプ所運転開始	
18	桜 橋 タ	
7. 1	小台処理場一部運転開始	
11	森ヶ崎処理場着工	
16	総務部に労務課設置	
31	「東京都長期計画」の一環として下水道 3,100 億計画庁議決定	
8. 19	第一回排水設備管工試験実施	
29	第二回全国下水道促進婦人代表者会議開催さる（30日まで）	
9. 10	第2回下水道促進デーの実施	
10. 8	主婦の下水道施設見学会の実施（10月12日まで）	
13	小台処理場竣工式	
17	37年度当初起債許可額決る（58億円）	
11. 6	渋谷川幹線開通	
22	砂町ポンプ所落成式	
30	第6回下水道促進全国大会開催	
12. 1	機構改正、経理部の設置により 4 部12課となる	
5	第4回上下水道全国大会開催	
12	尾久ポンプ所着工	
38		
3. 1	宇田川幹線開通	
15	大島町 6 丁目浸水事故に関する調査委員会設置	
27	局幹部職員会議開催	

消化槽設備補修

工事名	事業内容	執行額	着工 年月日
砂町し尿消化槽変配電室並びに変配電設備改良工事	変電設備工事 一式 消化槽配電盤工事 一式	円 14,700,000	37. 7. 7 38. 3. 20
ポイラー室増築工事設計委託	ポイラー室増築部分上家 $145m^2$	250,000	37. 7. 7 37. 8. 22
ポイラー増設および付帯その1工事	三胴水官型温水ポイラー 6基 膨張タンク新設 一式	20,600,000	37. 7. 30 38. 3. 30
動力線その他補修工事	汲揚ポンプ用動力線 2回線 同上 操作盤 2回 分電盤 1面	4,300,000	37. 8. 16 37. 12. 11
ポンプ及びガスプロワー補修工事	電動機直結ガスプロア取替 1台 し尿吸揚ポンプ 4台 附属電気 1式	5,340,000	37. 8. 27 38. 3. 20
スクレーパー	スクレーパー 一式 電気工事 一式	1,920,000	37. 8. 25 38. 1. 21
脱離液排水管取替その他工事	$\phi 25\sim80cm$ 586.50 人孔 18カ所 汚水栓 6ヶ	13,633,456	37. 9. 28 38. 3. 19
汚泥脱水真空ポンプ補修工事	電動機ベルト掛横軸型真空ポンプ 3台 同上基礎 4基	1,290,000	37. 10. 8 38. 3. 5
ポイラー増設及付帯その2工事	ポイラー室増築建築面積 $145m^2$	7,800,000	37. 10. 25 38. 3. 20
軸体補修工事	軸体補修 1槽	1,000,000	38. 2. 4 38. 3. 30
計		70,833,456	